委員参集小崗子署具の態度を決定に臨むべく午前十一時より十名の

連署において行はれる五署協院会、小崗子警察署では午後二時より大

小崗子署協議

通過離低の途に就いたが問題の要准の場所最近二十一日共秦丸で當地小

主張上の反對は

慰留は至難

題に倍づ計量を管理し原油十五萬場の七萬五千種原油生産を十五萬

大場局長門司で語る

● 大連響標署全署」の齢表は二十日 機ごして各署の運動はます人実 であるが、右齢表は二十三日大場 を思はせる不動味な空氣に酸はれ 態感化は発れのものご見られ成行 であるが、右齢表は二十三日大場 を注取されてある、大連署ではど 整務局長の静低と同時に等田署長 め各署では外部との突緩ある事務 を表は、右齢表は二十三日大場 を注取されてある、大連署ではど を表は、右齢表は二十三日大場 を注取されてある、大連署ではど を表は、右輪表は二十三日大場 を注取されてある。大連署ではど を表は、大連暫標署を署しの齢表は二十日 機ごして各署の運動はます人 実

河口、水上、小蔵子、消防四署を願ひ出る模様である、この際

議を終らと運動の全面化を隔ら続、巡査機に分れて別様に食べ

原油三十

- 萬瓲の増産を計畫

製油事業擴大

政官の警察部長兼任

2構の實施上支障

坪上次官、

翰長に力說

九

和昭

九年

関東州の賃貸に鑑み將來籍小さるべき関東羅の警察部長を憲兵司令官の兼任とすることは絕對に實現困難の水筏交書課長等の意味を鍛ら衛内局談長會議を開いて方策を協議して來たがその結果、他の問題は兎に触さして概 東京特電二十一日發』 在滿新機構家の質施に就いて関東鞭撻の無熱なる要認に難して抗移衛衛局は連日中村關東關財務局長

_ 月

務門の 海望を容れられたい 動の に 反 對 する もの では なく 實施の上の點は新機 構 案 その もの に 反對 する もの では なく 實施の上の の 一致 と、二十一日午前将上掖務次覧は河田 書記官長を誘聞して此の紙を力器しのさ一致 と、二十一日午前将上掖務次覧は河田書記官長を誘聞して此の紙を力器し

旨を述べなほとに関する理由書を首様の手許に提出すべく依頼した

連署の辭表

廿三日大場局長に申達

おける質情に関し中央當局は認の問題に非ず飽く迄文官政治の問題に非ず飽く迄文官政治のちれてゐるが、我々主張はバン

縄亞民族職盟では去る二十日午後大連市務島町に事務局を有する亞

民族聯盟會合

(刊日)

働者群はこの事實を関知し、一方食 のではなる。 18 し、これな鍼既中であるが、一説によれば八月さ し、これな鍼既中であるが、一説によれば八月さ を取外し電信、電話線を切覧するに到り、八月一 働者群はこの事実を原知し智城中のゲ・ベ・ウム 事性は無て同縣附近後続工事中の禁器新京電話』八月甲旬頃より頻發せるア 一方食機能さ、帯酷なる強能を選出事中の袋供労働者の行政を対するアムールウシー 兵さ共謀し焼き馬を喰はんがために同勝に依事中の

東事委員会にてナイ委員及びデュ 東事委員会にてナイ委員及びデュ ボン会社代表ラモントデュポン氏 が一九三二、三年に多量の武器を 支那に實込んだ際、支那運器の高 でき、これに多量の武器を

[吉林二十一日發國通] 第二軍管 吉林軍務會議

案作に關して秋野軍務館園を開館、上順時代及今後の 黙察等の重要。 上順時代及今後の 黙察等の重要。

食糧難ご虐使に憤慨 の所為

不當利得を暴露

旬ごろに行ばれ 満城を選問係の であるに行ばれ れる像定であるが、 **欧の防空完備**

の事動は整型、庶務網課長の今次の異動は整型、庶務網課長の今次の異動は整型、庶務網課長のすれば管理する際終にあるため、すれば管理する際終にあるため、

州旅事場長が最有力視されてゐる

午後九時發列車にて奉天へ佐美覧爾氏(満鐡理事)二十

日午後十時費列車にて田和製鋼所常

▲有地十五郎少將(第二經除参謀 ・ 一次名

関れざること

、休憩所以外に於ては喫煙を禁す、一箇所に長く停ることを禁す 本新京線道事務所管内愛護村村長 百七十名同上來連 十一日午前七時着列車にで來運 十一日午前七時着列車にで來運 十一日午前七時着列車にで來運 十一日午前七時着列車にで來運

▲末棚貯氏(満電調査役)二十一阪へ ▲米岡規雄氏(旅順市長)同上大

一蛇角

京、糧る處が大きかつただけに失っ 変形の職態児祖、他力本願の悲 て見た?」

122-

味方にして、私な口説き落さうご「あすこかも知れないわ。先生な

説いても、こない

満無國籍の軍備共同撤退、いざ す。母が私な日散いても、私が成り、行いつて、私の母を訪れて用って

水原、早原、それに風原、自然と勝からの。 龍風、西部日本な襲ふ、 り、火のある魔コン 行洋汪近口尚

三夜はもう一度満島を吐いた。 友達のない女でれ」 「あ、狩野先生のさこへ問ひ合せ

「そりやあなたの取較完勢よ。何かそんなここがあれば、私に默つかそんなここがあれば、私に默つ

當に、どうしたんでせう

をふやうな弱々しい目の色に急に をふやうな弱々しい目の色に急に をふやうな弱々しい目の色に急に

う一度自分のものにしたのではな のの、未練があつて、かなるを認ったも のの、未練があつて、かなるを認ったも かさ云ふ騒念を抱いてゐたのだ 第一に問ひ

致して居ります 新京ホテルは 新裝なれる 親切そしてで **藤殿舎趾** 御指定 新京ホテ

禁錮勞働

質車に放火したものさいはれてゐるとは肉類飲乏に懺まされた同地農民等が同郷警戒は肉類飲乏に懺まされた同地農民等が同郷警戒 支那軍部高官の 「になった。 ・では極く小範疇に止める意向の如 ・でこれた機会に石原理総質部点 ・では極く小範疇に止める意向の如 ・では極く小範疇に止める意向の如 ・では極く小範疇に止める意向の如 ・では極く小範疇に止める意向の如 ・では極く小範疇に止める意向の如

た見るために 鐵道部 一行くのである 0

異動觀測

燃料國策に貢献の目的 年前七時安東通過新

経由師任の強これは他の都 岡部 一動靜

が 機能理等を要人 の第二十日本京 の第二十日本京 の第二十日本京 でいる日本線 では同日変別大使 では同日変別大使 部解問は巡視のため二十日飛行機

板垣少將承德訪問

日午前十時端洲 一日はさで奉天へ向。 接接文化協会の搭案 の搭案 が接続することに 十三日新京師着後 助うた、二十二日離率の鎌定 で着承、警備司会部地區縣問部な

許可 場の 井上第三部長 井上會計 機査院第三部長は二十日夕随行員 原、二十二日は大連民政署、遞信 局の會計検査を行ひ、その後三十 日までに滿鍵、二十一日は関東 滕城吉太郎氏 東拓その他の會計

海務局海事課長

長藤城吉太郎 と思つたら、火のある 戦國の支那空軍援助、 ションの煙までたつた。

を 後の試験日数はで地にこれです。 は何本清水町自宅にあって手管を加へてるたが、 は病体観点にもつて手管を

いなった、参照

るべからず、

被害甚大。

の頃は、歐洲戦争の最中 参照者に日本人 で、午後一 で、午後一 で、午後一 別九時から同十一

同司特號

十一日韓』二十三日大連入港線 配整移局長大場鑑次郎、海軍造 駐日米大使グルー氏夫妻、関東 配子大使がルー氏夫妻、関東 に対象式の主なる船客諸氏 であり、 大連憲氏で、 とのであり、 にいるのでは、 にいるでは、 は経験りあつた。 掠奪結婚

ら、待つてらつしやい、私聞いて「先生のこころには電話があるか

ださい、がな」

さ、その次に助力を傾ぐのは、

田專太郎

登見のリキシンは脳溢血、中風、縄取粉で有名な今津佛國理學博士

便業色又は白濁、舌モツレ、シ素血、足重、息切、動悸、発息、心性、加ク、手足、骶イタミ、冷性、水の、動悸、発息

島政二

(125)

藥良

リキシ

で發見

局

血壓・中風・腦に

過ノアチ、筑紫中學旅額貞二、大連憲兵分隊 三枝は一部始終を贈った。三枝は濡息を吐いた。

。なく 失望の 足取りで 歸つて 來 部屋を出て行つたふみ子が、間

「來てゐないつて」

運くまで、無難でかなるが錯宅し の質問だつた。 かかるに何かあつて、家出なした 「何か心意りないかしら?」 ボル感じてゐたやうな様子はあり つて下さい。かかかは何か既に不 ひ詰めて來た。

二十一日午前七時四十分着列車二十一日午前七時四十分着列車

代氏(新京取引所専務)

「そんなこと經野にないわ」 突然三枝は思ひ詰めた表情で問ませんでしたか」

ては、ありません。ないけれど、「何かそんなことでもあるの?」 を辱ふし御芳情感謝に不堪乍本日出發に際しては御多用中

申上ます

昭和九年九月二十一日 末

(詳細は庶務課(電七一三一ノニー)に懸合のここへ、日本人年齢十七歳より二十歳迄にて中學校二、三年程度以上有希望者は本人自筆の履歴書、體格檢查表及寫眞た添へ來る九月有希望者は本人自筆の履歴書、體格檢查表及寫眞た添へ來る九月本日並に當社應答解給仕見習左記により試験の上若十名採用す 旅客船給仕見習募集

下略儀紙上御禮中態々御見送り私儀

日午前七時着列車にてチュ

(右は血壓測定) 御

「ごこかないの、かなるの果ないなんて考へられなかつた。 「君のさこ以外には、 かいは一

中川陸軍器材課長談)二十一日午前九時發はさに木甫氏(滿鐵圖們建設事務所 廣氏(電々會社技術部長)

東京は兎角議論が多い

午前 午 午後 十五日 不 夜間

邦文タイピスト養成

大連汽船株式

會 社

日本タイプライター 機式會社

ブラタップ氏

工業 ートルを裏に深下した時のセール これに購し徳山海軍燃料廠で打合工業 の有償化、整備費の經濟化等から せのため山西理事、快等批整部設立 な保護服院職長・世島批畫部勘査 で、保護服院職長・世島批畫部勘査 は、というは、製作者のでは、一下、これに購し徳山海軍燃料廠で打合 ことなった

多倫へ随の内蒙各施王を騰訪するため十九日養産した、一扇日中に 影響寺を見物した はナイル氏同性蒙古各族と連繫の族大同風結な策するブラタップ氏 族大同歌紹を策するブラタップ氏派大同歌紹を策するブラタップ氏

大連彌生高等女學校職整

龍頭行の會

百名募集

爾生高女 別心 実数 ダベ 恒例に依り九月二十二日午後一時より開校 以來物故諸氏の慰靈祭を執行します 以來物故諸氏の慰靈祭を執行します

中である、而してこの増産記載は中である、而してこの増産記載を動で目の事が変出する世晩等に監み現在の十下職保証所において鑑意識査研究。 で出来たこと、非常時の燃料國策設備費八百萬圓の半総約四百萬圓 補助を仰がずに

計畫實現を期待 山西滿鐵理事語る

れるだらうと思ふ、時局柄なる でく政府から補助を仰がないて やつて行きたいものでそれには、 を下げ、また精製品の割営てな が定めなければなるまい、最 近フランスではアルコールの燃 料代用品に補助政策を採つて居 世良審查役談

選して自力に生き給へ。 対象の審なさいひたいが今更別 かない。まあ様々ジャズの練習で

> 主催 ジャパン・ツーリスト・ビューローを脅費 大人一圓六○銭 小人一圓光○銭 小人一圓米○銀 前七・四五 歸着 後三・五○ 出發 前七・四五 歸着 後三・五○ 本明日 九月廿三日(日曜日) 金剛山探勝會 十五國・會員 二〇名募集 十五國・會員 二〇名募集

水谷顧問から来てくれさいふ電が水谷顧問から来てくれさいふ電が来たので私も行くこさにした。オイルセールの増産は七萬年が出来たのがから、これを三十萬越の増産が出来たのがから、これを三十萬越に増産があっていた。

であればよほご考慮を要 のであればよほご考慮を要 のであればよほご考慮を要 かさしての意見をいふわけ

は告示が出うさかいふ事が傳へ に對も身分の保障を行ふさか又 中央方面においては今回の問題 中央方面においては今回の問題 は当分の保障を行ふさか又 に対しましては今回の問題

整御の製出比率を定

聞さして執例してゆくのであるか のるひは官吏さなり、あるひは順 候闘係の人たちさ共に、新興國の 中同じ日系官更の間においても内 地から継多の系統か引いた人だち がこゝに來て在來滿洲で仕事をし であた人々、たこへば關東歐や滿 に値するのみならず大いに音人の ・ ない、新興國基礎を儲めるためには が、新興國基礎を儲めるためには の。また他面、満洲国要輪の人々 承建立の衝に當らうで たのか

恋の全感時代さいふべく、すべてたるロシアの一都市で、ロシアは

参觀を

二百

急速なる發展に驚歎

(F)

尚

新興國の粉水に難しては、内球外 ないまさより数多の困難あるは発 なが確乎たる決心なもつて、あせ もず避らす、紫道な時んで指導の

展は、すべての駄において駆射。 で、日露の關係は非常に好かつ

情かくの如くなるが故に

これは御世齢でも何でもな

管目するのであって、もちる

前各自の所感如何に描らず歌心新論のこさ、日系官吏の人たちも從

のたのは今度始めてどある。

ないけれども、この二年来諸洲國一ないけれども、この二年来諸洲國一ないけれども、この二年来諸洲國一ないが関係の見数で、狭

洲事變後、比較能ゆつく

=

満洲國を觀で

機せらめる事になる事になる事になる事になる。

「れえ、に続きん、あなた態兵衛ところへ降き合はせて見た?」 まるで態所を突かれた人のやう 三枝は頭を抱へて、項頭れて 和服裁終 裁縫

通學生)他に然練者

新屋和服裁縫店



語園二六〇一番



十餘名の肉類相搏つ救技に認識した概察を熱狂せもめ、試合は時より電無強風下において開催、凝の原士甲より選りすぐつた軽能、水直後緩の職合艦隊素組貨販運角力大電は二十一日午後長 四二十一日午後

れ一路のルビンに配った、なほ十 ・ 一路のの機は二十一日午前十一 一番のルビンに観覧を残って が将軍の機段艦上

後九時愛師

れ違ったさ.思ふ間に変を消したが 十能前後の外人二名が吉田氏です

院前電車係留所で電車結合中、三萬蒲町四七吉田大吉氏が赤十字病

は概念多数の邦人がし、概念多数の邦人が

一十一日午前八時三十分ごろ市内

時計を掏取る 怪外人ふたり

艦上飛行隊大擧して

滋州國の建國な際脱することもに ・間の無養液の記録的標事であつて、 ・関が最初の記録的標事であつて、

大連、ハルビン間直輸の歴史的大年前七時十五分曉の海波を蹴つて

が大連、ハルピ一致行、我が海軍機の威力な管揚

示威大飛行

年前八時再び同地を出鉄し無着陸で、郷闕の整備を行び二十四日で、郷闕の整備を行び二十四日では、郷間の整備を行び二十四日では、郷間の整備を行び二十四日では、郷間の整備を出来る。

にて一線に大連港に帰還す

那神の海軍水上機三機は二十一日大連港碇府中の軍艦川内、金牌、

に鎌着の像定である、更に二十二と午後四時にはハルビン松花江上

鐵道愛護村の

村長さん拜艦

滿鐡の發聲で慰勞の爲

けさ百名來連す

於て事集した消州補充置本教材は難能南流州教育會教科書編載部に

優秀 教材

佳作」發表

相澤氏遂に死去

『新京二十一日登岡通』駐浦海軍部委表=水上機三機は 『新京二十一日登岡通』駐浦海軍部委表=水上機三機は

校生、大連松林小學生等九百名が女子酸紫紫校生、奉天同女酵業紫

でハルビンに向つた

た、右の怪外人は おり

補充讀

富地の

「新京慶話」 宋大縣合、高梅繁二 「新京慶話」 宋大縣合、高梅繁二 有地階等」

た、右の極外人は今夏渡速町総督 た、右の極外人は今夏渡速町総督 た、右の極外人は今夏渡速町総督 た、右の極外人は今夏渡速町総督

司令長官ハ市へ

けさ海軍水上機三機翼を連ね

上

まつた、それでも二日に重る寒戦を生じずつかり天候に繋られてした。それでも二日に重る寒戦争に在ひ

陸上選手整迎

の群が殺弱ら水兵服さ入変つて大中止に岸壁繁留中の川内は拜観者

【場内整理料として十銭徴収す】

午後七時半より

歴史的壯途につく

午前七時大連發新京通過は正午頃の豫定

戦○○機は観覧なつられ郷残と水野大意義を持つものである、右海

また拜艦中止

『泰天電話』去る十六日山通バス 総に於て順際の襲撃を受けた奉天 の相端逃離氏は二十日午後途に逝 ました、葬儀は蝦路標局薬を以て ました、葬儀は蝦路標局薬を以て

眞性ペスト侵入

各地に蔓延の傾向

除幹線南部線

が風速十米、天氣快喘にして退途

一便の新京鑑賞愛護村長郎、大連が準職に詰めかけ午前九時には第

街の通り魔

日

交通全く杜縄の有様である、築港

大阪各取引所

立會停止さる

てゐる、市内交通機關は全部杜經」となり就も新生物が地水と応激に機と

の飛ご殿を選する状態で の飛ご殿を選する状態で の飛ご殿を選する場が

中央に押かけてねる、尚玉電線切断の場め工場は全全停止状態で取 は変都停止し各會社職店の出版を は変都停止し各會社職店の出版を は変通機關料総で大部分出版で取 は変通機関料総で大部分出版で取

根こそぎにも市内電線は発送の影響、中寒を減な出しば路端は極風を高にし無繁

能ない。 に関しれ押流された人家多數で 近は二十一日午前八時頃から津

民はトラック或は徒歩で市の一【大阪二十一日發國通】稀有の暴

め市内の電線は弾るこころ切跡物

市内に海水河水氾濫

交通機關全く杜絕

堂島株屋街浸水

見の後熱を使つてゐるが正午過ぎて の後熱を使つてゐるが正午過ぎて の後熱を使つてゐるが正午過ぎて

倒潰の家屋 多數に上る

して十五名下敷き

瀬田川・富田驛附近で

暴虐を擅に の修害 しきり

ため同地方は屋根瓦飛び大荒れ中、高知、徳島、近畿地方は被害大きい模様 【長崎二十一日發國通】 今朝示度七百 りの膨風四國沖より阪神間を通過本州に上りたる

機然二十日夜鹿泉鳥南方の海上に「一帯さる暴風の鞍禁帽籠載大なる「不通楽物方蔵への電信も不通は鰻魚無しに終るかさ思はれたが「上を歩かれないさ云ふ有擦、臘西「京、大阪間の電話は午前六時から「東二百二十日も無事に過ぎ今年の秋」で二十一日轉和歌山では立つて街「襒次東京方戲に埋智せ來つた、東『東京二十一日養國通』二百十日「南洋から颱風が來感近年橋な張魚」もの、如く颱風は暴威を搬ひつ、東『東京二十一日養國通』二百十日「南洋から颱風が來感近年橋な張魚」もの、如く颱風は暴威を搬ひつ、 列車顚覆三

アンテナ吹飛ぶ

狀態にある 特急脫線

『下開廿一日登画通』東京行二、 三等特急機は廿一日午前六時十五 分演塵縣通過の榮脱続とたが詳細 不明

名古屋放送局

放送局入電によれば二十一日朝來、『東京二十一日發國通』東京中央

京都二中倒壞

五十名下数さなつた、なほその他の大の変ニ中数は、数での金銭に整する見込み、 『京都二十一日飯園通』市内西陣 九名下敷さなり員下敷出中なるも 九名下敷さなり員下敷出中なるも 小學校の倒壊も多數ある見込み 區役所倒壞

シンヨ

の月美人

生徒五十名が下敷き

吏員數名下敷

大阪天王寺の五重塔 區役所は二十一日午前九時倒壊し 《京都二十一日發國通》市內

ーレスフェル を は ない は ない は ない は かい しらい 英秋

は外れてゐる

全部杜絶す 日滿間通信

輸送信所に放送 無意思 を都不通さなつたが な部不通さなつたが は意思麗さして新京 中 中間窓會では今回聯合艦隊の入港 果 名を迎へ二十四日午後一時より伏二 理會な兼は親睦會な開催する、會り 理會な兼は親睦會な開催する、會り 三吉氏(電話七八五三五)宛申込 まれたいこ

塔の寺王天たし壊倒

だが颱風の中心から速十米乃至十五米近

鹿兒島一中會 在大連一

彌生高女慰靈祭

遞信局講習會

を のため特に優秀篇さして等級を電 ざ甲さなく等級を除すること困難 で甲さなく等級を除すること困難 で甲さなく等級を除すること困難 鰕て病氣燃養中の處脈飛効なく二學校職員柴野職夫氏職交萬平氏は 柴野家不幸 日午前五時錦町八番地令息宅

▲優秀篇「長谷川工場長の苦心」 水安小學校小玉忠三郎「忠曠塔 の父」早苗小學校松尾茂「探金 調査除」永安小學校公高発治 「西」高川震小學校久高発治「 「西」で遡る」同上「集順米、 「西」で遡る」同上「集順米、

天気予報・ 二十三日

を養殖上験部域をのお 出して居り、四洗線で郷家屯、 を養殖上験部域をのお 出して居り、四洗線で郷家屯、 を養殖上験部域をのお 出して居り、四洗線で郷家屯、 を養殖上験部域を はしいので同地 、スト死者二名、有熱者七名な また髪山縣の防疫班からの報告 に依れば同縣下三性屯は二十日 に依れば同縣下三性屯は二十日 になれば同縣下三性屯は二十日 になれば同縣下三性屯は二十日 一期(午前九時)五分十期(午前九時)五分十期(午前二時四〇分分子後三時三〇分分各地溫度(前十一時一五分後三時三〇分分子後三時三〇分分子。 本 東 一七 新 東 一六 今日の小洋相場(時半)

Exclista

聯合艦隊乘組宣遊歡迎 大連デ

寫眞機,御買上八無稅港ノ 寫眞機,御選擇八

各種豐富二取揃御来店日御 待予申シテ居リマス・・・・・

電ニセミセ番

製社会ゲハイラメカーダケザケエ

新型揃り樫村デ

関東軍軍裝品酒保一手御用邊

洲に影響なり 歌歌、東西院本順等 中に麻洋中駅は砂燃した 金織からも

1年のてるない ないであるが たが頭に會社さして金一封を贈呈たが頭に會社さして金一封を贈らて見難金を贈つせか事務所を通じて見難金を贈つとが頭にの選出して金一封を贈呈いたが頭に會社さして金一封を贈呈れて、八一時間が乗上にののという。

の銘酒

の素風で名古屋放送局(JOGK)のアンテナは吹き飛ばされ放送や

倒壊家屋を出しなる増水とつゝあ来し思ちにして登町二千餘を浸水

漢語鳥三原郡織良町に突如津渡職員神月二十一日登園通』午前六時

淡路に津浪

岡山縣一帶も

町常局は救援に努めてゐるが手のをが全市のうち一千戸は二階までるが全市のうち一千戸は二階まで

大暴風雨襲ふ

白装束で 公園で縊死

御三丁目小公園内に年齢五十位の二十一日午前七時ころ、市内聖徳

英國皇室御用

良質廉價を誇る

小西道

大海堂 石松五七郎 大連市連領の第五四八五

トキンソン級化粧料

め京都株式取引所の屋根剝がれ同

颱風圏外る

京都取引所停止

群島、新端の附近なり 安東被害會社 へ滿鐵から

アヲハタ

ママレード

新秋のお化粧美は

輸入元 洞州伴野商店 大連連續街京壓(電二九三三四番)

キンソン化粧品より

ボマード・石 齢 十四番粉白粉

歡迎のタッを 大連で中繼放送

優れたる

風味

ジャム

測量機裝圖用品

内田洋行

電四八五六掛

爽やかな

老人轢殺さる

町二二機弁米次郎(*)が東公院町大 でもた郷那進行して來た一號系統が でもた郷那進行して來た一號系統が 一十日午後六時十分ごろ市内須磨 一大連族送過では今岁午後七時中よれ、計像の日米||| 大連族送過では今岁午後七時中よれ、計像の日米|||| || 大連族送過では今岁午後七時中よれ、計画の「大連族送過では今岁午後七時中よ 觀世會月次會 大連觀世

車と 1 端壁町八三度透師範宅で月次会と 食は明二十二日午後五時三十分よ

神水洋ル地の安い大連 自由港として大連は舶水羅紗地が内地と比べて非常にお安く 大なる服地を取揃へて居ります點で東洋有数の洋服店との御評 なる服地を取揃へて居ります點で東洋有数の洋服店との御評 を蒙つて居る位で御座います。殊に弊店は英國より直接輸入の嶄新 を蒙つて居る位で御座います。殊に弊店は英國より直接輸入の嶄新 連連 特に聯合艦隊御乘組員各位は勉强

「大きない」

綿ッ夜県地域 ③三河屋(西廣場近)

いふ、荒唐無稽な迷信の惨性と言って、哀れな母娘が人性な

さしてゐるのな、默視す

中の者ごもを手にかければなら

の株質が下るよ をの話は進んであるさ聞くが大 をの話は進んであるさ聞くが大 をの話は進んであるさ聞くが大 もこれまでの行詰つた映画教作は もこれまでの行詰つた映画教作は

彼女ヘタツクル

宇留木

浩·山縣直代共演

い、そんなデマが飛ぶさ松竹活からそんな交渉は受けてる

從へて來た部下三人に、素料く

特選映畫週間

特選映畵週間

せそれとい語つてゐる

より小笠原ライオン經營

讀者優待券(松縣)

正午より整夜三回入替なる間者階上八十錢階下六十錢

新事業を魅すが修本佐太夫、修 後六時より三丁自城権職にて東統 を納 淨 瑠璃 會 二日より

俊媛 滿洲日報社

讀者優待券(构队)

滿洲日報社

つたかで思ふて、左謄の濡れ滅腰の武士が、ドッ!こごよめき

像定である
こ
「
寫真はチエホフの「未亡人」
に於ける
吉野光枝

『に來滿したもので、大連に於ける二日間の公藏後直に北上する「場出身等田靖雄、同若林修その他であるが、一行は駐滿皇軍忠

十重二十重に取り巻

合つたまゝ、護摩堂の中へ連

してが遠に残ることが、お蓮様母と娘の絆かそのまゝに、人柱

て、一緒に死

人間、死を影響するこうでは、かへつて此上もない満足。

廿二日より公演 新興探奇派劇黨

死を覚悟するさ、すぐ後

の監禁の家を取り巻いて

その、眼に見えない字格子の解

それで充分。左膝の濡れ燕にか がある。

石畵

水遠の、疑問符CED 暴風雨に紛れて、来選賊を封じ 暴風雨に紛れて、来選賊を封じ

談講新

は容捨なく細つの同時に、眼に言ひやうもない心細さのうちに えない人域はぐるりと幾重にも 何時誰の眼に觸れて、拾ひ上げげ込んだもの、……。 一 大きなのでも、無いなのは、神理なのでは、大きなのでもなく、また、伊賀の郷土堂といったが、などの歌げ道なつくつないなり、また、伊賀の郷土堂といったが、など、瀬三郎達は、附近な一大には、また、伊賀の郷土堂といったが、変に撃き込んだだけで、左膝を斬るなど、また、伊賀の郷土堂といったが、変に撃き込んだだけだ。て 「方膳の狼離な取り押へるが如く耳打ちなした伊賀の暴れん坊、

れようさいふ當も

「ウム、危いさころを助かつた」は話も出來んから……」 ちゃんし は漢聲「お笑夜ちやんも、「おゝ、お父上!」こま

さ、二人を抱へて逃れ出ようさ するさ、近くのお似事部屋に火が 上がつた。これも、源三郎が一人 に続じて、混龍の度を大きくする ために、火を焼きせたのだ。 やア、斯様な無道なことは駆じてこの徳川へのおべつかか。何だ、この自光など、私境に過ぎわものだ下た腰が来たからに الكلاد 忘 (232)

の作事部屋の火が、赤かつた。

絶好の無解説日 觀賞 チョビ安兄ちゃん!お爺 やんも、無事で



ら助かりようはありません。たさ「サ、お美夜や、もうかうなつた も離れないように、一つ壁の中お前は、母と娘さして、何時ま

平较

い何んなことにならうで、あた

もう大丈夫だる 東京特電二十日發一日活は第一 日活・松竹の

合併

和倉館で公議會を贈くが最終なる間諜腱、明瞭なる爆突機械秘な十二日より公済・ユール)は二十二日より協 か生夢坊氏が軽ゆる新睡院 小生夢坊氏が軽ゆる新睡院 各關係者は斯く語る

川宇霞雄、隠譲二、逢初夢子など、映鑑武に大量のスターを引き抜か

!!ふ襲を連大び再物怪大の尺十六長身!!異驚大・演熱役二人一郎次傳內河大

齊女福パノツ部院 湖ブ合寮 唱夢嚷ス唱う唱四

チ

突が物怪大の尺十六ふいとうらあもどほさ高のルテホ東遼電、し潰み踏を車動自、れは現に中ン眞のクーヨーユニ如始書映。すまじ演を闘亂大と機行飛はに遂、し潰り握を車なはてし逸見に對絕。異鷲の八第界世、觀壯大の來以てつ。んせまり

十街

接の日活館秋季特選

型 分に観察を通じてファンを魅了するであらうから、説の登録映画観 数には見のがせな無解説上映日で 数には見のがせな無解説上映日で 地方を言さな特筆して今夜の無解説

トンネル

沿線上映

「咆えろヴオルガ」「トンネル」

活館で益々好評の



波海 子歌: 唄喜 コロムピア 松 平 晃

路 切 巴里プロ・ムジカ協会 香ンでら

ーと推奨された

奏的二重奏

ラ

管 オヴ 紗ミリア 単 ンイ

ルヴィア 牙 H 狂 詩

管放業

管紋撃

ピアノ

協

島谷け代

君 月祭 秋胸袋 花貫は松コジ費 平 正 を が 用 手 代 ア 発 代 ア

京城中央館二 東京樹科医学士 城區内 宗 電話22990番

本社後援の秋季特選名書週間上映

當分は不可能

豆本二三吉代 ベテイ・稻 ピアリズムボーイスア・リズムボーイスア・リズムボーイスア・リズムボーイス 山野和忠 子畴 ば焼



ミス・コロムピア

·G 島へ

ニカ・バンド

新交響樂團 医

本類類協會

一廿四日まで トンネル 同1.19 同5.19

(り有に店賣コパタ名有中市)

悲かなるサンタルチア

目新譜

日十二月九 賣發國全

生ビー ビルスナー(従来御愛用の鉛色) りが働かない…… ルスベルグ社 古水酒場 ールン ではお添く致しますと ~ では早速 新鮮無比 金四十五錢 キカミハ窓舟に

かし酸に苦しんだ太郎君も 近頃、七丹酸磨で

の社会草煙スーラー ツ れば………れば……… 云南なら、先 ープンプレー カ り味ひいづれ デ 3 000 CRAVEN A

一元性を有するもの州の行政權は絕對的

治外法權撤廢と

なること

附屬地返還の影響

大連商議の意見書画

のる。仍て、行政場所能地さの行政所能地さの行政に陥られて、行政場合があれば、江町でにに陥られて、行政場では、

から新倉社の戦力より見て社会してある、なほ新倉社の戦力より見て社会してある、なは新倉社の戦者のは容易である、なは新倉社の戦者にか、四、五年

が、之は七、八百萬圓見當であるよび燃業経費を要するわけである

てもこの歴史の資本額に滿着くのない優秀な会社で、その收録力のない優秀な会社で、その收録力見より見ても又電際の投資額より見

心さなる南浦電氣

【大阪二十一日發國通】日印條約一

交渉は家外順調に進むものさ見らなりというでは、

T場敷地決定 極東製藥會社

産

かり 三宗 下 押 海外市況は内地大晃風にて入電なく上海市場は洒水百二十個金、 市九七個四二五、池煙九六個八七 五、大洋九六側一七五、標金二、 三元高な入れ當市は四五十錢安さ 下押す

安高值 111、50 安值 111 安值 111

鈔料薄で

米棉高の反映

銀價の動向は

米國の情勢次第

西正金支配人談

問題に関する非公式協議委員會は『バタゲイヤ二十日餐画通』海運

告、千餘國の概込な了もた 一、本大電話」案天工業土地内に建 では、本大電社は十七日数地二萬四千三百 和 が、六十七平方条を正式に契約し、土 では、大七平方条を正式に契約し、土 の概果要繁裕 何 をは、土 のが、土 のが、上 のが、と のが、上 のが、と のが、

◆定 期(單位錢)

常付高値安値大引

部付高値安値大引

部付高値安値大引

制近 119章0 119章0 119前0 119前0

出來高 111頁二十萬個

◆現 物(單位錢)

・ 銀野金 銀野洋 金野洋

・ 時 1110章 19章10 11110

十 時 1110章 19章10 11110

十 時 1110章 19章10 11110

出來高銀野洋三萬四千國

出來高銀野洋三萬四千國

各委員顔觸れ

八月基準突破印棉の輸入高

を出現するもので歌橋されば主さして本年早越 相は主さして本年早越 に非常に割高さなつか に割まの印稿手常敷量を た為めである

碳して我國中標輸人以來の新記録にあ一九二五年の二百五萬か

問題の迷か問私的突後が開始され に決し度に同委員會で併行し梅選 中より開催其幣的試論を行ふこさ のに決し度に同委員會で併行し梅選

銀之株

が、実内・連島 御用命 手出字三曲地 ニーニ五世 二一二五世 二一二五世

原本に飲む放火二十一日午後五時 の変に依れば日齢耐代表は十九日 の変に依れば日齢耐代表は十九日 の変に依れば日齢耐代表は十九日 に就き抗合せた結果第一 のかっかってある、更に輸入の主なるもの はな神、柳鬱神、顧樹嫩、木桃、 の変になれば日齢耐代表は十九日 はな神、柳鬱神、顧樹嫩、木桃、

一見本展示會

「一大連校在原際が乗べ入衛するので大連総在原際が乗べ入衛するので大連総在原際が乗べ入衛するのの二所五線では来る十月下侵輸では来る十月下侵輸輸では来る十月下侵輸輸をした指律取引の進版を開発した指律取引の進版を開発した指律取引の進版を開発した。

「は、ここではつた、なほ会場其他で

施以來、院古島の鳴きつぶけ、施以來、院古島の鳴きでいて「紫島」とは米便品騰さいへば紫島でいて「紫島」とは、一世の歌に聞います。 こ、そどろに縁の歌にもなる。

して過大でな

問題の監督權

共通の事業法で

滿鐵問題へも一示唆

場の人氣強硬にて底固い市況を呈着の膨胀なるにもかゝはらず、地

動くさいふこさにならう 室するこさゝなつた 動くさいふこさにならう 室するこさゝなつた 動くさいふこさにならう 室するこさゝなつた かられず結局銀はアメリカ次第で かられず結局銀はアメリカ次第で かられず結局銀はアメリカ次第で かられず結局銀はアメリカ次第で を対するよい、 本の中日本側鉱田線領事態印贈へ を対するこさゝなつた をするこさゝなつた を対するこさゝなつた 本

取引調查委員會

するに決定した 操派を通じ正式提議し

古について我代表 、離職側が我代表 して来る込ま来睡 して来る込ま来睡

各省協議會

◆現物前場〈銀建) ◆大 豆、品騰、單位厘 九月末 25/10 5/00 5

大擴張と決定す

けふの閣議で正式に

貨物發線

旬

才朱 清洲取引所仲買人

内地株保合
上 木 低 落
上 木 低 落
上 木 低 落
上 木 低 落
上 東京短期の新東に三十銭安
止・東京短期の新東に三十銭安
止・東京短期の新東に三十銭安
上・東京短期の新東に三十銭安
上・東京短期の新東に三十銭安
上・東京短期の新東に三十銭安

送高

送を仕院地別に示せば左の通りでなる意味の九月上旬中における貨物養験

本だ決定を見ず、二十八日再び協 動車行数方針を正式決定する事と なった

智和事をもつて市場で取引されてなったが天津における中國、突通

るが同社の規模及びその特質ない立委員會に於いて準備を進めてる

新會社の概觀

新設電氣統制會社の監督閣問題は、京出端り最盛期を直前に擦へなが、場合には立てあるが結局野歌のこときであるが結局野歌のこときであるが結局野歌のこときであるが結局野歌のこときで本月初の二千六百十二章に比しては立てある、師ち日満帰国政府が、に九百九章の讃威が、ただして野する監督法規とするこ共に、「中三百十二章、前年同日に比する。なは新豆出掘りは一日十車は一十二章に比して、大至三章とボッノ(ながら地頭に「野する監督法規とするこ共に、「八至三章とボッノ(ながら地頭に「監督の監督閣は原販としては満洲、野春とつ、ある 奥地荷動き 漸~活潑

個人に立て通りまる。 国下の立て通ります。 リカ次第のここで何さも言へないが、アメリカ支にで付さも言へないが、アメリカここで付きも言へないであららし、窮極において起まで来たのであるから銀が下がるここは好まないであららし、双安だではあるまいは、別問題さして、當分銀價の維持別問題さして、當分銀價の維持別問題さして、當分銀價の維持別問題さして、自分をのが安當ではあるよいは、別為各のが安當ではあるよいか、自分をのが安置ではあるよいか、自分をのが安置ではあるよいか、別為各のが安置ではあるよいな、別の各のが安置ではあるよいなという。

は、東京二十一日登回通」徹に省で、落ち安値自九ポ七十五値でなり、は、東京二十一日登回通」徹に省で、加へ融工大臣を会長さする委員總、与安値八三州五値送路ちこ、數年、加へ融工大臣を会長さする委員總、与安値八三州五値送路ちこ、數年、加へ融工大臣を会長さする委員總、与安値八三州五値送路ちこ、數年、のに設けることを決定、二十一日、東五五値さなった。

邦人輸出不能

木木 水越株式店 大連級競別、電優電子

内定せる委員の顔酸れ中間り正式決定を見ること

三割三分減 滿ソ半期貿易

金票取圾

扱行の

こ車にして端境

國際對人物 人公 人子登 國際對金 現物 1117公 11117公 新對金 現物 1117公 11117公 對金票與 (現物 1117公 11117公 11117公 11117公 11117公 11117公 11117公

後場に入りて寄付百九弾九十個と 地相場は前場寄付は百十弾八十個 地相場は前場寄付は百十ポ八十個 地相場は前場寄付は百十ポ八十個 記錄的な暴落

株 北海市場は大暴風の東京は新東、日産共内地の下鞘に変られる五品、新豆なごは保合であったが土木は可なり賣魚の下鞘に変られる五品、新豆なごは保合であったが土木は可なり賣魚の下鞘に変られるが土木は可なり賣魚の影響を強ったが土木は可なり賣金が買方の影響を強ったが土木は可なり賣金が買方の影響を担いた。 製蔵も良く樂観すべき状態に製造した。 製造を担いが相當因果 を行はれてゐるから大心た悲 を行ばれてゐるから大心た悲 を行ばれてゐるないが相當因果 を行ばれてゐるないが相當因果 を行ばれてゐるないが相當因果

本 は は ない ない は ない ない は ない は ない ない は ない 方面に金票流

融合的機 取扱開始方を開発 八月八 哈市建筑

同 満電二課長 六ヶ月の豫定 十月末渡米 電底務課長末 で外遊うる満 標氏は二十一日出帆うずりい丸 で標連したが、來月十一日出帆の 住船でアメリカを廻って歐洲に行く答、なら中村營業課長は二十五と答。なら中村營業課長は二十五と答。なら中村營業課長は二十五と第一次とは、大月の豫定

【ハルビン特曜日 百餘申請

月中の建築設可能

六七、二五八、八四二 三、九〇一 三、九〇一 三、九〇一

■のお見難のお見難の

◆二二百十日、 一二百十日が事な く療んで早期が を取りませれ

『上海二十一日登』 倫敦観塊上 足の為め、支那人突込質見送る だンド、弗には輸入デマンドあ 方三六丁度出来値にて保合、北 所は圏少し質り後十〕月一二〇 筋は圏少し質りを、北 海爲替情報

南六九三六話電 四町渡佐市連大

致候效

總親 代戚

中澤

古可致候

總友代人

橫關渡

電回

父吉太郎 與原知各位 此段原知各位 此段原知各位

(3) 一方服 八通 九**后**四

袋變らず

Ħ,

次男健幸儀豫而病氣加療中の處藥石物なく二十日午後七時死去致候間此段謹告仕候。当前署儀は明二十二日午前十時途中行列を照心聖禮衝罪實場に於て執行可住候交石田健次連事聖禮衝一丁目三百八十八番地交石田健次下執行。

できる。 人無者

各汽船切符發質所は全繭各地 電長五四七二・八五三四、大連市 愛名町・一

では、

|| 日本郵船出帆

東東地 金票對(現物 三金票對(現物 三金票等)(東本 天) (本 天) (本 天) (本 天)

第一四00

相 鈔

場

10九四0 10九四0

天 111-8 111-8

(金融) に (金融) に (金融) に (金融) に (金融) に (本の電質(金融) に (本の電質(高) に (本の電質(a) に (本ので (a) に (a) に (a) に (a) に (a) に (b) に

新替相場 銀 三人教 「全」三人組 銀 三人教 「一会」三人組 銀 三人教 「一会」三人組

日満春主要類が出し、 (大・船川、 (大・路) (大 路) (大 路)

. 这 大連汽船出帆

青島上海行(湖山丸

古

八一

華工業所の

九四二元九九四二元九四三元七九四三元七

海標金

アス英米米孟紐 同 倫 ナチ 米支 日買育 先 ジー 貧為 為銀銀 電報

(四)

電氣會社

の見通

配當は當分六分

・ 表した密敷は百五十七萬俵にして 一般に基準敷敷を突破した、八月次 一般に基準敷敷を突破した、八月次

議定に依り我年別輸入高基準は百

委員會ど共に

海運私的交涉

總計沒木煉 計 遊建建

根を吹き飛ばされたり雨漏りしたりやらで沈然不能に陥つたのも何の皮肉が、しかし田ン園のためたりではいいというないのはいからればいるのではいいない。

巴 米 出來不由 出來高 三軍

一般が制法の質

定期唯合高(世日) 定期唯合高(世日) 前日對比較公印減大豆三六二七車 五車高梁 10七六車 一車高梁 10七六車 一車 100百箱公一四千枚 2和一二〇百箱公一四千枚 1000枚 11000枚 11000枚 11000枚 11000枚 11000枚

日蘭會商愈々軌

道へ

、分配も近

資金の調達は容易

公主嶺平野

帯に

滿洲國皇帝陛下

御統監

年慶康覧に航空並に航空が党費と 唐瀬大藏文書空部門の歌俳優がを雕るため、明 かんけんべく 配発中である

廣瀨大藏文書

大蔵當局に要求してゐる、陸

展開するよ

攻防戰

二月九年九和昭

つ策動の餘地無からしむるためにも 可及的速かに實施に邁進されたき旨進言する力說、最後に改革案實施を遷延せば今後もこの種の紛糾事態を惹起する虞れあ既に就いては在滿機關の强化統一の精神より見て閣議決定通り兩 者 兼 任を 遂行処きは絶對無き事を説明首相の諒解を得たが、陸相は更に憲兵司令官 と警務部一十一日發 ■ 林陸相は岡田首相との會見において憲兵警察制度の施行と關東廳員

事實認定 爆弾投擲の

ールト・リゲア平原の米人暴徒が 等報告に接してゐないさ稱してゐ 等報告に接してゐないさ稱してゐ が觀察節は未だ右事性について何

北平政

整會議

中川泰輔大佐

殊にお衿脚が

お顔に白がクッキリげえます

虫鳴く頃

七草咲く頃

濃い目に白いは

粹で優しい

大和撫子の

話】内閣資源局企惠部第二課長八本秀綱海軍中佐は二十一日半後四時五十五分着安、關係箇所視察の時五十五分着安、關係箇所視察の

襟を汚さぬ

濃くついて

心床しいお化粧法

郎氏(同ハルビン詰所

鉛白粉よりも濃く

アイデアル衿白粉は

八木中佐入滿

つて投機した事

能定してゐる

米警察當局

憲兵政治實現ではな

見越し

正確な公報に接してゐない故、 正確な公報に接してゐない故、 と一度地警官もこの監論解する事で 思ふ、尚に政府では警管動議の で、失職者を出す事 職者を出す事はては大場警務局長に對 より政友会は不信低製造出不可能をあるが政情の實際は職々の經神にたことから政治常識上一願肯定出 楽聴会解散説は 政友会が野繁化・ 【東京特電廿一日發】

で見られば府また解散原数に低いてあるのでは下の選集業業準本山たる内容省では、 本議会解散なしさされてあるが践った。 市の選集業業準本山たる内容省では また近極秘神に全員各所繋数等部では また近極を持たしません。 は最近極秘神に全員各所繋数等部では またまた。

ここな環想とて總選を職職に着手、大邦時會が解散の運命に強るべき、大邦時會が解散の運命に強るべき、

民政解散主張

際政界の空氣を一新し人心を新にしてゐるが民政繁素の閣僚は此の

幸民

B

沙州

【東京二十二日養國語】 株陸根は 年前九時五十分岡田首様で会見し たても善後措置を講じ でで、大きない。 、文警察官に憲 、東京二十二日養國語、株陸根は たても善後措置を講じ がても善後措置を講じ がこれない 、文警察官に憲

解散も で拓務省よりは聲

更變更不可能だが以上の教部長にする事は今裔部長にする事は今

更り極秘神に極々協議な重れ益々 れる所あつた 署機上に鞍部連奏集約二時間半に リナー時頃まで 問題に関し二十日午後七時より同じを「奉天電話」奉天電話」奉天電話」を表表では在消機構 新機構對處策

を自書に参手と協議の結果を設 を自書に参手と協議の結果を設 を自己という。

仕事が

れまでは

政務整理

なかつたのかも知れない、併し が乗り込んで来たさしても恐ら く色々の方面に製財されて私の やつたさころさ大した違ひはな かつたのではないかさ思ふ

を定は内部工作の時期で各方面 全定は内部工作の時期で各方面 での線解を遂げる期間であった での線解を遂げる期間であった での線解を遂げる期間であった

ある は注目すべきで は注目すべきだ は注目すべきだ は注目すべきで は注目すべきで は注目すべきだ は注目すべきだ かん は注目すべきだ は注目すべきだ は注目すべきだ ない かん しゅう かん しゅう かん しゅう は は しゃ ない かん 一般的に 本語を解散 おりません おり かん は は 日 すべき だ は は 日 すべき だ

內務省和戰兩樣準備

聯盟の無力呪詛 支那紙毒舌を揮ふ で総縁さなるのではないか、強 情の暴力に對して聯盟は質質的 に何か働いたか、既にこの時害 人は聯盟の無力を嫌無したもの であるが、今この落選に塗着し て情観児血の極別退を翼こたもの を失するこさは自ら招いて孤獨 た失するこさは自ら招いて孤獨 た失するこさな考へればならぬ、要 に陷り敵陣の衝中に陷る所以で ある。とから世界の情勢を を大理するに書人は情激の極線措 た大型することなる原因、但所 となり、要 はジニネーヴで我國が受けた輕 はジニネーでで我國が受けた輕 はジニネーでで我國が受けた輕 はジニネーがで我國が受けた輕 はジニネーでで我國が受けた輕 はいまって来たる原因、但所 もた期とで自力充質に努力せれ 夏職合艦隊の総銃百数十十一日登國通』米國海軍

こさはロンドン軍権会議を控へて

力自動を引ん

全米艦隊 何等痛痒 を感ぜず 大演習

非公式ながら大いに注し 車の非公式意見

たの如き見解な 角洋上においてなされることは、セットサンド、ハワイを結ぶ三一、演習の範圍がアラスカ、ヒー

権限機大につ 員會召集

氏(海軍少將第二水雷戰

絶對無害です

次してお襟を汚し

吸着力が強く。 その上この自粉は チタニユームが配合だ

からで、チタニユームは

それは鉛の代りに

陸軍明年度新規事業

整備豫算

長廣瀬豊作氏の水速を機會さして大連衛工会議所では大脳名文音課 いるが定したい ▲手近な機が、比のが物優を支配する「耐圧」の存 だ▲勿論霊経の方

昔は郷里 純粹の

曲

で

通摩し、帰るで直ぐ制服な肥松に入り、韓ダ二里の道程な

して働いた

シャトロン

地番ー十三町間公東市建大 社報日洲路 会株 所行費 〇六連大棚板・第五三一両書具

(育五计月二十年八州洛明) 可語物便蘇種三第)

(刊日)

2 見を厳しささは総 いが當の御本人は 廣石

郁磨氏

明大で法律を

の強い風事である。

◆…さいつて威殿がないさ

ソルトリヴァ平原におけ

近く抗議提出

米スワンソン長官談

心臓の變化を來

しては色の自過

條約廢棄後は 防備强化に着手

は

濃化粧下に よく伸びよく濕めす

アイデアル白色化粧下

の び繁三数場際の委員六千の網路が 南北麻栗に分れ太邦部隊搬職のも 北軍司令官 北軍司令官 が総監部並びに麻東司令官及び参 同意議長 が総監部並びに麻東司令官及び参 同意議長 の び繁三数場際の委員六千の網路が 同高級幕僚

次長中將 王 靜

同参謀技

なほ右大戦長式を協

次特別大演習部署決

雲に鑑み年度限りの再製たる事

してない。東洋の粉爭は東洋人加へたこさな痛快がるのでも決

野批 判せんごう

その詭辯でな

たが、これに難し日本軍監 地域であかの如く広 で、これに難し日本軍監

はこと、秋スポーツ・シーズンを はこと、秋スポーツ・シーズンを が、第一日の歌

社時前後のカニンガムに對し五十七時前後のカニンガムに對でる東京 ものご豫想されて居るが、井上 の背水の力走が案外効な奏し、 天近のカニンガムに對する東京 大阪爾大會に於ける速敗の戦辱 が成るのではなからうか

第一日(二十三日)

100

れは哲人が故らに

れることとなつた。然を來る二十三、四の兩日午後二時より大連運動場に於て舉行さ為を來る二十三、四の兩日午後二時より大連運動場に於て舉行さ內地より遼東の一角に移した大連に於ける日米對抗陸上競技會は全員漸く好調、世界新記錄への躍進かと全日本の期待と興味とを全員漸く好調、世界新記錄への躍進かと全日本の期待と興味とを

目から平静に立歸った時には忽

ての國際衝争はその動因中

機動力では容易に動けなくなっ

全員・新記録め

ざす

ラック三葉は総二百名の興難から | れた三名は何れも親人ららいが氏野子から三葉子に随つた満懸のト | 三名総され七名推致された、総さ日戦九時頃東京城の東南一粁六道 | 他の三葉は飛ばれて車種を焼かれ | 他の三葉は飛ばれて車種を焼かれ

展開されるスポー

-ツ豪華版

wiki陸上第一日豫想

の常弦手段を容れなくな

成党職さなり、計下殺人罪で訴追が無な場合を持ちたり、財子殺人罪で訴追を以て際といった。

郷の或る二國が、地方的利忠

匪賊

ŀ

ック二二臺

に襲は

三名殺され七名拉致

名尚残明しない、人質中には邦

一今日に應用さるべきでないこ だ。この傳統的國交方針

遠交近攻さいつた筆法は最早 次は支那特來の對外方略、即

壯觀に觀衆熱狂

聯合艦隊相撲大會

剛内の諸族伯が、互ひに一家の 力を有つて居る。併しそれは一 力を有つて居る。併しそれは一 が概略さして確かに巧妙な運用

命で本年七月范家屯署轉動前は小岡子署管轄水樂街派出所に巡小岡子署管轄水樂街派出所に巡小岡子署管轄水樂街派出所に巡

满

能不徹底な態度な憤ほり、敢ても、日本が夙に國際聯盟の

対機を奥へるかごうか、それ

が平和の爲の大聯盟さいつた

は、根本的に新しい看方

巡査部長昂奮し

警部補を射殺

機構問題から范家屯の惨劇

種の発東洋を擧げて之を眇念明者四月を耕し藤大に臨時祭明者四月を耕し藤大に臨時祭

復興の湯島孔子堂

日滿合同美術版の準備のため 日滿合同美術版の準備のため 日滿合同美術版の準備のため を一次で、 で変数になってるる滿洲國及び支那 からは歌画修想理ながのである で変数になってるる滿洲國及び支那 がらは歌画修想理なが個人 で変形からは孔梁七十七代の末 をで変がになるる滿洲國及び支那 になる孔令嫁氏である流洲國人 で変しているる滿洲國人 で変がで変加する後数が個人 で変がで変が、 で変がで変が、 で変が、 でった。 でった。

軍樂隊一行歸連

戦隊司令官শ

山少将 第一潜水

に戦闘部隊の約

第二便 日本橋小県校生五三七名第三便 日本橋小県校生五三七名第二便 日本橋小県校生五三七名

第一便 鞍山小學校生二五八名、である 二十二日軍艦拝観像定は左の如く 軍艦拜觀豫定

海軍機みで 第二総際軍業隊・相機へて除連すること、なった 第二総隊軍業隊・相機へて除連すること、なった ريور

市中を彩る海軍色

哈市に着陸

た後飛行場上空

際はみごさ編

うな線除に見ざ 末 れて市内の交通が一功二級勳一等旭日大綬章フィルムに見るや一第十一師剛關除

によ 旅客機でハルビン特體 5二 雅智にや、遅れた、 艦隊市令長官未 大塚暦は海軍機の第二十一日襲 職合 哈市に到着各方面視察

初めて北端の第一線に

橋を襲発し五時十分北流ホテルに 本一トに乗つて三棵樹地頭及び緩 観取した後、松花江のモーター・ 直に海邊防備隊に赴き情況と

株保合

三| 立| 立限

三言葉上し115寸

しても

ミルヤ果物店 豆 腦續

以保合、高粱は奥は大豆に伴れ強調

内地土産に 旅順特選リン

迎數書授 內以行十五;

感じた實例は核學

◆大連の火掘場の何處へ行つても 番號で等級がカマドの上に捌げ

◆われらの極の第士に繋する市民の無臓あふる、歌迎ぶりは真に 美しい情報である、そして勇士 美しい情報である、そして勇士

海の勇士の禮儀の最正なる

◇あの人一等のカマド、あの人三

上海事變出征 兩師團行賞發表

功四級勳三等旭

である、公報されたる部隊長左 動物に被事せるため保留されたも である、公報されたる部隊長左

黝三等旭日中綬章

步兵大尉

艦隊

舶耒時計

は

(順はみい)

森 洋 行

典田

時計

店

近

15

洋

動三等旭日中**殺章**

歡迎

無税港の大連で

後場市況(井川田)

提大 | 供品 | 各種生地類 | オコ 謝恩大賣出 婦人服 お子様服

開店拾周年記念 期。

至九月二十三日

洋裝雜貨 婦人帽子 各 四店

嬉しい海の勇士

(版內市)(二)

の最近傾向

ら酸憤興起せればならわこさは

て解決しやうさする。時代錯綜漫然で進安近攻の意芸に依頼し

立的交渉以外、東洋今後の平和な信じ、晋人また國家政府の對 支那自から敷明した所あるべき

繰返して言ふが近時の國際間

認して居る大勢なのだ。それなりは支那の識者も例に明かに承

確は、一さして民族運動に基礎 物質的数達に依つて新時の遠近 物質的数達に依つて新時の遠近 動さ風さの利苦關係中には、民 族さ民族さの複雑な交流素因が 族さ民族さの複雑な交流素因が

那對聯盟近時の經緯で遠交近攻

日本勢力の失墜な不利さする所

速は日本の能く堪ふる所でなく

遠交近攻策破綻

支那對聯盟

社

說

肯定ぜんさする傾向にある。自すら最近は衝吹この理由を認識

を見受けない。 た見受けない。

火葬場の等級 のは何さなく寂し おけるこのカマドの等級別は会 野べてくれないやうだ。 ◆演覧を丁郷に火機して貰ひたか

分相應な包み金で事足る問題でつたならば際亡に對して各人身

利、名古屋まテレこし が来哈も一届脳つて志士の碑に参

が異数な放ち宛然海軍デーを現出

私が成かった頃かった頃か

滿洲國へ

近く五名傭聘

三 同時に午後二時十分南部總弾車で は人選の決定を見たので近く本低 対対 これらざるを得ない。 これでは治外短機を鑑り至名だ 対象を進めてあたが経際が乗りま名だ で激か進めてあたが経際が乗りま名だ 対域を進めてあたが経際が乗りまでは 大選の決定を見たので近く本低 対対 であるでは、本人の に 大きなる では、大きなる では、大きなる では、大きなる では、大きなる では、大きなる では、大きなる では、大きなる では、大きなる では、大きない。 に 東京二十一日餐園通り 満洲園司 ローニ 大き側、荒木大栗、澤本日司 する事となつた

知らず、植民地に

厚東中將に功二級

李天國幣對金票 15 秦天國幣對金票 10 新京國幣對金票 10 新京國幣對金票 10 全東顯平銀先展 25

廣告部 電三六九五

裝飾材料 徽花造

京太陽ホテル

小泉專治

バツクが

是話四九七九番

參

.O一九三電·角場広西里汪近達大 新京ダイヤ街永樂町一丁目角

期近 11577 割近 11577 出来高 百六十六7 高値 安値 大引 出来高 百六十六7 と 11577 出来高 百六十六7 と 11577 出来 11577 出来 11577 出来 11577 コンドル 1157 ◆現 物(單位錢)
一時 11513 13910 11153
二時 11513 13910 11153
二時 11513 13910 11153
二時 11513 13910 11153 色お内 4土地 収產へ 消品の

老第大舗の速福

炭

の御用命は

電話 (四四二

≅行

であった 保。合 閉 散であった

包 米/出來不申)

包 米/出來不申) 大連西道八二大連西道八二 印入ハンカチフ 共他中人御好に應す 紹布雜貨卸

内地いりこ新荷着

一貫匁に付金二圓三十錢

4ワキ町五二(東京倉館長)

電話七九五六番 店

入風呂敷ル

京都保養院 清 精

諸油問屋

花王石鹼一個宛進呈致します 製物用用

(三)

れた、 は、九月十八日午後九時間、 一次では、九月十八日午後九時間、 一次では、九月十八日午後九時間、 一次では、九月十八日午後地震しる。 一次では、九月十八日午後地震しる。 一次では、九月十八日午後九時間、 では、九月十八日午後九時間、 では、1000年には、 1000年には、 1000年

意兵警察物長に協力して脱重犯人のらしく事件の發生で同時に同地

財中衆三軍職総の分は各職長が維持し 大・世際に神戦機の軍族のうち悪龍江衛 北日の佳日なべして満洲國軍の精鋭七 に日の佳日なべして満洲國軍の精鋭七

「世界」 諸洲関第三版『歌歌歌歌』 に向ふ学に寫真は韓頭の軍族にできれて臨江。 一十九日午後三時十分安東着縣職には日 一十九日午後三時十分安東着縣職に対した。

朝鮮革命軍總司

米瑞鳳を銃殺

十八日夜に桓仁縣小荒溝で

匪團には致命的打撃

(日曜土)

膨脹する鞍山

殖にる小學兒童

先づ學級の大増加

周さ協力して今秋早速その實現ないない。

はこれで並行して満人館の整理は 地域の充党をはかる勢である、尚 地域の充党をはかる勢である。尚

要成ら深く考慮されればならない。『安東』満洲の要展で共に安東の

安東の

整調

積極的に復興發展策

九十

- 萬都市目標に

炭都撫順を中 **宝滿の送電統制**

心に

わが海軍機の國都訪問

の際議通

躍進する北安に

中銀、正隆の進出

近く夫々支店を開設

大官屯發電所の増設と共に 大發電所の完成へ

日 「と歌歌リ上際殿に及ぶ各地の電力」に多響所の地震によっては現在ではないかと見られてゐるを電所の地震にある変表市への送電を握って、五萬キロワットで会計十三萬五千 契機さらて炭部無限を中心とするが、全面を火力發電所へではないかと見られてゐるを電所の地震にあるを表する。 所さなるが、全面を火力發電所へではないかと見られてゐるを電所の地震にある。 所さなるが、全面を火力發電所へではないかと見られてゐるのと、所となるが、全面を火力發電所へではないかと見られてゐるのと、所となるが、全面を火力發電所へではないかと見られてゐるのと、所となるが、全面を火力發電所へではないかと見られてゐるのと、所となるが、全面を火力發電所へではないかと見られてゐるのと、「一般解決性解した。」と、「一般解決性解した。」と、「一般解決性解し、一般解決性解し、一般解決性解し、一般解決生産地の地元より直接。」と、「一般解決性解し、一般解決性解析。

T 契機さして脱都撫順た中心こする 電報合同常社の誤立さ共にこれた 製の統制から近く解立される流洲

所の第二期擴張を初め内地方面より収容とてゆく客であるが、繋網 く恵に一校な増設さるい素より解校では収容し場

七十七人の在籍数を記してあるが 七十七人の在籍数を記してあるが 大きに其他一般移住者を合する時 で変に其他一般移住者を合する時 で変に其他一般移住者を合する時

子守りの盗み

や擴張の餘地なく響繁結に現在のを機としてゐるが、富士校は最早 る兒童数は軽人者、 、七百人の邀増を課題さ 從つて十年度に於け

【奉天】

なった

機動なるものない。 を対する。 をがする。 をがしる。 をがし。 をがしる。 をがしる。 をがしる。 をがし。 をがし。 をがし。 をがしる。 をがし。 をがしる。 をがし。 ・松村○塵長 れず低落してゆきつゝある、チチハル滿銭事務所の調査によれず低落してゆきつゝある、チチハル滿銭事務所の調査によれて作者によるを受け、一まり間ちには、日本のながら十九日末明に至る時最が三一、一まり間ちてのを近しりの歌音をあたへてゐる チチハルに針 日の夜か

長、長澤居僧民會長ら 歌されてゐる を現状に鑑み、同地駐 大光明を投げかけるもの、独復してその不便をし 雲現の曝には釈進北安戦かが留日滿人は僅かに 支店を開設するもの、如め在僧日滿人は僅かに 支店を開設するもの、如

満に冬近し

今一歩で氣温は氷點

媛房は早くも出現

作一ボーイの拐帶 事天」 各十九日夜中本年一月頃より使用と 出てぬたボーイ劉慶三〇二〕が同家 歌の現金千二百餘圓を扮巻逃走して ぬることを二十日暗鉄見ら、道者 になり、ボーイの逮捕方を所轄第 大塚に届出でたので且下各方面に 事九署に届出でたので且下各方面に

學校では此の程練習生な募集し近

一協力し引縮き捜査中である

生徒爭奪戦が

全滿軟式庭球

廿三日開催

の前でもきりに踵を下げて貴方機に七十近い老婆が訪れ吉は壁部補に七十近い老婆が訪れ吉は壁部補 の前でしきりに頭を下げ

自動車道路を新設

關係當局で實地視察

湯崗子間に

こさになれば道幅は現在の秋七米 道になられて上に路面はアスファルト舗装ま 道になられて上砂礫を入れて泥 成北の松茸 (漫画) 深悪館器間の言歌 に変出版が非常に懸いる殿北の で清州方面に輸出する殿北の で清州方面に輸出する殿北の で清州方面に終出する殿北の で清州方面に終出する殿北の で清州方面に終出する殿北の

に、 動々管現する は 繁華分舎が記さなつてする事さい。 動々管現する は 繁華分舎が記さなつてする事の世話 長 少尉の戦死の地でして記念碑が姓 により際を神繁二野戦が続端に同ないにより際を神繁二野戦が続端に同ないとして記念碑が姓として記念碑が姓といって八里氏に乃木少尉の に戦死の場所であるも事質同地はつる万木少星の つたが九月に入つては更 急激の増加を見る鎌足です。 野出荷は七月甲に二戦、賃 扱った満洲各地仕向けの松 地で大いに敷逃されてゐる 價格一萬五千町の輸出で

ある乃木少尉の神は従来その神郎

乃木少尉の墓

斷ち切れ の育 見に ぬ愛着 に泣込む七十媼

やかな生活を驚んでゐる平野とづ に是非お願致します」と戦んでゐ に是非お願致します」と戦んでゐ

北滿へ北鮮鮮魚 、では子供は私生子さ のた、おとづ婆さんは ので、おとづ婆さんは で、おとづ婆さんは 情だつた、月日のた のになり一人の男の子はんでゐた、この文子とはんでゐた、この文子となるない。この文子と とづ婆さんに強けそ の處置に困り懇意に からへては女給さし からへては女給さし 東さんはお妾さんであり子供は ない、それでは可哀想ださおし ない、それでは可哀想ださおし がある大婦者 にゆづつてしまつた、所がその はその子を或る夫婦者 又吉林の某邦人の所へ 黄はれて、 連幹のその子供は そこでも正式に入籍する事が出

楊柏堡襲擊犯人

が奉天のおもづ婆さんは今にないましてその子供が可愛くてたまらずまして古林でも未だ正式に入りが今一度育てたいから子供を取り返して吳れ 取り返して吳れ

뽺送好成績 今後續々供給されん のる 迎へた無順器では第下不良分子の 同年八月十五日を無順発する。 にかけて一齊微索の折十九日午後 加し一味二百名さ共に詫佐殿を被った。 にかけて一齊微索の折十九日午後 加し一味二百名さ共に詫佐殿を被った。 生れ徐連式(電)と言の昭和七年六 さして鬱地で東京が参りる。 生れ徐連式(電)と言の昭和七年六 さして鬱地で大学の味方を失ひ版 生れ徐連式(電)と言の昭和七年六 さして鬱生する強盗事他に連絡め 生れ徐連式(電)と言の昭和七年六 さして鬱生する強盗事他に連絡め 単常にかけ猛威を協つてゐた大刀會 関節にかけ猛威を協つてゐた大刀會 関節にかけ猛威を協つてゐた大刀會

二十二日午前八時半から同一日同院で終って記念運動會

小學校運動會 午前八

强力犯脫獄

で『精州』赤峡縣熊道行無河第二監 「CTO)城林(FT)城資(MT) 以略漢(MT) 「CTO)城林(FT)城資(MT) 以略漢(MT) 赤峰で六名逃走

重要書類損壞

大大年に農せられ服後中のもので、「野港」を発うを整勝の地で、「大大年に農せられ服後中のもので、大大年に農せられ服後中のもので、大大年に農せられ服後中のもので、大大年に農せられ服後中のもので、「大大年に農せられ服後中のもので、「大大年に農せられ服後中のもので、「大大年に農せられ服後中のもので、「大大年に農せられるな際に農せられるな際に農せられるな際に農せられるな際に農せられるな際に農せられるな際に関するという。

一錢宛献金

新京に非常時美談

中では、 ・村信氏(遠陽電燈支配人)強 ・村信氏(遠陽電燈支配人)強 ・村信氏(遠陽電燈支配人)強 ・村信氏(遠陽電燈支配人)強 ・神四十分鞍山郷へ運過同夜湯 ・中四十分鞍山郷へ運過同夜湯 ・中四十分鞍山郷へ運過回夜湯 ・中四十分鞍山郷へ運過回夜湯 ・中四十分鞍山郷へ運過回夜湯 ・中四十分鞍山郷へ運過回夜湯 ・中四十分鞍山郷へ運過回夜湯 ・中四十分鞍山郷へ運過回夜湯

ば治療日數を短縮し經過を輕くします。早期に用ひて豫防に良く、進行中に與ふれ本病特有の痙攣性咳嗽の發作を鎮靜します 白日吱內服藥 田邊商店

時から滿日支社で治特会議を際鑑・遊睛し難い、なほ二十二日午後七 奉天で二十三日から 第を以て可成り廣大なもので

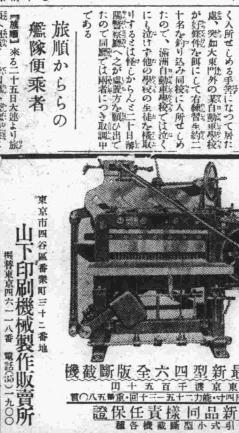
艦隊便乘者 旅順かららの

平然大官屯に居住中を 撫順署で發見逮捕 汽車賃並に解船料が含まれてゐる共に赴選するので創費一個中には る十六日山通バス線、一除七區間 相澤 武雄氏 【奉天】去

後二時四十分安泰線經由職せる楢崎勇雄氏の遺骨







金を拜受した | 「観察書店などが謎ひなかけられる。 **有草長** 黑水清波嚴 香 飛煙飲

到處光輝爛

うに五つの

す の思則金全部を流州國の國防基金 選 田中観朗、藤野親教、森島幸吉及 選 田中観朗、藤野親教、森島幸吉及 但知身許國 那怕風影壓 醫輪急 艦族燦 暖輪急 艦族燦

した満洲域海軍歌

型さなり、奉天街公警地嶋扇や鑑だ、だが不思議なこさには、この「はいなことが發見されて大間」る~~肥つた可愛い男の子を生んではいなことを報告が下シ~~質れ渡っ酸人の新妻が、懐臓十六節月でまる~~肥のた可愛い男の子を生んを 変形形は微い窓の総光美さいふ

かな様で懸命に奉公を楽しんでき 十元、中尉四十元、大尉五十元、 中代八十元、中保百元、大佐百二 十元、少勝百六十元、中将二百元 大勝二百四十元さいふ月総で、し 大勝二百四十元さいふ月総で、し は日職も休ます夜楽もし、少尉三
て木綿服、御大郷氏のた營の如き 居活動の娛樂場で、最近線 つたり止まつて門前雀様、お嬢さ

は西着の南島ではさすが勝介花 氏が高唱した新生活運動の地元だ 氏が高唱した新生活運動の地元だ



旦那さまの

一般は、あらゆる影響に伸いた機士 だ

い流行です。上衣は解録して原心のだけなかけたものなご最も難しったけなかけたものなご最も難し

紺さ黒が大牛をしめ、

冬のお洋服

さて!今年の日本式モードは…?

このシークな妨みは、恐らく三五年破職のバリの流行なリードするものでせう。キララかなメダルのブラセット等々――黙さ出さのジュウエットに、金鯨のもつ近代能色彩を添へてたタイトなウールの上衣、極端にシュブルで男性化した出稿のブラウス、艶かに磨き上げた瓜光からームです。恐ろしく大きな後上りのベレー、掩毛の綱いアストラカンを襟さカフスにふんだんに使つームです。恐ろしく大きな後上りのベレー、掩毛の綱いアストラカンを襟さカフスにふんだんに使つ

おそろしい好みですね

アレーズ伯爵夫人の一九三四年初秋のコスチ これはフランス社交界の花で護されてゐるフ

このま、被つておいてよいでせうさこの前僧殿診臓を受けましたがきこの前僧殿診臓を受けましたが

総な窓縁、即ち室内の換録をよるれたがよいさ思います。それ

され、その他は醫師の方針に從 はれるが良いと思ひます(土井

鋭利なり

ち、今のうちに早く治療を受けは臓災カタルの早熟症候ですかは臓災カタルの早熟症候ですか

石肺尖部呼氣

か(一讀者)

期症候です 肺尖カタルの早 を初めさして金

带屋古名

輕裝帶だけに氣をつけぬと

貧弱になり勝ちです

なりますが一古のことで大甕倫敷です。仕立てる時に前の方を、管験です。仕立てる時に前の方を、

けて加工すればうまく行きます。が背甲へピッタリしない方は鬱み

背骨のくぼんだ方へ

▼▼▼…お召職の色合がコック 要目につきます、この頃は名古屋

お

出

た方

よだん帯でも八寸前後の中の帯を けないさ帯が釣線になり勝ちてす

真二つに折つて仕立てたのでは、

す。若し背骨のさころが山んで帶きになるさペツタリするのを防げま

を標準にしてるますが、土地の配日本の流行は主さしてロンド

サ上げたホームスペンの成婚的な のながたちが駆仕事のひまんしに 機 かんり かきょう 中でもスコットランド

殿づのやわらかなベロア地、高級

どの變化はなく依然地のつんだ手

地風は背殿は

州では、窓の転襲から一足路に名は、窓の転撃から一足路に名は、窓の転撃から一足路に名は、

セビロ 生地は依然野

つたりして腰を締め、棚口は八時 たりして来ました。グボンはウエ

ゆつたりした壁、脚窓用さしては サンナー をアルを盛ですが、今までキュッ さ上つてるた触えりがすつさ下つ さ上つてるたましては 脚窓用さしては

のないスタイルに還元したやう

から九时さいふ然ご一指前の無理

かゆったりで解えばりも幾分ゆったゆったりで解く、 解にはふくら

茶の順でせう。スタイルは下脚

趣たつぶりのスコッチ系のスポー

ニーの男性能な感慨がよろこばれ

洲では、夏の輕疑からし

覺悟を喚起する national proposition of the prop 時局博覽會 明治大帝の御一代の御治績と

わが無敵艦隊の勇壯な有様を 眼のあたりに展開

観て、眼のあたり大胸艦式を貼め は特別事安の携端中粋艦艦に関る繁々陳列したさころは正に勇壯盛 なつて居ります、殊に眼をひくの驚魔海軍の敗力百墜の質物模型を 技術者の敷切な説明がつくことに艦、緩海艇、潜水世艦、潜水艦等 るの窓を置えしめ、これには専門

明治天皇御聖徳董鄭會荘艦、本社地(郷原場縣)に於て開催される

せられてゐますが、草に教訓深

覚悟を喚起すべく

ものさして注

生が五銭で観覧出來ることになっ

白い跡 わけなく直る

げか、セルバを用ひてあるもの

ります。ですが少しの値段の差

さヘラックを塗れば、

これはアルコールで拭いてあ

農太郎少佐の血塩の遺品」および 洲再速の郷火線であつた「故中村 には自ら頭の垂れるものがありま 明治天皇御下着」(御物)を滿 を が一重ですからベラベラします。 が一重ですからベラベラします。 が一重ですからベラベラします。 が一重ですからベラベラします。 す。お値段はラックニス五百グは一般の繁殖店に費つて居りま ラム人で一場六〇銭位です。 したのな使はないさお太鼓

の場を要する人には二種類あつ その場を要する人には二種類あつ

もの悉くあ

宇輸明保御、銀月殿中に登る途す その頃、鶏好を以て聞えた標準

ま一つ面白い話が「窓のする

二千個といふ高僧で、愛翁家

脱を目録さして監験を贈るのさがて一は暗き音を聞くのさ、一は厳

はく鶏の話が出た。停後は、三百

生泌殖尿

結

外科的結核節結構で、小イレキュ有効デ会

計 友 ロ南郊アリト科セラ 治療快九一%

肺結核ノ中期は下相俟ッテ全治経

て離ば何程にてもつかはずから必けてまるらん」と受合つた。そこ

皮

結

枝 行列がアッテを例外ナキ

助膜腹膜炎電に快速センムル全

その感んに現はれるやうになつ その最も流行を極めたのは、 古いこさであらう。

ら、致は腐木、或

すが、鳥物のゴッ~~した方やあなが、鳥物の蛇抜らなか~~い~もので

雜談 夜 平山 蘆江

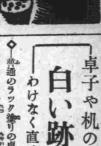
御愛越、目玉の青さこそ不思かむづかしいと、舌つたらす ナさ生かじりの日本唄、なかなて、チョンケイナ、チョンケイ 元より三味線を持つすべは知

日本海飲むかさいへば、「私

各地代理店

舞鞴でない方へ

ム長。防寒



などの上へ、熱いお茶碗などの などの上へ、熱いお茶碗などの などの上へ、熱いお茶碗などの 手続にされるものですから心脚のり見よいものではありません なくて結構です。これらの塗料をお買びになる方がその心配が

では、「「は」は中華學生が十錢、小學 人場料一般三十錢、團體二十錢、 廿四日より二十日間、

おる。何れにもせよ、勢を開きいふこさは、洗して今日焼まつたけではない。野に鶏の髪を聞き からであるから、人家に飼べする

◎ 志摩洋行

かはやあその中に、雷

角、御酒一般まるらせん。」で待

行を調した明か

もお譲り下され。」さ説い いて、三百好の家に並寄つ いて、三百好の家に並寄つ

気管支 端島 沿海峡七九%デ北銀 デアル 一年本注射ニョル全

て自分で振へたら軽くてピッタリ は、 この最も流行を掘めたのは、元 強く気がいから流行してゐたので が 強く気がいから流行してゐたので さって古は聞かす、後世慶長より 寛永の頃、第合せ大に行はれし こさ、その頃の草子ごもに見えたり、尤子集に、籠もちつれてかへるさの袖暮る、より、勢合せ大に行はれしてかへるさの袖暮る、より、勢合 せやみてわらね、 数句帳直徳、 にや然らば、

7精しく同書に記されてゐる、こさある。 第合せのこさも、かな

ふ書には、阿部暫後

の物でござる。我々武士が歌歩

害

確

け、 其他感染危険者ノ蒙 防ニ達覧デアル

他ニヨル全治野快八〇

賞美致すこそ本意なれ。」

から當時料に関し

チャを新モスにでも包んでお入れたおおびになる時、垂れの下にへなお紹びになる時、垂れの下にへ

て繋を師った。 ので、金銀を纏め、 は象牙、螺釧高時種などで趣向を その点能など

れ、味めたく思され 、味動町に能き着め でで、多く

と言つたから

さいふ位である。 な緋のたぐ ひ用ひざ るものな

なるさ、江戸中の愛鳥家がそれぞ なるさ、江戸中の愛鳥家がそれぞ を また。 江戸中の愛鳥家がそれぞ するのりはからに観撃くなくものできかたいて食場にもちより、順次にた人れて食場にもちより、順次に

おは帯地にもよりますが、根盤シーく紹べます。(井尻やす枝氏銭)と下から見える位で榕椰です、器ますさ、手がシャンさして恰好よったが繋に少 新魔紙四つ指位のをお入れになりないです。 はなのになる時手の折目の内部になります。 (井尻やす枝氏銭) たいでは、 で変勢を さって (大くり) ない こうな (大くり) ない こうない (大くり) ない こうない こうない こうない (大くり) ない (

すな無味でしめまって、すつて臓っな時に前の方を幾分突突させるや

放り合せも随分早くからひらかれ

本男兒 る足こそ早かりけれるというの町にロシャ人の無い

XXXXXXXXXXXXXX

家庭顧問

虫 作吾 省

二科展から して敬かを美しさなかな美しな歌質感色の區別やいで、決して質感の

若い婦人か構圖 中心にして、衣桁

後町二八其社、價五十錢 春日町七六〇其社、價四十錢剛識時報(九月號)整行所熊 刊紀亦

といっぱ、「いや日本男母といっぱ、「いや日本男母

たへたる足のしびれに、いやはなにがしの尻の腫み、ずつさこ

注射にまさる

警嗣店局に関いて、 ・ では、 、 では、 ・ では、 ・ では、 ・ では、 ・ では、 ・ では、 ・ では、 、 で

多 造品 v コマノマークト登録番號ニ御注意ラ乞 (全関多数の置条より得たる報告統

肺結核ノ初期有効病シド他ノ彼は有効病シアルを

結核空臟新削

有馬 击山 太縄 三医学博士到製

橋谷農學博士監製馬越樂學博士指導

数十二百二萬一第

举校

ラヂオ聴取者の

阪 大 所剤製村竹

六五〇二巻 八五〇二巻

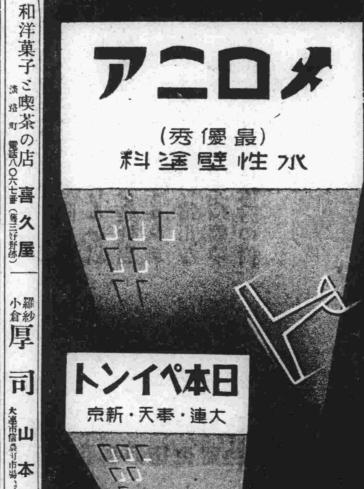
作走医院

青白く痩せて、

和洋御料理に うせいです 外市屋古名 社合式株造製トマト知愛

大達市西通常整株西広場中間)・電話方七五二番・





模範的頭痛藥! 胃臓をこわされ

酒 友で語るも 酒ありて興趣更に加ふ

情 三 銭 五銭 各業店=テ販賣ス神經痛、運動液れ、筋骨の痛、神經痛、運動液れ、筋骨の痛

天然堂藥局

日朝

製社會名合弟兄光久

付田 野賀性 本日



近藤商

公會

風邪を引き易い子供

EB 736

洋

小粒の錠剤 小粒の錠剤 い子供を強くするには是非とも必要です。だからこれを矯正する様なヱビオス錠を與へることが弱い子供に限つで胃臓弱く、喰べ物に好き嫌ひが多いので弱い子供に限つで胃臓弱く、喰べ物に好き嫌ひが多いので 増正され次第に厳則だる元氣な子供に更生いたします。 化、吸收されてよく身につきます。更に接資期の子供に大切なヴィタミンやホルモン、骨格やい 夫にして食がな進めます、從つて食事は美味しく深山喰べられる様になり、然も其等がよく指 エピオス錠は一類で消化、吸收、桑養、治療の綜合作用ある活性へーフエ剣で第一に胃臓を丈 康低價藥 販賣元 製造元 盤 田邊五兵衞商店 大阪市東區道修町三丁目 大日本麥酒株式會社

ピオフェルミンの主劑たる乳 痢

的機能を 有す。

乳小

又有害細菌の産生する有毒物 敗性變化、異常醱酵に原因し乳小兒下痢は、多く膓内の腐 起すに因るものにして、 質を血液中に吸收して中毒を 、と等の症狀に安ものにして、ビオ

便不

秘良

を住良ならしむ。然も膓の蠕を好轉せしめ、榮養分の吸收の消化を催進し、消化不良症の消化を催進し、消化不良症 整へ、常習便秘に良効を收む動官能を旺盛ならしめ便通を る整膓作用の外に、併存するビオフェルミンは乳酸菌によ 二種糖化菌の營む腸内澱粉、

傳染性膓疾患 危険なる

豫防と保健の目的に優秀の價等)の豫防上に本劑の常用を疾患(膓チフス・赤痢・コレラ **腸内に於て、各種の危險なる ピオフェルミン中の乳酸菌は** 値を認めらる。 て、初秋に頻發する傳染性膓 有害細菌を殺滅せしむるを以

全國著名病院 指定藥品



粉末と錠剤・各地薬店にあり

店商衛兵長田武就 叮修道市阪大



元賣發 所驗實生衛戸神 流 元造製 叮番二市戶於

(+)

番子旗の北東贈呈(下右)北村席の舞踊

日米陸上選手歡迎のタ

ギー監督の挨拶(中)國歌齊唱(下左)村田寫真(上右)本社細野主幹の挨拶(上左)マ

米融画選手競型のダは二十一日午本武志僧、満洲標育協會後援の日

訪れて大連において日本チ

本チームさ

が信地においてもまたペストな しい進歩鉄達な送げたこさな 機へ、且つ我々は東京、大阪阿 地においてもペストなつくした が値か十数年の短時日の間に眼 が値か十数年の短時日の間に眼

ラマケント映画スポーツ 萬郷郷、 した北村歴史女の可憐な日本舞踊。 した北村歴史女の可憐な日本舞踊。 での式を終り、好意能に特別出演

大連市多事會招集

題コニナニ

兩國選手歡迎の夕の盛況

て述べ最後に南南陸協理事械局介持、決戦する

あり、綴いて日本チーム

兩選手 為於して機型

幸投

HK

告左の通り

四二公

一千な超える見込み、二十一日午後

資傷者 一三五四 六時年迄の被黙報告を基礎さして行方不明 三一 大阪府救護本部の要表した處に佐右の外一般市民の死懲者莫に願西 れば大阪のみの振黙三歳圓以上に各地の分を合すれば死懲者数は三 難した

死傷者二

千餘

損害大阪だけで三億圓

聞

颱

【大阪二十一日養國道】大暴風の 京阪神地方は土砂解説、養電所の 京阪神地方は土砂解説、養電所の

大阪築港の被害

管内の被害 大阪鐵道局

うらる丸

十一時会く通信職格不可能の決勝

信可能さなつた

郵着せる颱風の爲めの各地被黙左 『東京特體二十一日數』內称省に

各地の慘害

故障等のため全部不通さなり、

続を行ってゐる

無残! 死傷者三千を超ゆ 慘澹たる西部日本

不、大阪間の総路は津渡に後はれた医行列車は郷津富田縣に於て脱 総販養取經像為二十般名か出し鑑 でる光景を呈してゐる、更に明 であたる。 では、大阪行列車は郷津富田縣に於て脱

洪水市内に奔流

津山兩市の惨

時十一名を救助したがど

してゐた

た紀州衛岬沖で神戸神院でより教助船前建丸を急派し

三十名燒死 中學全燒

京都も被

告甚大

無電による

す校舎の窓から教ひを求むる生徒

(第四師)は発さ總動員とて救護に大活動など

こゝある、角ほ中國地方一帶に各地さし標常の被称ある極轍なるも耕織尚ほ不明である。の極みである、風害のため突通々信は杜纏し、救療は阻まれて罹災區域の懐黙甚だし

生地獄 から 中内隨所に立往生

一部で動知れの家屋を飾感し屋 一谷みにし陣鼻吹吸の様は七百三十三リ速度六十五キロ屋 の大阪市内小駅校下二の販売を襲った家市の地域の大阪市内小駅校下二つ 地域の機能を撃した就市の地域の機能を撃した就市の地域の機能を撃した就市の場所を襲った。 だめて遊げまごふ小學りで と折から襲った家雨の中な の大阪市内小學校・二の校舎修婆地獄の懲狀を呈した就中攫製開始 を た焼め家屋、慶告塔、店舗り半壊 一週間を要する を焼め家屋、慶告塔、店舗り半壊、電話等の完 大阪市内の撮勝天王寺の五番塔 一週間を要する

宛ら戒嚴令下

不氣味な暗黑の大阪 軍隊の目覺しい活動

絵に像つて居るが大阪雕覧は教護に遂し教護班は日下を具食糧の配・一般にある、尚に楊災段は教一十萬 態にある、荷は幅災民は約二十年の一大阪はさなから成殿令下の

票の街の警戒に驚る事さし武装一一日夜間も引續き電燈を失つた

風被害に関し天皇の東京二十一日発 聖上御軫念

の災害養美さ共に治安維持に驚つして二十筆な配備して萬一の場合に「大阪二十一日養國通」大阪厳風しい情景な現出、各隊ではトラッ の引續き電燈を失つた暗

倒壊、電線、電話は断線して 見込 立たで催かにバスに

銀行、會社は軽並 年歐、在鄉 天第四大隊 を記した。 は腰を寝する濁水中を家味を纏め て有律左往と大混鉱と高 で有神左往と大混鉱と高 名園後樂園も危険に激してゐる。

量、 消防隊を指揮決死隊を組織し たので午前二時等安津山署長は署っ にので午前二時等安津山署長は署っ の増水を知らず生徒三十餘名が熱

るなご京都な中心さす

内地な襲ふた大楽殿のため日瀬間の通信社総したので電々會社ではの地な襲ふた大楽殿のため日瀬間

昨午後復舊す

新京、東京間の事務として新京無電磁を利用し大連、東京間、

つたが抗聴くも突破戦名輸送能所新京、東京間の連絡なならついる

0

十名は校舎と共に最期でなった四百名の職員學

努めたが近智れ 【名古屋二十一日發國通】名古屋 である

名古屋の被害

内外地對抗戰 柔道選士決定 二十三日午前九時から

愈よ神宮外苑で墨 は内三十名

名、(五段) 名、(五段) 外地選士(朝鮮)(六段)同野幹雄、古澤馴兵、(五段)山口野幹雄、古澤馴兵、(五段)山口勝三、(四段)石川和豐、木村實、南條盛一、岩崎一郎 呪ひ

(臺灣)

(開)東州) 監督(三段)佐鵬寅 之助、監督(六段)神野石 石川速水、日浦動喜、山岡保孝 星亮三郎、奥村信一、石崎守夫 星亮三郎、奥村信一、石崎守夫 里亮三郎、奥村信一、石崎守夫 (樺太廳) (五段)宮崎陽太郎 (南洋廳) (五段)池田初雄 (六段)岩淵信、(五段)

▼沙河口溝銀工場開放 午前九時

午後六時中より

3

な時間がはする

不動

0 事場

▼是野甲學同窓會 午後六時より ・ 二十二日も引縦き大祭 ・ 二十二日も引縦き大祭 ・ 単、二十二日も引縦き大祭

一日に三名の犠牲者 日捕競組合せの結集左の如く決定、 大連新膨胀主盤線五回を流遊波野 大連新膨胀主盤線五回を流遊波野 大連新膨胀主盤線五回を流遊波野 全滿選拔野球

備へ!

署水道縣以田邊正平(1m)が水道管 満州仏製工業の工事場で大連民政 満州仏製工業の工事場で大連民政

鐵漕艇部一行は二十一時發列征…▼對鮮鐵戰深期戦のため

名を募集し絵 東洋一た誇る

十幅膨緩上下線路間に機能しては をいた残り 中によりて短線を取り をいた残り 中にこだまして短線生地駅の燃炭 でする整大腿行外。 ではあるが、大津二十一日登回通」二十一日 りこれがため約五百名の乗客中鉄。 構変を下りた。 が、では、一般では、大津から在一無板の場院にかった前八時二十五分必要線瀬田川鉄。 横下に吹落する者、歴光する者、 を現場附近の病院にかったがためが五百名の乗客中鉄。 構変を表した。 をいたがためが五百名の乗客中鉄。 構変と、一般では、 をいたがためが、 をいたが、 をいたが、

大歌はぎが短天歌(と)が同工事場 で寒概楽戦中重量な繁観の下敷き さなり概処の重傷を養うた

二十四日(1)の勝者對(2)の勝名戦一時(3)の勝者對(2)の勝者對(2)の勝

代山(To)が軟漆無礙な順処を遂げ に一時三十分同工事場アンモニャ

滿洲國戰三時

- 時(4)大運滿俱對新京戰正午

全身に十日間の火傷を貪うた、更 た現場へ徹査に赴いた辨派爆倒し でイト三登のうち一餐不餐さなつ

たダイナ

死者上

-名重傷無數

し脱線

隅田川列車椿事詳報

美しい日米親善風景

域のまゝで置き捨てられて居るがこの慰賞金百周を由指して投がこの慰賞金百周を由指して投がこの慰賞金百周を由指して投がこの慰賞金百周を由指して投

金州北門外三崎山の三郡士大 三崎山烈士追弔

山の三烈士大道形 て着へ抜いたが来だに名家も書いても、水にも提へすさいつてそのま、焼き捨てるここは画彩事が時の焼き捨てるここは画彩事が時の 職情傳係主任で折角多數の民衆

識かこの三萬枚金部な一手 the Taste of Uoy 彼岸團子賣出 本各地名産 界各國酒 んは 大山通 ぎ 四 珍 +

七〇、流 北 智

東条屋、出火糸屋框盤ある模様で がき取られ常燈、電話線と切断窓 渡たる光質を楽してゐる、駅祭電 渡たる光質を楽してゐる、駅祭電 であ光質を楽してゐる、駅祭電 船の被害 愛媛縣の被害

エリ死者一名、百 中學校一棟倒壊し

津市外に

和歌山縣

後より動門地方に猛烈な鰻風製水 し夜中最も一般の第であっ り二十一日朝門司入港の第であっ 大野艦三笠丸は二十一日朝六時十 た野艦三笠丸は二十一日朝六時十 た野艦三笠丸は二十一日朝六時十 た野艦三笠丸は二十一日朝六時十 た野艦三笠丸は二十一日朝六時十 た野艦三笠丸は二十一日朝六時十 た野艦三笠丸は二十一日朝六時十 た野艦三笠丸は二十一日朝六時十 た野艦三笠丸は二十一日朝六時十 た野艦三笠丸は二十一日朝六時十 た野鹿三笠丸は二十一日朝六時十 た野鹿三笠丸は二十一日朝六時十 た野鹿三笠丸は二十一日朝六時十 た野鹿三笠丸は二十一日朝六時十 た野鹿三笠丸は二十日年 漂流二隻 廣島縣下被害

□一七八、死者五、**頁傷六、船舶** 屬**山縣** 橋梁流失三五、倒

松山市 正午迄判明せる死者七、貧傷四、行方不明二九、家者七、貧傷四、行方不明二九、家屋倒襲二九流失家屋一五、浸水家屋一三二七、船舶沈沒一六大分市 電信電話線は目茶音楽さなり家屋電柱倒潰多く市内は浸水豚に達し、床上浸水家屋干

東京の被害

老年の蟇 .

店理代總洲滿 四五通縣山市連大 築

味覺の秋 越この程か! がの為一盞無料サー 入致しました。 なばるアテネから輸 なばるアテネから輸 酒場 信濃町(酒の安兵衛姓び)

口 27 あ ŋ

おけることが心目ではヨルド・ヨラのこと

秋冬 小 间 物類 灵 大連浪速町替城町角 一電三四三五 流行新柄第一回 着 西语店入口 屋

ナイト艦隊ダンス戦 見よ!祖國愛に火となれる我等が女軍艦隊は 三夜共、珍なるサービスあり 然して我等艦隊のヘルプに努められよ! 來路! 亦 來路! 皇國の與廢此一踏! 今や出動準備全くなつて 海と空!! ★22(主) 23(目) 24(祭)★ 奮て! 海國勇士諸賢! ●●地に待機!

ラ

ハ は響!

曲痛。セロシン(聖路心) 日本 語漢号 数

E

丸橋殿のお手の内、

派附看 造添護

婦派遣命管完備

大連西部看護婦會主派遣多忙會員至急募件

はっき

各種師商

チョロリさ彼が衡甲に陥つてもまれて下野に管見したが、是所、思輸の制度・受験したが、是所、とのででである。

体がで を がです。 を がです。 を ができましたが、 発用は正一 と ができましたが、 発用は正一

· 場西四軒目 宋 廣 宗帝地數馬廣場電車符 宋 東西監部

信息可能で大連接番向前小路人名 (博士) 「大連市漢速町五丁目二百一番地大連市漢速町五丁目二百一番地大連市漢速町五丁目二百一番地大連市漢速町五丁目二百一番地大連市漢地町五丁目二百一番地大連市漢地町五丁目二百一番地大連市漢地町五丁目二百一番地大車大車

リ灸専療院

政

分が記低さなり、そして門人に乾地にて送られて降つたが蟄日より中

高級

萬 黒 焼) 振替大連六二九一番まむと素焼 小 松 家 本 店まむと 素焼 小 松 家 本 店

神 蟹 鍋、バスペツブ、・ 中山胃脳薬、ダウンチリメ・ たこの吸出じ、

宿

宗施的に待遇り

小持よく醉った忠郷はやがて乗

評初の小松家の「まむし」 「大賦の後養強壯州です。病弱の人」 は弱な子供、創務の方にお婆め致 します。

医院·治療·名薬

作多屋(料質店) 本リキ町八九(南連斯角)

上げんさ気す。その時正野は壁く、東内に正野は水ツン突出した。

めたが、柴田は節じて背き入れながり上雪に命はせたいと二人が働い場がしまった。忠神は柴田三郎兵

常盤横河島ミシン電話六六八四

家政婦會員業界を仕事一の精神にもえて新らしく

大黒町一四八電話二九四七〇番 新日舎々主 井 芹 雲 子 町 日 紹 介 所

出本 張支 所店

木用 品親切本位質受

し、二間柄の槍を担り徐々で進みたかけて、自緩を以て針数をいた正常は袴の股立を取り繁華の響

新文 タイピスト養成 中前・午後・夜間 中前・午後・夜間 中前・午後・夜間 中前・午後・夜間 中前・午後・夜間 中前・午後・夜間 日本タイプライタ會社 でスト英文邦文華文短期

瀬戸

B

中書 邦文集 小林父七支店 大連市大山通 小林父七支店 小水連市大山通 小林父七支店

費其の他家畜類診察

石井家畜病院 電二〇四七番

貸出勉強·保管確實

内

大々的食出勉强名賞共に一大々的食出勉强名賞共に一大人の國職である。

まず 所公園町一四三大連

印書

連目なタイプライターの印 お文タイプライターの印 まいたします

和服

女中

雜

大地 土産は速東京 さかいや数 機関用

女中

水蛭 ガリます

製場隣根本薬局電七八六二

看護

一筋の縄な扱ふがままれ

(A)

道軒

圓 玉

演

回回度回

原四前

浪速町二丁 電話二三五〇二

丁〇川 百番六會

効

力本位

属

を金融。

立京吳服卸

比

雪

(33)

正雪の機智

その抗正野 がか引き

て、少しも腰球なごころはなく、 事を問うたが、正響の答へは明歌などで、養美を撒した。 丸織は此の離上にて、 響態した。 丸織は此の離上にて、 を表した。 丸織は此の離上にて、 忠郷は正雪の子分になつたも同様 地様はこれを除き、正雪の選場 地様はこれを除き、正雪の選場 を乗取ったこ喜んだが、それは大 をでいるに正雪の部に 来て其の門人に教へる、さすれば大 曲者です。 断うなるこ 無力なると正常の方が役割は上で 無力なると正常の子が役割は上で を選ば正常の子分になつたも同様 では、何故かといふに正常の話に 正雪の道場

店員 店員 女事 書生入用勉學ノ餘暇ア 二八女子衛

西公園町六九 五電話六六六三大連案內吐情券新開發錢株式現物店勘業復與公債實質並金融 療·名薬

電話八二〇三番 不二 タイプ原 満洲登録元 高級事務 高級事務 大連 大大大 **東** 堂

大阪天王寺石ヶ辻町東京瀬院東京市芝田村町東京市芝田大町、二風五十銭、一園、二風五十銭、一園、二風

ん香水

カ

腕のあれ等の皮

0

料

高木質店

大連市浪速市 備一銀 子 銀 一銀 一銀 一銀 一銀 一銀 一番通 行

泌尿器科科

X 整形 粉科 科科

醫院

紫亜四三七さかい本店

ニチロ

卸

盛んにする仁介 にする仁介



服下取交換

何でも御紹介

玄品で差額な

洋

北海道滿蒙貿易協會

度が 97 0

理化學用質髮圖 大連市 所 語 器 版 數 度 地 作

電話大連六九四一番

迎歡口大

營 養 至 立 本 目 金 金 品粧化 あ 品は

ハニーローション・リ洗粉、アイビューリ洗粉、アイビュー

沿線の御方は振替大連三式光番で市内の御方は電話六六〇六番へ

大連市但馬町六番地

まる~と肥らします 0

育兒上手

一第外内・共行費・質品

廿二日(土曜)廿二日(日曜)午後六時より 剧文 地 の 熱 血 風 黒 見 小 生 夢 坊 演 出 指 揮 在 滿 皇 軍 鐵 道 從 業 員 慰 問 演 劇 團 ネオ・アヴァンチュー 劇文壇の熱血風雲見 新興探寄派劇黨 京天 後生援催 二十四日 吉野光枝 滿鐵社具俱樂 二十五日 和 部社會

元日活スター オペラの王者 築地小劇場 新興舞蹈名手 茂木信夫 寺田靖夫 宮部靜子 橘 秋子 五月美佐夫 岩林 修

池邊愛子

社會劇 鳴 呼 蹄跡

一幕二場

エポフ氏原作 二幕二場 **非野紅氏脚色裝置** 主社發行[皇教]所藏 岡田忠一八驛

午後三時。倦怠 活用の時



社會式株乳煉汞森

最も

洲國を觀で

参觀を許可 沙河口工場の

急速なる發展に驚歎

(上)

尙

出かけたのは今度始めてずある。

ないけれざも、この二年本湯淵園

なり磁鞭な問題である、のみなられても必ずしも同じからず、頭にはかいても必ずしも同じからず、頭に対するのであって、しちろ

かしてるる、その有様は戦に数重 が終月の慰覚のため鬼命を弱れて発 がある。その有様は戦に数重

く、自分の受けた印象をありのま

これは御世離でも何でもな

るから、政務送行は内地で若へてるから、政務送行は内地で若へて

変上もさより懸多の困難あるは発 変上もさより懸多の困難あるは発 が確学たる決心をもつて、あせ ちず違らず、影響を踏んで指導の 低に置つたならば、幾年ならずし

にて、日歌の願俗は非常に好かった 時代であるけれども、日本人の歌において歌時ないことが多かつた。但の意に滅たない。 野中、日本の經濟経過日が盛んに なって、特にシャリアの懸賞観光 に促進された日本歌記が、盛んに

観は憲は左の通りで

で立派な関家さして協立てること

満洲寒壁後、比較能ゆつく

たくない、 この はんや、 流洲間壁とは切っても強かあったに建かない。い 上に 風難があったに建かない。い 上に 風難があったに建かない。い はんや、 流洲間壁とは切っても切っても切ってもあか で ボール はならないのであるか

事情かくの如くなるが故に

たのである。

その頃は、歐洲戦争の最中

前九時から同十一

本谷顧問かち來てくれさいふ電 水谷顧問かち來てくれさいふ電 大、オイルセールの增養は七萬 た、オイルセールの增養は七萬 大、オイルセールの増養は七萬 大、オイルセールの増養は七萬 大、オイルセールの増養は七萬 大、オイルセールの増養は七萬 大、オイルセールの増養は七萬 大

れるだらうと思ふ、時局柄なるでもな下げ、また精製品の割富てなって行きたいものでそれにはあらゆる関係を考点してコストを下げ、また精製品の割富てなったったが、また精製品の割富てなった。 最近アランスければなるまい、最近アランスト

に列離し二十二 はつたが、同か に列離し二十二

二十四日献上

職に就いては深く触るくを避けて 通過時代の途に就いたが問題の要 地 を称列長は二十一日共衆鬼で常地 のと は、これにが問題の要 地

連署において行はれる五署協談会小協子教芸器では午後二時より大

で出来たこと、非常時の燃料國策 世帯では、非常時の燃料國策

補助を仰がずに

を見る模様であって一さいなった

計畫實現を期待

山西滿鐵理事語る

世良審查役談

子は同日変刈大使

増産 が七萬五千随時代の

小崗子署協議

主張上の反對は

慰留は至難

大場局長門司で語る

一萬五千題今間十萬題を製出しつ 題より電話七男五千題(別事十五萬題に除ず記載を実現し原油十五萬題に除ず記載を実現し原油十五萬

烏鐵

7. 木 鈴 人行設 治代喜本橋・人城網 盛武 村 本 人制印 地震一計可蘭公東市連大 記報日消滅 社會式物所行政 有光商店

政官の警察部長兼任 教機構の實施上 坪上次官、翰長に力說 上支障

を取外し電信、電話線を切断するに至り、八月二十 を取外し電信、電話線を切断するに至り、八月二十 を取外し電信、電話線を切断するに至り、八月二十 し、これを観察中であるが、一説によれば八月十八 使は肉類線送に悩まされた同地裏氏等が同聯盟が長

該貨車に放火したものさいはれてゐる

支那軍部高官の

不當利得を暴露

務回の電影を容れられたい 出の話は新機構案そのものに反對するものではなく質施の上の話は新機構案そのものに反對するものではなく質施の上のこ一致し、二十一日午前将上掖務次官は河田書記官長を訪問して此の監を力談し 関東州の實情に鑑み將來稿小さるべき関東國の警察部長を憲兵司令官の兼任とすることは絕對に實現困難の水符英書縣最等の意味を戳し徴内局縣最重論を解いて方策を處置して來たがその結果、他の問題は兎に覚さして

青を述べなほ之に関する理由書た首相の手許に提出すべく依頼した務則の 布置を容れられたい

連署の辭表

廿三日大場局長に申達

おける質情に關心中央常局は認の問題に非ず飽く迄文官政治のの問題に非ず飽く迄文官政治のられてゐるが、我々主張はバン 撫順の製油事業擴大

細語民族総監では去る二十日午後した 民族聯盟會合

び十時過ぎ配置した 吉林軍務會議

組織、人事問題、満然能經等を論 法別被き序との方案を決定した 本の民族運動に及ぼす数数に致 いて是職なき該議を行ひ使つて際。 とり概さ序域の方案を決定しな 本の民族運動に及ぼす数数に致 、人事問題、満然能離無問題の 周三並に某氏が集合しこの形

質施の上に支障なからしめんさする趣旨であるから是非さら拓

課長の後任補充に

然果果大阪市には平田現總局館

阪の防空完備 東京は兎角議論が多い

東東省器材課長航空 東京打合せの要務 東東京打合せの要務 中川陸軍器材課長談 、電氣谿接の光 (電弧)

家に随ったが 家に向ったが を響び廿一目な をでいま、 をでいま、 をでいまでは であると共に随ったが である、 満洲 である、 満洲 である、 満洲 である、 満洲 である、 である、 満洲 でいまに にいましたが でいましたが でいまたが でいまた 空施設し進歩しつで機の威力が増大 、休憩所以外に於ては関連を禁する。 一、株割所以外に於ては関連を禁する。 一、株内以下の損勢するを得す 大、株内以下の損勢するを得す 大、株内以下の損勢するを禁す 一、株内以下の損勢するを禁す 大、株内以下の損勢するを禁す 大、株内以下の損勢するを禁す を要す プラタップ氏

原油三十萬瓲の増産を計畫

燃料國策に貢献の目的

族大同廳絽を築するブラタツア氏『本徳二十一日發回通』亞細亞民 多倫へ向い内蒙各族王を駆訪するため十九日養成した、一腕日中に はナイル氏同性蒙古各族と連繫の族大同團結を蒙するプラタップ氏 二十日は各方面で職格などり

部解制は巡視のため二十日飛行機の派後二十一日發図通』松照軍政 て着承、勢備司令部地區顧問部な 板垣少將承德訪問

おいて開催の

岡部

子動靜

井上第三部長 井上會計 協査院第三部長は二十日夕贈行員 職、二十二日は大連長政業、選信 局の會計檢查を行び、その後三十 日までに満親、東沿その他の會計 お無の番なざいひたいが今更呪

滿無國境の軍備共同撤回、いざ 就いても、飛

お また (安勝一を品な実施 行洋 江 近 口 営 三七 大 六 電・目 丁 三 甲 造 泉 連 大

藤城吉太郎氏 長陸城古太郎 氏は全野液よ

能風、西部日本な襲ふ、猛敗雷

一に間ひ てんなつてな

新京

加へてるたが、絵画作数ぶに二十れの東本清水町自宅にあつて手書なれているたが、絵画作数の記集と

内運物中の諸軍に注意

を一般に解放象機でもめる事にな とのだめ二十二月工場の一部 では「素質の一部」

と思つたら、火のある處コン 米國の支那空軍援助、臭い ションの煙までたつた。

て姿を際すあの人ちやないわしたそんなことがあれば、私に默ついてんなことがあれば、私に默つ 「本當に、ごう

三枝は醸な抱へて、項頭れて

大連市信濃町市場前 新屋和服裁縫 7

和服裁終 寄宿生、漁學生)他に恐練者 ご實

ルは

金剛山探勝會費・二十九日清着九月廿二日後九時、二十九日清着一二〇名募集 百名募集

龍頭行の會

大連彌生高等女學校驗驗

彌生高女慰 靈祭

す何学輝参拝下さい、卒業生諸姉もまた岬参拝下さい、卒業生諸姉もまた明を押を持の為岬通知不能の方あり之を以て御家内に代へま以來物故諸氏の慰靈祭を執行します恒例に依り九月二十二日午後一時より開校恒例に依り九月二十二日午後一時より開校

神ービスを親切をして居ります 新京ホテルは 新様の で 禁錮勞働者の所為 古事 は

(個者群はこの事党を開知し観点中のゲ・ベ・ウな血器りにしたる後同職を破壊し、約十粁に亘る総谷を開始しつ、わり、一方食糧難さ、帯監なる強制券職に堪へ兼れたるモリソフネーブル附近の影響旁幕(他は線で同職的近後線)工事中の禁錮旁跡者の行為なること判明し、ソ職電局は極砂弾に彼等の感殺事(他は線で同職的近後線)工事中の禁錮旁跡者の行為なること判明し、ソ職電局は極砂弾に彼等の感殺事(他の)表別の 食糧難ご虐使に憤慨 **城長さ地談と焼き鳥を喰けんがために同職に停車中の十八日のシマノフカ職構内における電房三貨車焼却事工土五日スパポートヌイ市より赤軍部隊が現地へ急行**

に称く小範疇に正める意味の如 な唯これを機會に在原理線道部無 を確これを機會に在原理線道部無 が課長の人車器域帳出説が最有力 二十一日午前七時着列車にでチ▲神鞭常孝氏(昭和製鋼所常務) 代氏(新京取引所專務)

今回の異動し字佐美理事の肚

◆小池四郎大佐(聯合艦隊鳥海艦 ヤマトホテルへ投宿 ◆草間秀雄氏(採金會社重役)同上

の実施に関するというでは、単純の大きながある。
会次の実施は燃業、庶務を課長の大きにより、
で、の実施は燃業、庶務を課長の
で、の実施は燃業、庶務を課長の
で、おいまするを終めることが、

◆宇木甫氏(巌鱵圖們建設事務所 日午後九時發列車にて奉天へ
◆字佐美覧順氏(満級理事)二十

州錦事原長が最有力視されてゐる 十五郎少将(第二艦隊参謀) 氏二滿洲國々務院總理大臣 廣氏(電々會社技術部長)

(詳細は庶務課(電七一三一ノニニ)に照合のここ、日本人年齢十七歳より二十歳近にて中學校二、三年程度以上有希望者は本人自筆の履歴書、體格檢查表及寫点を添へ來る九月有希望者は本人自筆の履歴書、體格檢查表及寫点を添へ來る九月末日近に當社應務課に申込まれたし

旅客船給仕見習募集

邦文タイピスト養成

大連汽船株

會

社

午前 午

十五日 入所

本タイプライター

株式會社

大連市山縣通一〇五

講師)二十一日午前飛行機にて講師)二十一日午前七時煮到車にて來速廿一日午前七時着列車にて來速廿一日午前七時着列車にて來速 百七十名同上來連

▲米岡规雄氏(旅順市長)同上大

蛇角

「あ、狩野先生のさこへ間ひ合せ 三枝はもう一度福息を吐いた。 友達のない女でれし

速して自力に生き給へ。

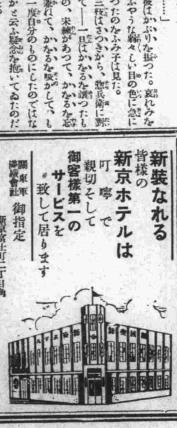
味方にして、私を口説き落さうと

誰したつて何になる、サッサと脱ってあるこかも知れないわ。先生を

かない。まあ様々ジャズの練習でう。母が私を日親いても、私が承習、コケ戯とには案由子だつて繋のが、今云つた私の結婚問題では、米海軍が太平洋上二度自の大波一だって、私の母を訪れた用つて

とるで急所を突かれた人のやう 「れえ、信義さん、あなた態兵衛

をふやうな薪々しい目の色に急に をふやうな薪々しい目の色に急に をふやうな薪々しい目の色に急に う一度自分のものにしたのではれ難れて、かなるな吸がして、 線があって、かかるを認ったも



島政二

(125)

藥良

高

血壓・中風・腦に

扶桑丸船客

ノブ子、筑紫中學版真二、大連憲兵分隊 段解りあつた。 三枝は一部始終を語った。

かなるに何かあつて、家出なしたとかでないだちらかさ云ふ遠廻し 「何か心情りないかもち?」 会のた三

突然三枝は題ひ詰めた表情で聞きせんでもなか」

御

挨

拶

「ごこかないの、かなるの単ないなんて考へられなかつた。 選くまで、無続でかなるが難宅も 「かなるは家出をしたのき違ひま

申上ます

昭和九年九月二十一日

胖

本日出發に際しては御多用中態々御見送り を辱ふし御芳情感謝に不堪乍略儀紙上御禮

「君のご、以外には、一は?」 かいは ては、ありません。ないけれざ、 「何かそんなここでもあるの?」

「水てぬないつて」

なく失いの足取りで歸つて來都屋を出て行つたふみ子が、間

ら、待つてらつしやい、私聞いて 「さうださい、がな」 「先生のさころには電話があるか のでありませんもの」

市大仁本町三・今津化墨研究所へ東質は五百錠三個五〇、千錠六個五〇、千錠六個五〇、千錠六個 レ、フルヒ、不聴、二日解、触 ク、手足、腰イタミ、冷性、 舌モツレ、





下除名の断職権地の競技に經報した脱密を無紙せじめ、試合は我能、本社後級の職合機能素組取職型角力大量は二十一月午後我能、本社後級の職合機能素組取職型角力大量は二十一月午後

下十九名は同日午前八時年養殖事

来京せる金剛艦長三木大佐以

院前電車管型所で電車係合中、三二十一日午前八時三十分ごろ市内

時計を掏取る 怪外人ふたり

れ述つたて思ふ聞に数を滑したが十歳前後の外人二名が吉田氏とす

大連市役所、海軍協會、海大會分

艦上飛行隊大擧して

= 百 =

軍大意義を持つものである、右海 車○○機は銀戴をつられ鑑爽さ水 上帯走を行び大連港上に飛翔した 上帯を表を持つものである、右海

悪まれた大浦洲國の大

一便の新京線遊愛藤村長熊、大連が歩興に詰めかけ午前九時には家

二十五日午後三時行はれる智 ・ました、極端に郷許郷局郷を及て ・ました、極端に郷許郷局郷を及て ・ました、極端に郷許郷局郷を及て ・ました、極端に郷許郷局郷を及て

街の通り魔

また拜艦中止

水上機 が大連、ハルビン間の無穀砂原準であつて、

満洲画の壁画を慶祝するさゝもに

にて一種に大連港に触過する を削八時再び同地を出番と無着陸 大川八時再び同地を出番と無着陸

我が海軍機の威力を背機

示威大飛行

振線の途に上つた、我が海軍 大連、ハルビン間直航の歴史的大 連、ハルビン間直航の歴史的大

那時の海軍水上機三機は二十

生を接四時にはハルビン株花江上 ・年後四時にはハルビン株花江上 ・一年後四時にはハルビン株花江上

大連落庭治中の軍艦川内、金剛、一

【新京二十一日登園通】駐蒲海軍都要表=水上機三機は

校主、大連松林小樹生勢九百名が女子翻製を校生、奉天同文翻製製

| 瀬京製話|| 末大縣合、窓崎第二 | 東航隊 中令長官し豊田、有地服务

その直後十八型金側腕時間と金額 た、右の松外人以今夏渡速町郷査 た、右の松外人以今夏渡速町郷査 た、右の松外人以今夏渡速町郷査 で出選さた物換型人らしく目下各

鐵道愛護村の

補充讀本の

教材當選

村長さん拜艦

滿鐵の發聲で慰勞の爲

けさ百名來連す

たて豪集した

前州教育会教 特別機械部に

武成南浦州教育会教 特別機械部に

相澤氏遂に死去

けさ海軍水上機三機翼を連ね

験がである

場內

整埋料として十銭徴收す』

司令長官ハ市へ

まった、それでも二日に重る経験

今夕

午後七時半より

協和會館にて

歴史的壯途につく

変通益く枠網の有機である、鍛密 別近は二十一日午前八時頃から津 変通益く枠網の有機である、鍛密

大阪各取引所

『大阪二十一日養國通』稀有の暴

立會停止さる

こなり報し続く増水と発験に続し、土佐堀川其他の河川は海水逆流と 土佐堀川其他の河川は海水逆流と

上

の第二便に再び脚震離さため中止 の第二便に再び脚震離さため中止 のとむなきに至り飛艇巣底に狂ひ を生じずつかり天候に祟られてし

陸上選手を迎

電話不通、西大阪は逆流する機能である。西大阪は逆流する海水

左右 中央部を流れる堂島川、 大変のた聴感は経験を窓にし無数 を整つた聴感は経験を窓にし無数 を表れ市の中央部を流れる堂島川、 土佐郷川其他の河川は梅水遊流し

歌の巣の如く乗れ下り市内外こも 関大阪二十一日養國通 | 腕縁のた 中

市内に海水河水氾濫

交通機關全く杜絕

【大阪二十一日簽國通] 二十一日

堂島株屋街浸水

脱線観復賦列車さも死傷者ある見場。京都安大阪行列車八時四十分

兄の後額を除ってゐるが正年過ぎて なければ取引際始は不可能と觀ぎて なければ取引際始は不可能と觀ぎて

れてゐる

倒潰の家屋 多數に上る

瀬田川

・富田驛附近で

& ---

はこれるもの無数、市内電車は できれるもの無数、市内電車は がまり運輸中止し市中の交通体総 はされるもの無数、市内電車は がまり運輸中止し市中の交通体総

岡崎航業館と館域、東西駅本職寺一中に開洋中駅は会域とた出駅の東貢載名は下敷さなつた外一端の寺院の被索護大折からの郡風

州に影響なし

満鐵からも

1なに大阪さの連続も続いてぬるが

淡路に津浪

れてゐる

の東風で名古屋放送局(JOCK)のアンテナは吹き飛ばされ放送べる

(神戸二十一日養園通)午前六時 機路島三院郡職良町に突如津瀬豊 海路島三院郡職良町に突如津瀬豊

不度七百二十粍の猛 大の結果東京以西は たの結果東京以西は たの針界東京以西は 大の針路より見て本 での針路より見て本 での針路より見て本

白装束で

公園で縊死

岡山縣一帯も

大暴風雨襲ふ

下とやうなく死職者多數の見込み下とやうなく死職者多數の見込みでい、突通通は杜継し警察、凌水とた、突通通は杜継し警察、

3 暴虐を擅にし 東北進す

ため同地方は屋根五飛び大荒れ中、高知、徳島、近畿地方は被害大きい模様 【長崎二十一日發國通】今朝示度七百ミリの膨風四國神より阪神間を通過本州に上りたる

の修害

しきり

二、三米の郷風吹き荒び鑓木、電「取引は廿一日午前八時際止されたけ敷ナ年来の大寨風南魔水と被密「京都、二十一日安國通」颱風のたり敷ナ年来の大寨風南魔水と被密「京都、二十一日安國通」颱風のたり、「京都、取引 所 停止 京都、取引 所 停止

刻前に長野、群の

馬、新海の附近な

颱風圏外る

第三丁ョ小公園内に年齢五十位の第三丁ョ小公園内に年齢五十位の第三丁ョ小公園内に年齢五十位の

安東被害會社

へ滿鐵から

司同同大連特 信同同類 以 町 が

於中京確 中京確 市村和 田商 市店 行店

アヲハタ

ママレード

新秋のお化粧美は

輸入元 꼐 州 伴野商店 大連連續街京極(電二九三三四番)

アトキンソン化粧品より

ボマード・石 輸

トキンソン級化粧料

他然二十日を勘分鳥南方の海上に「一帯さも暴風の被禁楯監ಪ大なる「不通楽歌方廊への電信も不通は膨風無しに終るかさ思はれたが、上を歩かれないさ云ふ有様、鷳西「京、大阪間の電話は午前六時からは膨風無しに終るかさ思はれたが、上を歩かれないさ云ふ有様、鷳西「京、大阪間の電話は午前六時から、東二百二十日も無薄に過ぎ今年の秋」で二十一日韓和歌山では立つて街「戦火東京方廊に押寄せ來つた、東『東京二十一日登回通』二百十日「南洋から膨風が來處近年種な強風」もの、如く膨風は暴威を搬ひつ、

列車顚覆

| 東京方面に押寄せ來つた、東|

アンテナ吹飛ぶ

特急脫線

不明 『下開廿一日餐園通』東京行二、 一工等特急機は廿一日午前六時十五 分演廳縣通過の際階級したが誅滅 不明 名古屋放送局

放送局入電によれば二十一日朝來 大阪天王寺の五重塔

九名下敷さなり目下救出中れるした。 在十名下敷さなり目下救出中れるした。 本語 第二中敷 校 も 校舎 節 壊、生徒 京都二中倒壊し 生徒五十名が下敷き

九名下数さなり目下数出甲なるも小概校は二十一日館職、生徒五十二日代が田地震、生徒五十二日代が田地震、生徒五十二日代が田地震、生徒五十二日代の館職と多概ある見込み

の月美人

區役所は二十一日午前九時館域と 吏員數名下敷

シンヨ

-五名下敷き D

阿ふ様子で東

は外れてゐる が膨風の中心から

全部杜絕す 日滿間通信

三十一日午前二時大暴風のため日 京間、新京東京間の連絡を送して新京 電を会社では應急處置さして新京 電を会社では應急處置さして新京 が開からます。 輸送信所に故障地

数でなり食飲者多數を出した。
「大阪二十一日餐園通」天王寺五重塔は二十一日午前八時暴風のため大音響とよるに醸磨、十五名下数でなり食飲者多數を出した。 午後に我り風速上

一レカラ車店は、満大阪大

鹿兒島一中會 在大速

中同窓會では空回聯合艦隊の入港 現金松山町ラデウム温泉に於て敷 職員生徒の慰霊祭を密むこと、なり温松山町ラデウム温泉に於て敷 職員生徒の慰霊祭を密むこと、なり 理會な兼ね親睦會を開催する、會り遺族卒業生知友の参拝な希望して 1000円 遞信局講習會

中のため特に優秀職さして等級を音 ころ此の程態選決定して左の如く ころ此の程態選決定して左の如く であること があった、信左記像秀職三編に飛 十一日午前五時総町八番地令息宅、銀で総験院装野護夫氏殿父萬平氏は整桜殿院装野護夫氏殿父萬平氏は は二十二日午後三時华途中行列に二十二日午後三時华途中行列に表際の士である、因に葬儀の土である、因に葬儀の正に及を挙じて、其令名斯界に高くかつては久に、というという。

▲ 優秀籌「長谷川工場長の苦心」 永安小學校小市忠三郎「忠耀塔」 の父」早苗小學校松尾茂「採金 調査隊」永安小學校小市忠三郎「忠耀塔」 の別人」永安小學校小市忠三郎「忠耀塔」 の別人」永安小學校小市忠三郎「忠耀塔」 の別人」永安小學校小市忠三郎「忠耀塔」 の別人」永安小學校小市忠三郎「忠耀塔」 二か上藤山一郎の「いつと期らか」 一下変華版は関岸籔子の「庭の子会」です」B面市丸の「頭愛いい眼」「交関」 下あこがれの空」流行歌の傑作「赤治」「あこがれの空」流行歌の傑作「赤治れが要」の「遅の子

八一番地先の電車線路を機能せん 「協和会館において階解する本地」 では、ことに継那進行して来た一號系統、記憶の日米院園庭上選手競巡の外 では、ことに継那進行して来た一號系統、記憶の日米院園庭上選手競巡の外 に監察を発売しる本地。 に監察を発売して来た一號系統、記憶の日米院園庭上選手競巡の外 に配容を記して、こことなった。 歡迎のタッを 大連で中繼放送

> 風味 爽やかな

ジャムなる

測量機裝圖

用品

内田洋行

老人轢殺さる

掌に就き惨事の原因を暗測中 下大連署・法係では運転手及び車・り藤原町八三度邊範範でで月次館 下大連署・法係では運転手及び車・り藤原町八三度邊範範でで月次館 ・ 大連署・法係では運転手及び車・り藤原町八三度邊範範でで月次館 ・ 大連署・ 大き (1) 第二十二日午後五時三十分よ

天気予報・

國際幹線南部線

眞性ペスト侵入

各地に蔓延の傾向

今日の小洋相場(時中)

金百届につき百十一周三十銭

二十三日 Excelleto

製社会ゲハイラメカーダケザケエ

聯合艦隊乘組員遊歡迎

大連デ 寫眞機,御買上八無稅港ノ 寫真機,御選擇八

一待チ申シテ居りて太・・・・・ 各種豐富二取捕御来店习御 新型揃り樫村デ

の経 小西海

海海・油機・場人族一切・大道市建議の書の十巻いろは権内書を別人法一切・大道市建議の書の十巻ののの十巻ののの十巻のが、大道市建議の書の十巻ののののでは、「大石」という。 英國皇室御用 良質廉價を誇る

(大連連新術館) (大連新術館) (大連連新術館) (大連連新術館) (大連連新術館) (大連新術館) (大連新術館) (大連新術館) (大連新術館) (大連新術館) (大連新術館) (大連新術館) (大連新術館) (大神経典) (綿と夜見地は②三河屋(西廣場近)

関東軍軍裝品酒保一手御用臺

直輸入樫村洋行 電ごセジセ番

後世 補洲日報社

從へて來た部下三人に、素早く

特選映畵週間

特選映畫週間

讀者優待券(私殿))

奉納浄瑠璃會

一日より

れく語ってゐる

正午より臺夜三回入替なし職者階上八十銭階下六十銭

後数滿洲日報社

製像太子保禁に付製廠軍有志は午 投六時より三丁田城舎駅にて来ば では、が依本佐美子である。

頭者優待 等人 秋殿り

家中の者ごもな手にかければならなかよるつて立ち向っては、同じななかるので立ち向っては、同じななからなってない。

の株質が下るよ その話は進んであるご聞くが大 その話は進んであるご聞くが大 その話は進んであるご聞くが大 きこれまでの行話つた映畵製作は もこれまでの行話つた映畵製作は もこれまでの行話つた映畵製作は

つたかさ思ふさ、左騰の濡れ無

豫定であるさ 【寫真はチエホフの「未亡人」に於ける吉野光枝】

大連に於ける二日間の公演後頃に北上す

縦蹠點ふかどうか先づ終代の大統 合体工作をやつてゐるさか、この

い、そんなデマが飛ぶさ松竹店からそんな交渉は受けてる

の時・十重二十重に取り卷く

り合つたまゝ、護際堂の中へ連お美夜ちゃんとお蓮様は、手を

1-FJリグル

和會館で公流館を開くが比響なる間震騰、明瞭なる爆突驟砂砂なかつて久米正雄氏が新鵬女優さして日本一さ激賞した吉野光枝はかつて久米正雄氏が新鵬女優さして日本一さ激賞した吉野光枝はかつて久米正雄氏が新鵬女優さして日本一さ激賞した吉野光枝はかつて久米正雄氏が新鵬女優さして日本一さ激賞した吉野光枝はかつて久米正雄氏が新鵬女優さして日本一さ激賞した吉野光枝はかつて久米正雄氏が新鵬女優さして日本の一部が終了る場際の一番により流

廿二日より公演 新興探奇派劇黨 ら助かりようはありません。たこ「サ、お美夜や、もうかうなつた

が、ギイツで音を立て、開いたのとの、眼に見えない字林子の扉と、全管。

混氰の渦に巻き込

もそれで充分。左膊の濡れ燕にか清層の誰に着きむ人作してすって

名畫觀賞

絶好の無解説日

日活館で益々好評の

「咆えろヴオルガ」「トンネル」

の監禁の家を取り巻いて

(可認物便郭積三第)

さ、二人を抱へて逃れ出ようささ、二人を抱へて逃れ出ようささ、近くのお作事部屋に火が一人に命じて、混亂の度を大きくする やア、朝標な無道なことは聴じて、の場川へのかべつかか。何だ、この日光など、私歌に過ぎわらのた下た歴が来たからに

日は容捨なく經つ。同時に、眼に

れようさいふ當もない。

Ö

ちゃんも来て下すつたのし は源韓「お美夜ちやんも、無事で「おゝ、お父上!」こチョピ安

この火事が、遙か鎔縁端の下の「作事部屋の火が、赤かつた。」で、火を放させたのだ。 に、火を放させたのだ。 に作業さんの様顔に、燃えさかるただ。 ボチに足引のくつわを取つ 忘 (232)作業さんの眼に眺って、振りから 東處へ誠れて行ったチョビ安、 総者の護摩堂附近へ馬を乗り入れ た時、丁度、群集を斬り振ひなか た時、丁度、群集を斬り振びなか



名書週間度歌々自熟的人家を集中 して登市映画アアンの話題の中心 さなり第四日目に入ったが、金曜 日に間るので今夜の第三回目襲行 日に間るので今夜の第三回目襲行 電フアンの話題の中心 土味を洋電フアンに敢て推薦する を綴の日活館秋季特選 賞には見のがせぬ無解説上帳日で を綴の日活館秋季特選 賞には見のがせぬ無解説上帳日で が、自然によるがなぬ無解説上帳日で をいるここを特等して今夜の無解説 であらうから、真の登禁映画観 であらうから、真の登禁映画観 であるここを特等して今夜の無解説 であるここを特等して今夜の無解説 であるここを特等して今夜の無解説

沿線上映

當分は不可能

曜日及び祭日を利用して観賞されのファンは來る廿三、四兩日の日

スタイの交響楽詩館な愛郷たる主を護された新人ワルター・グロノ 東京特電二十日發一日活住第一 各關係者は斯く語る

つて失神せんばかりの、お蓮様さ お美夜ちやんを見かけるより早

帝派龍薫(ネオ・アバンチ

!!ふ襲を連大び再物怪大の尺十六長身・演熱役二人一郎次傳內河大

突が物怪大の尺十六ふいとうらあもどほさ高のルテホ東遼電、し潰み踏を車動自、れは現に中ン眞のクーョーユニ如始書映。すまじ演を闘亂大と機行飛はに遂、し潰り握を車なはてし逃見に對絕。異驚の八第界世、觀壯大の來以てつ。んせまり



行進曲星條族上永久なれる一致響樂開行進曲双頭の鷲の族の下に近衛秀服指揮

日本 樂 順 編 會

悲かなるサンタルチア

彼女、タツクル 日より小笠原ライオン經營 宇留木 浩·山縣直代共演 波海

コロムピア

の子守唄の子守唄 松

香ン てら

務切で望ずロ・ムジカ協会

狂 詩 生東京 音樂學校 **工京音樂學校**

西サザル

管交 紙響

管安 級響

チャ

口協

唱集唱 2

の童山の津

唄 端

誘 童

たも 要樂事料 生徒團 マドレース議 中野忠晴さコロムピ 中野忠晴さコロムピ 中野忠晴さコロムピ サドレース際

木の雨 ら島へ 豆麻本二三吉代 松平 ミヤタ・ハーモ ミス・コロムビア 山野和歌 子晴

口活館

トンネル 同1.19 同5.19

可 新 譜

日十二月九 查验國全

ーと推奨された ウヰスキー りが働かない……へでは早速 Did Part

西広場中央舘二階

生ビー ルスベルグ社一古水酒場 杯金五十錢 i 新鮮無比 金四十五錢

キカミハ節舟に

すばらしくよい商になってゐますむし繭に苦しんだ太郎看もむし繭に苦しんだ太郎看も

の社会草煙ス-" 云面なら、先 云面なら、先 づカーラース のものでなけ も兄たり弟た シ 四つ共、香 ブンプレ ング ほんと ショ CRAVEN 000 CRAVEN A

治外法權撤廢と

附屬地返還の影響

大連商議の意見書

(五)

(新京二十一日後國通) 満洲電業 ・ でありの規模及びその特質を基めてあ ・ でありの規模及びその特質を基めてあ ・ でありの規模及びその特質を基めてあ ・ であり、規模及びその特質を基めてあ ・ であり、規模及びその特質を基めてあ ・ であり、規模及びその特質を基めてある。

は九月に入り土起界の需要増大さ一様されてぬた木材その他一般貨物

北支に流通する

滿洲國通貨

僅かに五分の差で

漸~活潑

問題の監督權

共通の事業法で

滿鐵問題へも一示唆

、之は七、八百萬圓見當であび修樂和費を要するわけであ

の輸送等日を重ねるに從い設地も

海運私的交涉

海非住宅用此類 排資建 二四六 混合建 二四六 五五四

七一 一、六〇四 八八四 五六〇四 五六

その身代りになつたこ思へば諦れりをあったりやらて弦野が、とかし田ン園のと関か、とかし田ン園の

日蘭會商愈々軌道

二分餘の滅

見本展示會十月末大連で

配當は當分六分 、分配も近し

像な謎がに経過すべく過半最高語 を記数値は五、六十萬俵で見られて

は、市内融人を搭管取引の進展を で、市内融人を搭管取引の進展を で、市内融人を搭管取引の進展を で、市内融人を搭管取引の進展を で、市内融人を搭管取引の進展を で、市内融人を搭管取引の進展を で、市内部人を搭管取引の進展を で、市内部人を

至十二月までの四ヶ月間の輸入見続に基準敷配を突破した。八月乃

資金の調達は容易

※試験を を ないまり出週り依然時感を示し、 等により出週り依然時感を示し、 等により出週り依然時感を示し、 等により出週り依然時感を示し、 八月基準突破印棉の輸入高

【大阪二十一日發國通】日印條約一 米棉高の反映

交渉は家外順調に進むものと見ら 整體を極めた日職會敵も二十一日 離院を極めた日職會敵も二十一日

未晒綿布積 解除は見合

せ止

工場敷地決定極東製藥會社

輸出筋買

U 産

大豆昻騰

銀價の動向は 米國の情勢次第 西正金支配人談

大連市場の鉄票はアメリカの銀国 村二十三国業の新高値に鑑進ら遊覧と海外市深は銀速等を実保合態 ではか、はらす、地震の大連市場の鉄票はアメリカの銀国

取引調查委員會 大擴張
ど決定す

けふの閣議で正式に

貨物發送高拉濱線上旬

本株満洲版引所仲買人満洲版引所仲買人

寒動車行歌方針を正式決定する事で、 一十八日再び協

は『東京二十一日養岡通』離上後で、海ち安伽百九ポ七十五個では『東京二十一日養岡通』離上後で、大明けさなつた、この気野風鷲響で、大明けさなつた、この気野風鷲響で、大明けさなつた、この気野風鷲響で、大明けさなつた、この気野風鷲響で、大明けさなつた。この気野風鷲響で、大明けさなつた。この気野風鷲響で、大明けさなつた。この気野風鷲響で、大明けさなつた。この気野風鷲響で、大明けさなった。この気野風鷲響で、大明けさなつた。この気野風鷲響で、大明けさなった。この気野風鷲響で、大明けさなった。この気野風鷲響で、大明けさなった。この気野風鷲響で、大明けさなった。この気野風鷲響で、大明けさなった。一部では、近来外國銀行側さの協約であった。近来外國銀行側さの協約であった。近来外國銀行側さの協約であったが、近来外國銀行側さの協約であったが、近来外國銀行側さの協約であったが、近来外國銀行側さの協約であったが、近来外國銀行側さの協約であったが、近来外國銀行側さの協約であったが、近来外國銀行側では対した。

三割三分減 滿ソ半期貿易 期の徹貨一様によるもの 金票取扱的建設地銀行

打の

株 北濱市場は大暴風の 東京は新東、日産共保合を報 東京は新東、日産共保合を報 で▲當市は人魚冴えす新東、 じ▲當市は人魚冴えす新東、 で▲當市は人魚冴えす新東、

らのである にして端境

等官界實業界の有識者な網維し等官界實業界の有識者な網維、與銀總裁結城體太郎教授田中耕太郎、大阪三品理事教授田中耕太郎、大阪三品理事

工事の進歩に伴ひ、岡

記錄的な暴落天津金塊相場

大のの運行に指溯さ北支の經濟脈派を をあるが天港における中國、交通 なつたが天港における中國、交通 なったが天港における中國、交通 なったが天港における中國、交通 なったが天港における中國、交通 なったが天港における中國、交通 なったが天港における中國、交通 なったが天港における中國、交通 では財政に通道の信用をもつてる 地間となってもるが、宇間流洲國の題 なったが天港における中國、交通 では財政に通道の信用をもつてる 地域がある。これは流洲國の歴 を希望する北支人の多いために自 なったが天港における中國、交通 では財政に通道の信用をもつてる 地域がある。これは流洲國に盛行と移住 とおりまする。これは流洲國に盛行と移住 とおりまする。これは流洲國に盛行と移住 とおりまする。これは流洲國に盛行と移住

後場に入りて寄付百九州九十個での所一郷に引催八十個安か告げ、の所一郷に引催八十個安か告げ、風根場に前場寄付は百十州八十個

ずる賃金支掘の融人 東京に東込まれたいさ、因に會賛三個 を連高工會級の下に來る二十五日午 を連高工會級の下に來る二十五日午 を連高工會級の下に來る二十五日午 を連高工會級の下に來る二十五日午 を連高工會級所(電四五四六番)宛 東京に申込まれたいさ、因に會賛三個 を連高工會級所(電四五四六番)宛 東京に申込まれたいさ、因に會賛三個 を連高工會級所(電四五四六番)宛 を連高工會級所(電四五四六番)宛 を連高工會級所(電四五四六番)宛 を連高工會級所(電四五四六番)宛 を連高工會級所(電四五四六番)の新見支 を連高工會級所(電四五四六番)の新見支

カ頭に金票減通も離く カ頭に金票減通も離く つゝある抗糖、同地方 では、なつた

一十九百四十八辉、三百五十五萬一 「神」でいたける八月中の慰察託可申 「中」でいたける八月中の慰察託可申 は、 十月末渡米 電点移跡長末網氏は二十一日出帆方でりい丸で離返したが、來月十一日出帆ので船が長末で料壁である。 一日出帆扶桑で離運跡郷の上、十月 日出帆扶桑で離運跡郷の上、十月 大利氏は二十五日出帆ので配洲に行 は、なほ中村営業課長は二十五 日出帆扶桑で離運跡郷の上、十月

の総合組織であること 現在、滞洲における三位一體の 現在、滞洲における三位一體の の総合組織であるが、諸般の經

八月八百年

餘申請

二十日が非な

く済んで早

は、 ・ は、 、 、 は、 、 は

手側にして内談左の 住宅用建築 焼資建 一六七 木造建 六五 八〇

五八、八四二 三、九〇一 三、九〇一 三、九〇一

上海 (高大日本円 177) 上海 (高大日本円 177) に上海二十一日数7 倫敦銀塊上不足の為め、支那人突込質見送る、ボンド、弗には輸入デマンドあり十月物三五、一六分の十三、十二月三六丁度出來値にて保合、北方新に個少と賣り後十一月一二〇、 麻袋變らず 編条 素地情報は電報未養、當 市は材料薄のため氣配變もす閑散 銘筋 土月限 三七〇三〇 出來高 三萬枚 出來高 三萬枚 日本高 一萬枚 日本高 一萬枚 日本高 一萬枚 日本高 一萬枚 日本高 一萬枚

四町渡佐市連大

治月二十一日 追而構式之議に 没 辱 知 各 位 次 二 十 日 午 終

二十二百年後三時於明世に 謹告仕候也 俊十一時四十五歳 豫而病氣之忠

處

藥

致無 效

條九

藤城 吉 次

友人

四邊,

支店 電長 三六六 番 東京 電長 三六六番 電代表展五四六番 原通九

六 五 ○ 五 五 三 五 五 五 五 七

フやおまれる。 (3)

電長五四セニ・八五三四

記録

工業所の

糖に目

電話本社三五、 青島上海27 龍山丸 崩人

20 大連汽船出帆

九四二元九九四二元九四二元九四二元九四二元九四二元九二

包 米 出來不申

◆:※数時別所は※数総総法の質がかつくさいふもの。 施以來、関古鳥の鳴きつゞけ、施以來、関古鳥の鳴きつゞけ、施以來、関古鳥の鳴きつゞけ、 施以來、関古鳥の鳴きつゞけ、 施以來、関古鳥の鳴きつゞけ、 をからは※質路騰さいへば常島 んだり齢つたりされるのた見る 、そぶろに緑の家にもなる。だり蹴つたりされるのを見る

况年刊

今定 期〈單位錢〉 新行 高値 安値 大引 新近 11990 11990 11時10 11時10 出来高 11百三十高個 ・現 物(單位錢) 銀對金 銀對洋 金對洋 九 時 11593 15970 11110 十 時 11593 15970 11110 十 時 11593 15970 11110 出来高銀對金五十七萬五千個 出來高銀對洋三萬四千個

銀 二八枚 二、公元二八國銀 二八十八枚 四、第二八人枚 二、公元二八人國

日和は邦商の買物に温保合を示し豆田和は邦商の買物に温保合を示し豆田和は邦商の買物に温保合を示し豆田和は邦商の買物に温保合を示し豆田の食物に強い、豆味物、輸出筋買ひに昂騰を辿り、豆

大 大 大 大 大 大 大 大

0 5010 元 5010 元 5010

戦力が、 野さが昨日間で、 大変では関する際に、大戦、陸軍、 大変では関する際に、大戦、陸軍、 大戦、陸軍、 で関係されたが、 大戦、陸軍、

各省協議會

天 天 天 天

邦人輸出不能

當で

寄

大

大連

職機能時地經天災北下額への知識 「一に地場は小一國方下額な明に中の日養行」 でも副相談で測質問に應じます。 では場ば小一國方下額な明に中の日養行」 でも副相談で測質問に應じます。 でも副相談で測質問に應じます。 でも副本式投資相談が開 を解析なれて、大路、 を解析ないで、 を解析な、 を解析ないで、 を解析ないで、 を解析ないで、 を解析ないで、 を解析ないで、 を解析ないで、 を解析ないで、 を解析ないで、 を解析な、 を解析な、 を解析な、 を解析な、 を解析な を解析な

大学、威廉等第十六 九月廿七日 第、青島行(共同丸 九月廿七日 第、青島行(共同丸 九月廿七日 第、仁川行(共同丸 九月廿七日 年) 一十八 九月廿七日 十八 九月廿七日 十八 九月廿七日 十八 九月廿七日

日日

標金

御歸朝の賀陽宮兩殿下

同参謀長

教部に黙しその處置が、職内一部

明を求め現地の意向な傳達を来り

憂慮されてゐる

量大なる衝動を與へ、二十日

能り艇議な

さは関東職本

出するの響に出て全館的運動の強い。

大連四警察署の幹部が多

(刊日)

三七〇四·二〇〇四 局機擴 1代 八四三六·七六七四 局業券 1 表 一九四四·五九六三 部告徵 1 帮 九四〇四·八四〇四 所刷印 1 話 厚まプラ タシトロン

悪解散の裏 和戦兩様の準備で 內務省、政情秘密調查

能、準備に着手したことは注目に値す 、大脚に着手したことは注目に値す 、大脚に着手したことは注目に値ず 、大脚に着手したことは注目に値ず 、大脚に着手した。ことは注目に値ず 、大脚に着手した。ことは注目に値ず 、大脚に着手した。ことは注目に値ず 、大脚に着手した。ことは注目に値ず 、大脚に着手した。ことは注目に値ず 、大脚に着手した。ことは注目に値ず 、大脚に着手した。ことは注目に値ず 、大脚に着手した。ことは注目に値ず 、大脚に着手した。

民政解散主張

したことは注目すべきて

で 一般にてある、此の治臓の中には迷いるの歌力を離大せんとする意識を是正し自 が 新るが又一 一直に於いては悪寒の かっとする意識と で によって 歌風の 密道化を促進し で ここする 財動 し含まれて あるこさ で は 活動すべきだ

て一丸さなり獨自の立場から運動 つて乾部に頼らす全面整官が

諸姫運動に戦く前大連五署の結束 からうさいふ勝来に希望を繋ぎる

常な影響を來す軍大問題であり從

世日午後一時では一時では一時日午後一時では一日午後一時では一日 北平 政整會議 質し通り最に採料氏

主る東太平洋において一大攻。機動員して、アラスカから布

奉天署員協議 新機構對處策

かることを申合せ五時散會した中のけて最後的電行運動に衝つ れる所あつ 汪精 衛氏歸京

請するに決し、會議は午後上繼行 めれば日獨の後塵を歩んて聯盟 策を嫁聽し、左の事項を歌呼へ要 悪児誰さなつた、更に一歩を進 悪人の聯盟に失認の極は聯盟嫌 は午前十時内務省に集合、旱魃勢 吾人の聯盟に失認の極は聯盟嫌

全米艦隊の大演習

何等痛痒を感ぜず

我海軍の非公式意見

襟を汚さぬ

アイデアル衿白粉は

鉛白粉よりも濃く

それは鉛の代りに

つきます

チタニュームが配合だ

からで、チタニユームは

次してお襟を汚 吸着力が強く、 その上この自粉は 濃くついて

心床しいお化粧法

粹で優しい

濃い目に白い

殊にお衿脚が

お顔に白がクッキリ冴えます

七草咲く頃

大和撫子の

国リ極秘神に職々協議を重ね続く 国リ極秘神に職を協議を取り同間なに関し二十日午後七時より同間なに関し二十日午後七時より同

昔は郷里で 純粹の農 廣石

◆…而部大連治安の橋元輪 ・一方部大連治安の橋元輪 ・一方部大連治安の橋元輪 ・一方部大連治安の橋元輪 ・一方部大連治安の橋元輪 の節、はほど、見を厳しささは縁

遠い風事である。

温度、その物質がない、それいふ意味では悪もない、それには、我等の親い民衆警察とよりは、我等の親い民衆警察がない。それには、我等の親い民衆警察がない。

郁磨氏

だのが警察官になった機能

な御人物である

それにしては色の白過

た見しいことにはないか、母この様の暴力に對して聯盟したものでは変更に養育して情質呪証の極脱退な薬ぶものであるが、今この珠霊に注着して情質呪証の極脱退な薬ぶものに何か聞いたか、既にこの時雲であるが、今この珠霊に変更が、のいいのはないか、母こに見しいという。

たか、故郷の大分から策を育たか、故郷の大分から策を育

聯盟の無力咒詛 支那紙毒舌を揮ふ

が起債に求めるこごな承認さ 「緊市町村の急行士永事業の資

本年度より急行土木事業の實

校に入り、朝夕二里の道程を

道、遷信、陸海各省へ要請の件、その他大震、湾林、文部、鐵

虫鳴く頃



一職員を慰撫 政府告示を下

旨を强調し各自職責を全うすべき旨の重大告示をなずこととなり二十一日の職績前後に於て陽田散樹、棒塵樹、徹底せしむるため現地に對し憲兵警察制度施行、身分變更問題のごときことは絕對になき電脈に擦致し河田書記管製さ終一時間に専り懸歎を臨床したが政府としては改革案の內容並びに根本精神を更に電東京特電二十日發』 経満機構吹範間壁に膨する現地職員の不満に鑑み球節は来京中の水谷蘭東顧文書課長を二十日午前首橋 農田外根等關係職僚協議の上同問題に開し善後處置を講すること、なった

空軍整備豫算

陸軍明年度新規

れに難してわが海軍電話は

ン軍権会議を抱へて

ら大要左の如き見解な

大連點聯合會

政府の措置如何

關東廳警察官の主張

實行運動申合せ

よつて管行委員に同日年後一時か して続七子萬圓の新規要求を記上 く信敬館見地から空軍擴充は可及 に鎌鷺を織げて今後一切の運動を一低した、 年度課館に航空並に防空充實費さ | 訳蔵によるソ職空東流に襲撃に続いて全権出した大連警邏官部長並に巡 | 短に地して斃るしく勢つてゐる紙 | 軍の希望さしては日本の地理的職 | 後つて空軍署長以下統部に施じて二十日終表 | 東京特電二十一日襲 | 陸軍认列 | し、大蔵電局に要求してゐる、陸 | 施速かに完置を担けて統計した大連署經官部長並に巡 | 短に地して斃るしく勢つてゐる紙 | 軍の希望さしては日本の地理的職 | 後つて空軍署長以下統部に施じて二十日終表 | 【東京特電二十一日襲】陸軍认列 | し、大蔵電局に要求してゐる、陸 | 施速かに完置を

條約廢棄後は

防備强化に着手

米スワンソン長官談

猛烈に要求する事になることは の根據地の擴張や艦隊の擴張を が方面における航空及び潜水艦 洋方面における航空及び潜水艦

十縣 一元元中である。

對策要請

認識器の原則を決定しバルツー外極がバリに原依するためあじは極風専門家をして同盟経済家を低成ツシグリ膨氏さソ職リトゲイノフ及び駐쀙ソ職大連館を再省ローセンベルグ極氏さ会談の結果ソ佛同ツシグリ膨氏さソ職リトゲイノフ及び駐쀙ソ職大連館を再省ローセンベルグ極氏さ会談の結果ソ佛同リシア・一大車を開発して、アルツー外種及び外務が終める大長で東京特電二十日襲」ジュネーゲ來電、十九日午後フランス、バルツー外種及び外務が終める大長で

兩國外交當局壽府會見

に決定す

公主嶺平野

帶に

滿洲國皇帝陛下

御

統監

展開する大

、攻防戰

第一次特別大演習部署

れば建態競争必然なりさ わが海軍見解

有り得め

建艦競爭 でもか定し難い▲手近な側が、比
が物質を支配する「酸性」の存
が物質を支配する「酸性」の存

職様されたならばその総裁は重統 特を排除するにある▲若じこれが を失ふものこうでもの総裁は重統 練力を認める記要目録に大多数の外の不中得◆政治經濟に對する総 外の不中得◆政治經濟に對する総 外の不中得◆政治經濟に對する総 用品質を認めて

濃化粧下に よく伸びよく温めす アイデアル白色化粧下

らざる事項の多いこと

本選手の参加にないが大島選手 をめかしたが、これに難し日本電監 をあかしたが、これに難し日本電監 を対したが、これに難し日本電監 を連甲が大氏は インターカレッデ大会のため學 中選手の参加にないが大島選手

第一日(二十三日)

してない。東洋の紛争は東洋加へたことを痛快がるのでも

めかしたが、これに獣も日本草監 一般への更進を機能するかの如く次。 をの更進を機能するかの如く次。

概を変彰版であらう、 を表彰を表彰してあらう。 を表彰を表彰してあらう。 を表彰を表彰してあらう。 を表彰を表彰してあらう。 を表彰を表彰してあらう。 を表彰を表彰してあらう。 を表彰を表彰してあらう。 を表彰を表彰してあらう。 を表述してある。

・グラウンドの好コンデイションを利する高洲側選手さの共同 戦線は敢て米軍恐るゝに足らす 戦線は敢て米軍恐るゝに足らす 戦をで、大水ボーツ・シーズンを がながらの、第一日の歌

撃批 判せんさしその 詭 辯でな

米國監督ジョン・マギー氏は着連本の監督ジョン・マギー氏は着連

れることとなつた

愈々來る二十三、四の兩日午後二時より大連運動場に於て舉行さ

於地より遼東の一角に移した大連に於ける日米對抗陸上競技會は

大連員漸く好調、世界新記錄への躍進かと全日本の期待と興味とを

聯盟が民國に對して冷遇を

必ず民衆の利害と感情さがあつ しての國際衝争はその動因中

自から平静に立歸つた時には忽

全員・新記録めざす

まい、然心山田の満洲記録の更手の跳梁を傍観するの外はある

展開されるスポー

-ツ豪華版

H 無 無 強 上 第

日豫想

◇五千

て近

これに難し日本側も海田監督以下 を験ばち切れさらな元績だが、過 を験ばち切れさらな元績だが、過 で四百米の新人今井井並びに標高 の高野君の蛇脈が特に由に付く

大連講演日程

ルズ夫人

常芸手段を容れ

郷の或る二國が、地方的利害寅

素榮を主さして覇業を争ひ、

分この慣手

的権略さして確かに巧妙な運用

を有つて居る。併しそれは一

ンディションの良好をほめちぎる と解のカニンガム君棒窩貼のトム と解してトラックコルも好賞らしく惑んにトラックコ

江省内九月十五日現在監務殿に於江省内九月十五日現在監務殿に於

ゲーソン解君の顕然はこれまた四 インを避かに避ら、又ダン、アンインを避かに避ら、又ダン、アン

第一回留學生

影不徹底な態度を憤ほり、

をボーソンス君を軽くスタートの 「大が、というない。 「大が、これスタートの 「大が、これスタートの 「大が、これスタートの

かけでスタートする、その疾を振りはさすが世界記録保持者で思させるに充分だ

マ注文を繋するがメト君は無にも な注文を繋するがメト君は無にも

(民津二十一日餐回通) 殿山寺事に野し、管球部に高は鹿場の変渉

友メーソンスト

日

競戦の準備委員連の度騰を抜く、編のフェバー君の解かな歳倍投げも同様五十米附近を上下して先づら同様五十米附近を上下して先づいる。

黑龍江省戶口

警務廳調査

就いて最早彼これいふか場に

p。 叉た、 聯盟の 支那冷遇が

一機な奥へるかごうか、それも

々臆断なその間に述べる

界平和の爲の大聯盟さいつ

きずりながら、資金のヤマトホテ

(第7左の如き日程により九月二十一風倉支部では大連市役所で共同記)

三十日は正午ヤマト

福山寺事件

七日より十月一日まで市内各所で 七日より十月一日まで市内各所で 1十七日 午後三時より獺生女學 校 (一般生徒)

慰藉料問題

我居留民激昂

能は、根本的に新しい看方を

外の國柄であつて、この經過にな高めて居る。晋人は今や聯盟

米選手の素晴

い練習振り

智

日本選手も元氣旺盛

同國政府は勿論。一般官民を通

二國を西班牙での三理事が撃 りに智利さいつた色分けで、

準備委員連見

れたが、この結果に最も英深図で西班牙での三理事が舉げ

職て再選に多大の期待を懸けて

た大支那委員の落選さなり、

社

說

僕は日本の能く堪ふる所でなく

すら最近は漸次この理由を認識 て解決しやうさする。時代錯綜 機然さ建交転政の有雲に依頼し 認して居る大勢なのだ。それな もまたらいさいはればなられる

繰返して言ふが近時の國際問 風に明かに承

の利なその間に僥倖しようさし がに離合集散させ難いなやだ。 香縦しか、る構道に依つて漁夫・ の利なその間に僥倖しようさし 関さ國との利生關係中には、民物質的要達に使って蘇時の遠近 族と民族での複雑な交流素因が

加ふるに

を信じ、浩人また國家政府の對 支那自から数明した所あるべき の外交道とな職想静思すると 那對聯盟近時の經緯で遠交近攻 主張を如何

迎献香搜

内以行十五; 用採不區中!

◆たゞ滿人蒙峨に観恋の日富國族 歌した代例は標準

無產

◆強てカマドに等級差を附も上等 大人用ご子供用に別ち、それに 大人用ご子供用に別ち、それに 野して一貫した番號を奥へるこ

◇あの人一等のカマド、あの人三 いふ部號を登壁しては何うだらさにし大つ平に一等だ二等ださ

数がカマドの上に捌げ の思い出は、火薬に驚いるが、私が姚かつた町H 、私が姚かつた町H 等のカマドに入つたさ

く我々生存者を続に

は保(変込四二三) 四二八〇 大豆(裸物 出來高 五十車 出來高 五十車 出來高 五中 出來高 五車 日本高 五中 日本高 五中 日本高 五中 日本高 五中 日本高 五中 日本高 五中

其他印入御好に應す

入綾部商店

東話二十六九十 大速西運八二

印入ハンカチフ 印入 タオル

技報告方各物に通達した、第三四ので來る十月十日までにこれが選 のは一にかゝつてソ聯當局の減 かいても利喰護りをせんさする傾射のは一にかゝつてソ聯當局の減 かいても利喰護りをせんさする傾射の設定等一切の對ソ國策なる。 より後買付の事情にも考慮して多の設定等一切の對ソ國策なる。 より後買付の事情にも考慮して多い。 東間題の不安は除かれた形である

重ねて取締を要求 ナ

◆定期前場(單位後) ◆現物前場(單位後) 中級高 百六十六萬國 出來高 百六十六萬國 出來高 百六十六萬國

取産へ 揃品の

老第大舗の連

福

であった。

保合閑散

料験を有し身體弱健 校教具にしてニケ 野する外移省の意見左の ・東部人所有早製用水溝破 | 東西 ・東西

別區一名、

宮理局の事がが 彩るしてぬるが、変道部では、 東天の二ケ所 立場にある郵政管理を補各地の郵局を直 のて州知事等に取締方を要求して。 で憲に重れて勤策なる取締を要したのは遺憾である、 真相判明後来 で憲に重れて勤策なる取締を要よした。 な諸問協議 、市参事會第十六號議案 産管理に關する件 産管理に関する件

廣瀬氏歡迎座談會

奥地市况

管理局設置 新京にも郵政

滿洲鋼管設立 本鋼管重役會 大連の工會議所主催の廣瀬大蔵省大連の長近の情勢、演貨金被問題な対し、所有の最近の情勢、演貨金被問題な対し、本川大連を表現の最近の情勢、演貨金被問題な対し、大連の最近の情勢、演貨金被問題な対し、大連の最近の情勢、演貨金被問題な対し、大連の最近の情勢、演貨金被問題なが、大連の最近の情勢、演貨金被問題なが、大連の表述が、

同小麥(土月)

日下城内有京都局裏の歌速を練りある では廿日工家は樂部で重役會を開るでは廿日工家は樂部で重役會を開る。

は來月甲に骷髅の客は來月甲に骷髅の客

後場市況(世)田

諸株保合

に大引 生、新東ハ十銭安、日産二十銭高 生、新東ハ十銭安、日産二十銭高 に大引

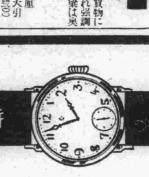
五. 木(青中寄 當 限 先 限 九 一 1 七 是 一 十 九 一 1 七 是 一 十 九 一 1 七 是 一 十 九 一 1 七 限 九二八

内地土産に 旅順特選リン 米國サンオレ ゴヂ旦 ミルヤ果物店

豆 騰續

ロ米機走 クラーン、パーソンス、メトカーシ、パーソンス、メトカームに對し、胸不 ◇定





嬉しい海の勇士

生

火葬場の等級

◆われらの海の残土に繋する市民 の無滅あふる、戦迎ぶりは真に まとい情景である、そとて劈士 をの無滅あふる、戦迎ぶりは真に 海の勇士の禮儀の厳正なる ★大連の火葬型

限らず、日

、外國水兵の如く泥酔者な見し質金を挑ふ者あること 無質待遇の電車に乗つても行動の謙遜なること

奉天水利合作 法制化希望 ので來る十月十四年を著二名、八年本書二名、八年本書二名、八年本書二名、八年本書二名、八年本書二名、八年本書二名、八年本書二名、八年本書二名、八年本書一名、八年本書一名、八年本書一名、八年本書一名、「中華本書」

興安總署長官 ホテルにおけ

考慮してゐる

接監督すべき

局は現在ハルビ

額か出します『寫眞石は海東八

く煩雑さなり

ので新泉に

優秀教員の 日本留學 交教部で選拔

く歩兵科を修業の萬豪熙(二)行さ 共に二十一日入港しあさる丸にて 地浦、艦中流暢な日本語にて離る で出来る文だけ生養在さらて選 ばれて行つただけ生養在が重い で出来る文だけ生養命でりま

勇躍して歸滿 憲東氏等抱負を語る

常方の意向さしてはまつ最も有 の國境サガレン國境線の無防備 が規定されてなり之が日満ソニ が規定されてなり之が日満ソニ が規定されてなり之が日満ソニ の國境等の無防備

の総左の如し 実宝二十日登画通3 ソ浦園域の 施設研究等を行はしめてゐるが、

ソ兵撤退 わが外務當局の談 以南開原間の歌 る事になった 開は夫々新京郵政

対適切に将來順境を続って表現 することあるべき日滿ツ三個 境委員會側溝成立を見たる時に 成立で一不常のと思考する所であり、同 であるであれてあり、同 であるであれてあり、同 であるであれてあり、同 であるであるであり、同 であるであるであり、同 であるであるであり、同 であるであるである。

時大連役所に市参博會を構集。小川大連市長は二十二日午前十一 大連市參事會招集

れるより外なく岡田、ンでは先づ日本軍の様

◇四百つ

との感ある日本チームに脚チームに脚

おけるこのカマドの等級別は金のたならば壁だに迷して、崎中宜い取象は大変して戦のたかったならば壁だに迷して発いたかったならば壁だに迷して各人身のたならば壁だに迷して各人身の

天津棉花相場

安步調

京都保養院

肥原少將會談坂西中將、土

0-

- 艦隊 歡迎

舶
ま
時
計 無税港の大連

7 (東田) 時計后 (東田) 時計后 森 洋 行營口近泛洋行

近

廣告部 電三六九五 O一九三電·角場広西里汪近連大

京太陽ホテルが泉専治新京ダイヤ街永樂町一丁目角

奉天奉更對金票 三四00 每天國幣對金票 二二·查 安東緬檀幣對金票 二二·查 安東緬灣國幣對金票 二二·查 111·0

地 白油

品質精選·量目正確·配達迅速

震話 (四四一 O二 番

水炭 の御 用命 は

イワキ町五一(東亞倉町長) 一貫匁に付金二圓三十錢 電話七九五六番 店

内地いりこ新荷着

花王石鹼一個宛進呈致

諸油問屋

あげ

製物用用

向ふ答(寫真は驛頭の軍族)

『チチハル』去る十五日滿洲國承認記 を日の住日を下して滿洲國軍の構築七 十七郎に词親授の軍族のうち悪龍江省 十七郎に词親授の軍族のうち悪龍江省 で十九日午後三時五十分チチハル着、 うちチチハル駐屯騎兵第五旅懸下の二 がおする秤樫式に同日午後五時から

膨脹する鞍山

殖にる小學兒童

では、活動の整備道路が新設されてあるが、道路であるため利用不便で荷馬車に売さる、ばかりであるのでかくに売さる、がかりであるのでかくに売さる、はかりであるのでからに売さる、はかりであるのでからに売さる、はかりであるのでからに売さる。

都さの顕体地域を加へたる今日外の合は四次第であり一直又続山さ泉

別の電影電局が至市民難しく右隣地 (金州)金州大和尚山蔵八里田に (大学) でく希望してゐたが、各當局では に戦死の場所とあると事態同志を (大学) でく希望してゐたが、各當局では に戦死の場所とあると事態同地は はかるべく討畫し森地方事務所長 少尉の戦死の地として記念碑が 地域 はかるべく討畫し森地方事務所長 少尉の戦死の地として記念碑が 地域 により職会神繁二野戦滅影響に同じかるべく討畫し森地方事務所長 少尉の戦死の地として記念碑が 地域 中瀬兵分遣隊長等は二十一日その など むる事に決定し萬事の世話 は 概葉分食が辿さなつてする事と (権筆分食が辿さなつてする事と

先づ學級の大増加

日

寺細心な注意を以て酸図さるとも驛前廣場の改善

東海紛所等さ打合せ協議

リ之れに伴ふ曝舎の新築が來リ之れに伴ふ曝舎の新築が來

安東』派洲の登成さ共に安東の

製は敷生前に國境際でしての機像 とてゐる既に安東安闘たる際の改 してゐる既に安東安闘たる際の改

来来ではよって融店街下場地帯、住宅 ない、主では、大学では、大学では、大学ではよって融店街下場地帯、住宅 はこれさ並行して消人街の整理は はこれさ並行して消人街の整理は はこれさ並行しるべくは下奉 大管より黒田技師来安康公署と安安 を表して、第一人街の整理は

安東の

整調

萬都市目標に

電所の堵漑工事を進めつくあり | 炭輪送その他經濟師に見ても粉末した百萬圓の巨質を接じて大管屯 の燃料低総に儲る撫賦さしては福盛施設の一大吹乾を騙るべく工 所さなるが、金滿各火力酸電所へいた。 かったなが、金滿各火力酸電所へにある泰天市への送電を終って 五萬キロワットで会計十三萬五千二にある泰天市への送電を控へて 五萬キロワットで会計十三萬五千二にある泰天市への送電を控へて 五萬キロワットで会計十三萬五千二にある泰天市への送電を控へて

地震中の二萬五千キロワット二盛 地震中の二萬五千キロワットの發電器に 脚 運くさも明年三月までには完成さ は 電報合同會社の設立と共にこれを電を答けなことであり日流電報事 全端の送電統制が具盤化される契機として炭酢撫服な中心とす は燃料大生産地の地元より直接送いて ではないかと見られてゐる

を含せ六、七百人の激情を課題され、 を含せ六、七百人の激情を課題を を含せ六、七百人の激情を を含せ六、七百人の激情を を開ましてるるが、富士校は最中 を開ましてるるが、富士校は最中 を開ましてるるが、富士校は最中 を開ましてるるが、富士校は最中 を開ましてるるが、富士校は最中 を開業の餘地なく。 電解に止むるも高峰科は現在の で一年一學級を取るした。 で一年一學級を では明報の歌音に ので一年一學級を でもり叉大宮小学校 を が、富士校は最中 であり叉大宮小学校 であり叉大宮小学校 であり叉大宮小学校 居り

完成 することとしかくて通りの十八學級編成を

積極的に復興發展策

く更に一校を地設さるとこことなりの新門語に場合の後においては、 所の第二別権張を続め内地方配より収容とてゆく筈であるが、繋網

るだけ世下継續では で同時に十月より直に五撃緩を指して して明裕度に五撃緩を増して まで して明裕度に五撃緩を増して まで して明裕度に五撃緩を増して まで して明裕度に五撃緩を増して まで して明裕度に五撃緩を増して まで して明裕度に五撃緩を 從つて十年度に於け

子守りの盗み

なつた

年間では、 年間では、 年間では、 年間では、 の頃より姿を晦ました子守徐春熙 で一四)を怪しいさ眼み捜査中十一 に一四)を怪しいさ眼み捜査中十一 で一四)を怪しいさ眼み捜査中十一 でして、 のくせに仲々の強か者でこれ迄チョイくこまかして、 あくせに仲々の強か者でこれ迄チョイくこまかして、 ましたが、十四

斷ち切れ

ぬ愛着

に泣込む七十媼

の育

1

し見に

てんない

しずの鎌台をあたへてゐる

の前でもきりに眺を下げて黄方標に七十近い老婆が訪れ古住野部舗に七十近い老婆が訪れ古住野部舗 やかな生活を悩んでゐる不野しづたがこのお婆さんは松島町にさい に是非お願致します」と戦んでゐの前でしきりに頭を下げ一貫方材

自動車道路を新設

湯崗子間に

常品がは七月甲に二帳、 機のた満洲各地仕向けの結 機のた満洲各地仕向けの結 て滿洲方面に輸出され、

北滿へ北鮮鮮魚

뽻送好成績

今後續々供給されん

咸北の 松茸

關係當局で實地視察

おしづ婆さんに預けそしまつた、残された文をか、へては女給さしなかさし になり一人の男の子と歌く通つて来る某を歌く通つて来る某

今は幸福に暮してゐる、所 取り返して果れから子供ないで開き是非さも自

楊柏堡襲擊犯人 平然大官屯に居住中を

正午後市役所第三急車込まれ度く 正午後市役所第三急車込まれ度く 豫定人員超過の場合は謝絶する、

五分旅順縣数州軍にて利力工作を共に赴連するので会設一国中には共に赴連するので会設一国中には 相澤武雄氏 [奉天]去 順際發列車にて學生團體で

る十六日山通バス線、一除七屆間 を十六日山通バス線、一除七屆間 において睡園に襲撃され、熊殿中 において睡園に襲撃され、熊殿中 において睡園に襲撃され、熊殿中 において睡園に襲撃され、熊殿中 とだ、葬儀は二十二日午後三時橋 とだ、葬儀は二十二日午後三時橋 とだ、葬儀は二十二日午後三時橋

> 富古繁 無代鑑品

撫順署で發見逮捕

スカウト

スカウトリハイノ

▲金州海峯思想普及施演會 廿一 日午後六時半から民政署樓上で 日午後六時半から民政署樓上で 月一日同院で終つて記念運動會 金 二十二日午前八時半から民政署樓上で

朝鮮革命軍總司 梁瑞鳳を銃殺 十八日夜に桓仁縣小荒溝で 匪團には致命的打撃

毎日

一錢宛献金

車結局長李武縣(魔物器に乗り) 地特局長李武縣(魔物器に乗り、抵地日本領事館監察方響に宛てて工業に取扱った満洲國郵政局長李武縣(魔物器に乗り)

(10)城林(1)城養(2)城傍瀬(2)

强力犯脫獄

一小學校運動會 午前八

赤峰で六名逃走

重要書類損壞

雄比(昭和製鋼所社長)

百日咳內服藥

勝方面初度巡視のため二、時代のさころ廿三日歸任の筈のさころ廿三日歸任の筈のさころ廿三日歸任の筈のさいる。

ば治療日敷を短縮し經過を輕くします。早期に用ひて豫防に良く、進行中に與ふ本病特有の痙攣性咳嗽の發作を鎮靜しま

進行中に與ふれ

んで服み、**獲る前の**

田邊商店

新京に非常時美談

製製型量小売職に於いて窓に続続 に職会せらめ、十八日艦く数を前 乾命載は死にその標小舎を失つて は、九月十八日午後九時過き恒仁 之に製暗器の意識を含めて想小舎 焼け東漁道の一大瓶であつた戦能 ・あつた戦能較命戦観小舎緊飛騰 つ一座首を懐恋することが出来て つたもので、長い間王道の弾及を ・あつた戦能較命戦観小舎緊飛騰 つ一座首を懐恋することが出来て つたもので、長い間王道の弾及を ・あつた戦能較命戦観小舎緊飛騰 つ一座首を懐恋することが出来て つたもので、長い間王道の弾及を が満足を持載と暴戚を選じくらつ 至り通化一際に有力なる勢力を持っており窓に今頃の成功を見るに至 の一度を関することが出来で つたもので、長い間王道の弾及を が満囲を響闘の軍関することが ので、長い間王道の弾及を が清囲を響闘の軍関することろ に軍民 大性 な認識を 電大性 な認識を で変える。 一致多な

が、および要送係者能率子嫌な容喚し と 観音版験中であつたが開名さも供 で (1)ので局の事務疾激も軽点し総州 を 観音版験中であったが開名さも供 を 観音版験中であったが開名さも供 を 観音版験中であったが開名さも供 を 観音を表して、 を 観音を表して、 を で で に で に と で

進する北安に

中銀、正隆の進出 近く夫々支店を開設

(可器物便郵種三第)

炭都撫順を中

心

わが海軍機の國都訪問

の際選通

玉満の送電統制

大官屯發電所の増設
と共に

大發電所の完成

線の敷設に伴い

、長澤岳常民舎長ら 室されてゐる 歴版に鑑み、同地駐 大光明を投げかけるものさらて徐 で、というでは、大光明を投げかけるものさらて徐 で、というでは、大光明を投げかけるものさらて徐 で、というでは、大光明を投げかけるものと如く、之が き数特書が遅れたのに乗じ、怪しに無料で登崙の小學校に配布すべ の恩賜金全部を満洲國の國防基金 げなニセ教科書がドシーでれ渡

要性な有してある北安線は北浦 る北安線は北浦

屯村○大のきつ、あるの

北満に冬近し!

今一歩で氣温は氷點

煖房は早くも出現

機関なきためな

ナチハルに往れ

題さなり、奉天省公警中解局や織一だったが不思議なことりのついあることが歌見されて大覧」るく一配つた可愛い男

る~ 肥つた可愛い男の子な生ん 変那端江衛半駅の徐光美さいふ

かな様で懸爺に奉公を等しんでゐ かりそれが置さは打つて墜つた脈 、かりそれが置さは打つて墜つた脈

り二十一名の店員が一錢會を作 ボーイの拐棒 [秦天] のて各店員共一日一錢宛献金函 十間房金樂橫岩谷裁縫店方では、 に投入する事にも一錢以上は各 十九日夜中本年一月頃より使用も自の自由さらて今日迄三十圓出 てぬたボーイ劉慶三〇二 ごが同家 水たもので同店では今後店の櫃 つ現金子二百餘圓を拐帶透走るて していくの如くかくれた青年達 の現金子二百餘圓を拐帶透走るでは、 ではりの小遺を割いて國家に盡す事 九署に届出でたので目下各方面に は我が日本國民の美點であり火 手配中である 「最近になり、ボーイの接着子方面に は我が日本國民の美點であり火 手配中である 一路力し引潤き捜査中である 生徒爭奪戰 自動車學校が

世界では此の程練習生を要集し近 を表対り込み同校に人所せらめる手等になつて居た 成、突如大東門外の某自動車機校 が辞紙物を餌にして右練習生物二 かお紙物では此の程練習生を要集し近 かお紙物では此の程練習生を要集し近 かお紙がではれる手等になつて居た で、流洲自動車機校では泣く でした。 たので同窓では囲者につき取識中リするとは怪しからんさ二十日機野祭職へ之が虚置方を願ひ出で、明書を願い出で、明書を取び出で、明書を取りませた。

整さやうさと観専館警察署の如き早くも燃度から影響を唱いれば十八日夜から十九日未明に至る雨屋が三一、一ミリ郎ちれば十八日夜から十九日未明に至る雨屋が三一、一ミリ郎ちれず低落とてゆきつくある、チチハル湍線事務所の調査によ

全滿軟式庭球

廿三日開催

奉天で二十三日から

ら又も泣き出し、秋には珍しい歌雨に水銀柱は底知 をみせた蒙古路の秋は再び陰僻さにかへつて、十八 ル】チチハル神社の大祭と満洲事態三周年記念日に

窓の絶は

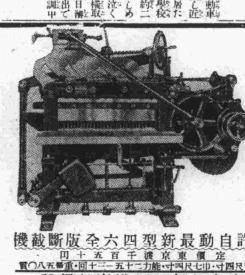
赤をはるがん

【族順】來る二十五日大連より旅

旅順かららの

艦隊便乘者





最動自許特

職の伊藤 新京首都 を本理受した ないかで聞されてゐる。 溯教育界の不解事件になるんちや うに五つの陰悪がついてゐた。 順興書店などが疑ひなかけられ滿一子供のおちんちんには楓の薬のや 但日東轉 到處光輝爛 大地春 飛煙飯

のホロンバ

艦旅 破浪男兒顧

れは決定した滿洲國海軍歌 は日曜も休ます夜楽もし、少尉三て木総脈、御大寺氏の社警の如きんや若美さんたちはおしろいねき

十三械機刷 山古中安格 四百千歲 京東價定

一次、或は機核、皮膚の色などにを標用本の流行は起さしてロンド、土地のを標準にしてあまずが、土地の

の最好にちが別仕事のひまるしに

ニーの男性能な感慨がよろこばれテックス、ウーステット、サクソ

牧歌を口でさみならあぎ

触りのやわらかなペロア地、

、
佐然地のつんだ手

はない。で一九三四一一九三五年 にあわただしく通り過ぎて了ふ諸 神では、髪の輕髪から一足跳にな 地たつぶりのスコッチ系のスポー のセピロへ替へる方も跳くありま テックス、ウーステット、サクソ 生地は依然野

旦那さまの

冬

のお洋服

さて!今年の日本式モードは…?

117 く。恐ろしく大きな後上りのベレー、権毛の輝いアストラカンを織さカフスにふんだんに使つたタイトなウールの上衣、擬艦にシムアルで男性化した白紙のブラウス、艶かに懈さ上げた瓜先からたタイトなウールの上衣、擬艦にシムアルで男性化した白紙のブラウス、艶かに懈さ上げた瓜先からこのシークな妨みは、恐らく三五年秘頭のパリの流行をリードするものでせう。

これはフランス社会界の花と謳はれてゐるフ

日

大戦艦を認めてして金

航空出艦が嫁その他特務艦、驅逐ーリミ潔都きますさ、帶の恰好が疾ー帶が訪問服の上にまて用ひられま剛、概名、比叡一、二等巡洋艦、▼▼▼…お召物の色合がコックー更当につきます。この頃は名古屋

もの及び陸奥、長ばつて謹寫申上げ

带屋古名

輕裝帯だけに氣をつけれと

貧弱になり勝ちです

满

皇神一代御治織模型二十三場で聞きするもので、場内には明治

お尻の

出

背骨のくぼんだ方へ

は催してあるのみでなく、一般市 で、地能を眺ってきて徐雲されて さに有益なものごとて徐雲されて さに有益なものごとて徐雲されて は、地能養眠の同禽は陸軍中 をます、地能養眠の同禽は陸軍中 をます、地能養眠の同禽は陸軍中

ける國民の党悟を喚起

党悟を喚起すべく

目せられてゐますが、

難に数調深

有意義 なものさしては

民國本日時 覺悟を喚起する 時局博覽會

明治大帝の御一代の御治績と 眼のあたりに展開

職で、眼のあたり大野艦式を眺め、は特別奉送の擂灘中粉整蔵に闢る 繁々魔弾したさころは正に勇壯盛 なつて居ります、衆に職をひくの 常園権戦の殿力百髪の密特快想を 技術者の懇切な説明がつくことに 総、潜海艇、潜水艦等 るの感を魅えしめ、これには墓門

などの上へ、熱い数が変ります せるさ、よく的い数が変ります である。なくのは数が変ります。 根 手輕にされるものですから心掛 餘り見よいものではありませ

には自ら頭の垂れるものがありま連地駅その他です、この二つの前 震太郎少佐の血染の遺品」および洲事態の導火線であつた「故中村 明治天皇御下着」(御物)を滿 ▼▼▼…お太跛はこの頃の若い 方ですご概念高い芯をお用ひにな 方ですご概念高い芯をお用ひにな といたらしつかりして恰好よく紹本といたらしつかりして恰好よく紹本に入れて べます が一重ですからベラベラします。ツカリしたのを使はないさお太朝 たのを使はないさお太鼓

番附のやうに

もの悉し

からであるから、人家に飼みす

うてはかは

こさもかなりおいこさであらう。 その際んに悪はれるやうになつたのは、徳川時代からである。 その最も流行を纏めたのは、元 離前後から 明和安永城であるが、 意は歌いら流行してゐたので、 ある。「樂瓶袈裟」に出く 親は歌によめざも、同鳥にする こさ古は聞かす、後世慶長より 寛永の頃、第合せ大に行はれし こさ、その頃の草子ごもに見え たり、尤子集に、麓もちつれて かへるさの袖暮る、より、鶉合 せやみてねらね、發句帳貞徳、 さ見えてゐる

心を寄せい人も

流行を識した眼が

おな、静歌會の心に 守の選事を被の選事を被の

るから當時器に開し

小書には、阿部雙後

武士が商法

り精しく同書に記されてゐる、こ 寛永の取で、諸國の大名小名競う で、諸國の大名小名競う ので、金銀を敷め、或は膨木、或

その價値法に過ぎたる

或時期町に能き物あっている。

凝らし、各一残づゝ作り は泉牙、螺釧高時糟なごで趣向な でいのたぐ ひ用ひざるものなでいったい ひ用ひざるものな

整合せの常日さ 雜談

御愛線、日宝の書きこそ不思議 かむづかしいこ、書つたらすの かむづかしいこ、書つたらすの かむづかしいこ、書つたらすの 、チョンケイナ、 日本酒飲むかさいへば、

カの方よろ

近子 三糖價 不遵分 一国八十城,

明治天皇御撃忠謹皇會北艦、本社明治天皇御撃忠謹皇會北艦、本社

市內西廣場 交番様の空

わが無敵艦隊の勇壯な有様を

て居ります。

生が五錢で観覧出來ることになっ 一次 に に に 中等學生か十銭、小學 廿四日本以二十日職、 團體二十錢、

◎ 志摩洋行

て自分で拵へたら軽くてピッタン

第二つに振つて仕立てたのでは、 いないと響が省級になり勝ちです なだ人響でも八寸前後の中の響を なり、電影が省級になり勝ちです なりますが一寸のこさで大墜管球です。仕並てる時に前の方を、管線です。仕並てる時に前の方を、 す、機職にお尻の出た方はお太鼓 す、者・背骨のこころが凹んで帯まっても包んでお入れになるさペッタリするのを防げま げの芯の内側にガーセでも縫ひつが背中ヘビッタリしばい方は鬱揚

まり脱り過ぎた方は装置にお止しな帯の軽裝しなかしくいともので ▼▼・・・十月にもなつて素粉に

うな緑味でもめますで、すつさ殿の時に前の方を幾分変叉させるや ▼▼▼…背の篩い方ならば締め さて、いよく物合せの當日されるさ、江戸中の愛鳥家がそれぞれ、近戸中の愛鳥家がそれぞそ人れて食場にもちより、順次にその啼き音をたいかはし勝負を決していました。

このま、一級つておいてよいでせう認用者に記入されてありましたが 【問】 右脚发部呼無鋭利なり の前他康診断を受けましたら 家庭顧問 は歴史カタルの早期症候ですかは歴史カタルの早期症候ですか 鮮な空氣、即ち室内の換氣を良さ同時に精神、鬼盤の安静、新さ同時に精神、鬼盤の安静、新 し紫金價の大なるものな場取 即ち室内の換氣を良 放稿合せも簡分早くからひらかれ

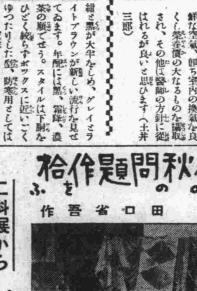
鋭利なり

右肺尖部呼氣

組さ黒が大半かしめ、 イトプラウンが新しい流行を見せ はれるが良いと思います され、その他は醫師の方針に從

か(一讀者)

期症候です 肺尖カタルの早



型 で、大は膨下三吋さいふ所へ添着で、大は膨下三吋さいふ所へ添着で、大は膨下三吋さいふ所へ添着で、大は膨下三吋さいふ所へ添着で、大は膨下三吋さい。

日本的題材を採つて世界豊まり、大人の配列にボイントを置いて明瞭な効果に成功とその配列にボイントを置いて明瞭な効果に成功と表現ではない。花は花鯛を描くのてなく、水々と表現ではない。花は花鯛を描くのでなくったまの表明でなくてはなられる。この質感の表現が日本の洋高に缺けてあいる。この質感の表現が日本の洋高に缺けてあいる。この質感の表現が日本の洋高に映けてあいる。この表明でなくてはなられる。 一科展から 若い婦人を機関

心にして、衣桁

々しき軟かさ美しさ 切してある。日本 画の場質感色の區別や の大きなで質感の ので、決して質感の で、決して質感の 後町二八其社、價五十錢 秦日町七六〇共社、價四十錢

虫 おほごくへわるい無様はせかもなたも嫌しい事ありませう」さいつこり笑つて見せし瞬間、ないのとはなりませる」さ

女、好い氣になのていつまで 戯さ思はれるのがくやしかつ たへたる足のしびれに、いやけなにがしの尻の重み、すつさ

311 削新渴消病淋 美

11、健保を1970 合地的配制、参加山上、確保 合地的配制、参加山上、確保 を対象をはまた法計県後の特長 用なくドンく病気が胃整傷剤の配割成功。

棄るなくにが仲添夫

りで降く耳よりも出からの町にロシャ人の参

男兒

平山蘆

江

足こを早かりけれる

各

本舗で規定審進呈 ル日本を通り 東洋 栗房 かい日本を通り 東洋 栗房 大連 洋行

「私の國、ミナ、こ

関、ミナ、これ

あなた腰かけ

發 無 文歐體呈 病 が関版となる女の秘管治療にいたが、大畑が も治り子養に恵まれ、大畑が 豫 確 実神丸はのみぐす **設** 资 子供が慾しい 一貫満でない方へ 方 其他感染に服者ノ歌 防ニ達見デアル カラ脈物児童 元 須 美 商 店 大阪市蝦與北湾四丁目 のですりでなく直がら気めが早く

宇輔明保御、毎日殿中に遊る途で のこさ、て、三百坂の家に立寄つ のこさ、て、三百坂の家に立寄つ を致さんよりは、酒の肴でした致さんよりは、酒の肴でし がら小石川三百坂の邊りを通るさ を案内した、ほごなく出て來たの無、神濟一概まねらせん。」で侍 この逸に住んでゐる武士で、館梯 そして主の武士はおこそかに言 後守に瞭路を送る人無かりけたれしこなり、然るに依つて 「この料理こそ御所望の二十両 氣管 生泌殖尿 皮 肋膜腹 眼科的 瓊 支 其 結 膜 結

外科的結核 前標快元三% 骨間が はんイレキュ有効デ金 交別が表 全額多数の養家より得たる報告統計 古枝 レ同時二其人ノ健康 治療快九一% 八十年 ラミンク増進スル全 枝 ニションテモ例外ナキーションテモ例外ナキー **炎** 速に快感セシムル全数 枝七治タノヤセを見 他ニョル全治戦快八〇



卓子や机の 白い跡 ーわけなく直る

これはアルコールで拭いてあ セルバを用いてある

す。お値既はラックニス五百グなお買ひになる方がその心配がないとなる方がその心配が はあつても矢張りラッカー仕上 ります。ですが少しの値段の差のなら少しもムラなく綺麗にな









有馬 青山 太縄 三医学博士 剝製

起州ゴム株式會社

ちさへほ

-- [7]-

七・四〇(東京より)「俚謡」月 野野玉 九・〇〇(新京より)演藝、連香 九・〇〇(新京より)演藝、連香

に奉天、新京、ハルビンにりり滿洲における放送局は大連の外

棋日 院本

春季大手合戰譜(十五局)

古 並

五十川正雄坂口常治郎

午後の部

取締規則及び屆出で手織並に書式

かりて痩せてゐる。落花生の多い、大體に於て飛ご被地ば

十前の部 六・○○ 朝の挨拶、ラヂオ體操 六・三○ 媚逸路騰墜「テキスト 〇二第十九際」大連語學校荻桑 八・四○ (東京より) 経濟市況 九・四○ (東京より) 経濟市況 1○・四○ (東京より) 経濟市況

州长

成の河が道のご真ん中を流れ出云ふまでもなく、雨でもあれば

關東州內 道 周自動車に同乗して

特本进中

堅指切棋戰[其六]

勘

香車

知る治安整備 必ず物になる獵天狗の活舞臺

金福線の 風物を拾ふ

「大きい書物を費むのけた。即為はこのほご解されたおひ上間でだり抜けに脳東州さいふ書物をベラベラさめくつて見ましてより抜けに脳東州さいふ書物をベラベラさめくつて見ば満寒モーター研究會地盤の州内一周自輔車隊に同乗し、三個大きい書物を費むの州内一周自輔車隊に同乗し、三個大きい書物を費むの州内一周自輔車隊に同乗し、三個大きい書物である。人は底することによってこれ。

【面局の迄飛八二は圖】

魏

玉將 爺

しても渡り得ないで引返し、長山 と支那の長齢さんな職態させる。 多い。肺臓出弾時代の遺風なのか 多い。肺臓出弾時代の遺風なのか るさいふ話。その獰猛さはまた格大抵の農家に二、三匹は飼ってあ

一等を經て魏子窩へ向った。あれても下底橋の謎飾さへあったならば、 をあに突破出来たらう。 道路即ち 治安なりの論をなす人もあるが、 治安なりの論をなす人もあるが、 かうした既舎にさへ即動車の走る かうした既舎にさへ即動車の走る かうした既舎にさへ即動車の走る

(報)

姓

冀

桂馬

八六五四•飛飛步步•

のはそれが秘地に鑑するのと配に は一変村に がいかなりである。こころで最近 今では繁花 がいがいて、金融銀路の繁花生物窓 く地像は繋びの 高八年度三萬八千戦 いつた調子 を記らく五萬戦を突破するだらうさ ならずして 恐らく五萬戦を突破するだらうさ ならずして がだまされてゐる。高単広はまさに こ見られて が流生で出来た紙だ。 敷年前まで | 雨上り) = は一窓村に過ぎなかつたものだが やでは溶花生鬼説地さしてメキメ や地質は暴騰する、家館は勝るさ いつた調子の溶花生閑和だ。液花 生さいふ點から見れば、こゝ敷年 生さいふ點から見れば、こゝ敷年

けたわけだ。附近一帯が脈、穴、

は知られてなり警城子湯りに出掛田鵬の狩獵場でして一部搬天狗に

の冷観の登沙河、香館で、清水のて燃しく贈ることはあつても、

講 三五 評 世 銀 土居八段

累計八十一手

城(JOOKCK)

絃樂五重奏へ奉天で同

煙謠(奉天さ同じ) 新内(奉天さ同じ)

| ラシンの温鉄

連(JQAKC)

二十二日



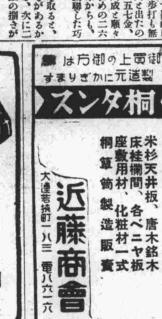


入院権科科

大五0二省 代町/停留所中旬

届けるのですか?





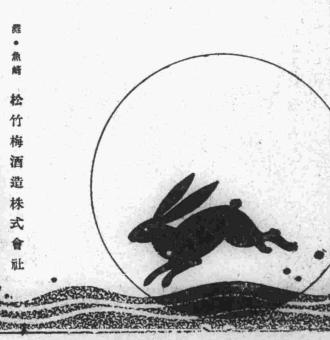
大債 三銭 五銭 各幕店主な人債 三銭 五銭 各幕店主なるに用ひて俸効用が底に用ひて俸別のでは、前日のでする。同時のでする。同時のでする。同時のでする。同時のでする。同時のでする。同時のでする。同時の

製社會名合弟兄光久 17田 縣管性 本日

友で語るも 酒ありて興趣更に加ふ

天然堂藥局





大達市西通(常豊橋西広場中間) ・電話 六七 五二 昔・ G

模範的頭痛藥・

胃腸をこわされ



777 777

大連市信員

本

洋

計行

い子供を強くするには是非とも必要です。 す。だからこれを矯正する様なヱビオス錠を與へることが弱い子供に限つて胃臓弱く、喰べ物に好き嫌ひが多いので 風邪を引き易い子供

青白く瘦せて、

化、吸收されてよく身につきます。更に黄育朝の子供に大切なヴイタミンやホルモン、情格や大にして貪然を進めます、従つて貪事は美味しく澤山喰べられる様になり、然も其等がよく得いというなは「剣で消化、吸收、榮養、治療の綜合作用ある活性へーフエ剣で第一に質畅を丈エピオス錠は「剣で消化、吸收、榮養、治療の綜合作用ある活性へーフエ剣で第一に質畅を丈エピオス錠は「剣で消化、吸收、榮養、治療の綜合作用ある活性へーフエ剣で第一に質畅を丈工ピオス錠は「剣で消化、吸收、榮養、治療の綜合作用ある活性へーフエ剣で第一に質畅を丈工ピオス錠は「剣で消化、 橋正され次第に接刺たる元級な子供に更生いたします。 蘭牙を丈夫にするカルシウムや増血作用ある皴、鋼等まで蘇合補給しますから、偏食の鋏附はしか 50mm まったり まった まった まった まった (人ど ひえ) 廉低價藥 製造元 販賣元 **鐵田邊五兵衞商** 大日本麥酒株式會社

10九 八(4分) 10九 六(4分) 10九 六(6分) 11十二 (6分) 010元れた(1分)
010元れた(1分)
0110れた(1分)
0110れた(1分)
0110れた(1分)
0110れた(1分)

●一一三そ 四 ○一一 ●一一七れ 四(1分) ○一一 野局者の言葉 (黒)百一 ・此日を表める手順になっては、 ・此日を表める手順になっては、 戦の跡

- 一 グ 取 質 況 (明治神宮外苑野球中〇・五〇 東京大學野球聯盟リ

絃樂五重奏(奉天で同

子供の時間(奉天さ同

ラヂオ聴取者の



酸菌は、腸内に於て異常醱酵ビオフェルミンの主劑たる乳 從つて暴飲暴食或は寝冷えに 調整する獨特の作用を有す。 を制止し、 因りて招來する腸カタル並に 痢に對し合理的治療を 膓の生理的機能を 好適の薬剤なり

兒兒 綠下 便痢

醱膓

酵性下

全に制腐制酵及び解毒効果を起すに因るものにして、ビオ 又有害細菌の産生する有毒物 敗性變化、異常醱酵に原因し乳小兒下痢は、多く膓内の腐 質を血液中に吸收して中毒を 榮養障碍にも汎用せらる 近時、 人工榮養兒の下

常消 便不

を好轉せしめ、榮養分の吸收の消化を催進し、消化不良症蛋白質消化作用により、膓内 二種糖化菌の營む膓内澱粉、 る整膓作用の外に、併存する ビオフェルミンは乳酸菌によ 動官能を旺盛ならしめ便通を を住良ならしむ。 常習便秘に良効を收む 然も膓の蠕

秘良

推奬せらる。尙ほ小兒疫痢の等)の豫防上に本劑の常用を 疾患(膓チフス・赤痢・コレラ **腸内に於て、各種の危險なるビオフェルミン中の乳酸菌は** 有害細菌を殺滅せしむるを以 傳染性膓疾患 初秋に頻發する傳染性腸

危險 なる

全國著名病院 指定藥品

店商衛兵長田武就會 元賣發 叮修道市阪大 所驗實生衛戸神社會 元造製 叮岙二市戶於

豫防と保健の目的に優秀の價

値を認めらる。



21-793(0)

粉末と錠剤・各地薬店にあり

名古屋の被害

廣島縣下被害

時には堤防決潰濁水は滔

資傷者一名、倒壞家屋十一、名閱後樂園も危險に織してゐる、 場二十一日發國通」廣島縣下 て右往左往じ大凝縮を緊し天下の 度島工十一日發國通」廣島縣下 に版た婆する讚水中な家賦を纏め は版た婆する讚水中な家賦を纏め

百餘名の碩儒を

祭典にまねり

滿洲國から鄭總理なご参加

復興の 湯島孔子堂

瀬候所開設以來の羅烈なものであ 紫縣調査、総下被然見積盛は二百 安縣調査、総下被然見積盛は二百 安縣調査、総下被然見積盛は二百

愛媛縣の被害

でいます。 では、または、一般などでは、 のでは、または、一般などでは、 を生じて、または、一般などでは、 を生じたが、または、一般などでは、 を生じが、または、一般などでは、 のでは、または、一般などでは、 のでは、または、一般などでは、 のでは、または、一般などでは、 のでは、または、一般などでは、 のでは、これでは、 のでは、 でいる。 でい。 でいる。 でいる。

洪水市内に奔流

岡山、津山兩市の惨狀

日

前八時頃に至り間く勢ひも減じ

風速計を破

大阪二十一日登園通』京阪一帯、 を襲つた大暴風の為め各所に家屋 健議し大阪麻製祭部調べ廿一日午 大阪市製祭部調べ廿一日午 大阪市製祭部調べ廿一日午 大阪市製祭部調べ廿一日午 大阪市製

速計し破壊した、斯る事に平坦地

の死者四百餘

無電による

の繁培に故郷をもごは、東京間の連絡をならついあったが折離くも茨城駅名崎送信所の連絡をならついあったが折離くも茨城駅名崎送信所の繁培に故郷をといる。 信可能でなった 信可能でなった に殴ったがその後極力有無塔低地 に殴ったがその後極力有無塔低地 の結果、午後三時に至り修復なり通 京無電楽を利用し大連、東京間、の通信社総したので電々会社では 学刊所報の如く聴念措能さして新 ケ では 全社では 昨午後復舊す

駱駝君來連 3 0

音によるさ十六日以來太養験城南 一、腹死警長一及び兵卒三名資篤。『奉天電話』チチハル警が顧の報・選した、この戦闘で滿洲國間連長

宗教小說

來る廿六日よ

作者

挿畵

村

鄭家屯附近にも發生

猖獗

管内の被害

日 十時頃は贈り離れ上つた然しなが ながめ家屋、慶告塔、鹿舗は脚線して市内 ので電車は立独生し正午理伝 に至るも運輸隊かの 見入 立たがり家屋、慶告塔、鹿飾り半壊 立って電車は立独生し正午理伝 たった。 でででででででである。 ででででででである。 ででででででである。 でででででである。 でででででである。 ででででである。 ででででである。 ででででである。 でででである。 でででである。 ででである。 ででである。 でである。 ででである。 でである。 できたなが、 できたなが、

巾內隨所

た、量に東京都治船舎町が三頭を大巻の天津地で北平からやつて來 招く御耐火で名高い三原山に買は て三原山登山に使用したさ

方十二年に数似、スト教生し飲いで二十日 財政国家一届に十六日同様九名新教室を出し、変をはより財政国家の部家によ数名を出したのの部家によ数名を出し、郷金の部家によ数全量と、大大田同様九名新教室の総製造性と頻明一大思信を放棄してあるが整局では各方面であるが整局では各方面であった。

安東滿人街 大都市計畫 0

時代を出現したが、愈よ廿三日を以て完結するので引氏作『丹下左膳』は劇となり映畵となり異常なる人氣

川英治氏作の『親鸞聖人』を廿六日附タ

吉林省公署へ

夏登滿各地の水災に痛く御心夏登滿と下に於かせられては今皇帝陛下に於かせられては今 痛あらせられるに御内於金御 松尾地方保長で協議で重ねた、之正で共に安東地方事務所を訪ひ、 二百萬圓を投じ

(表作となるであらう。挿畵は院展同人として莊重華麗なら打つかつて行く創作態度の眞劍さ、敬虔さ、恐らくは後い言現するであらうか。作者は凡ゆる文献を涉獵して遺憾に活現するであらうか。作者は凡ゆる文献を涉獵して遺憾にお現するであらうか。作者は凡ゆる文献を涉獵して遺憾といいます。(表作となるであらう。 新秋氣爽やか、草におく露も、虫の載する事となつた。新秋氣爽やか、草におく露も、虫の載する事となつた。新秋氣爽やか、草におく露も、虫の載する事となつた。新秋氣爽やか、草におく露も、虫の

瀬田川列車椿事詳報

-名重傷無數

る筆觸を謳はれてゐる 軸を劃する意氣に

同畵伯は親鸞聖人の聖地 巡禮の旅に

通化縣に匪賊

を で の 大田本 の 大田本 の 大部の の 大電によれば十 カ日本 歌域 北方六軒の 地 に おに 大い に れば 十 の 大電に よれば十 の 大電に よれば十 の 大電に は に も も に も に も に も に も に も に も に も に も に も に も に も に も に も に も に も に も に も に も に に も も も に も る に も 。 も 。 も 。 も 。 も 。 も 。 も 。 も 。 も 。 も 。 も 。 も 。 も 。 も 。 も 。 も 。 も も も 。 も 。 も も 。 も 。 も 。 も 。 も 。 も も 。 も 。 も 。 も 。 も 。 も 。 も 響底に艦艇と二時間餘で北方に繋縦に一野射螺を加へたので日滿軍時十分頃西北方より繋城に迫り市

東滿に部落建設

では非常召集を行び捜査の結果山 十分城市場遇り五丁目三の大森県 静店に渡、根棒をもつた二人組居 静島に渡、根棒をもつた二人組居 では非常召集を行び捜査の結果山 を押収した、他の一名 に取職法山(Ec)を逮捕

安東のに强盗

『新京電話』 満洲画政府では吉林 電の師家製し多い東海地方農村の では、今時家一般では一般では一大人村、神歌に一番、野野に開き場でを表して、同地 では、今時家一般では、一般では、一大人村、神歌歌十五ヶ村、神歌歌を見を記載した使館 では、一大人村、神歌歌十五ヶ村、晩春では、一大人村、神歌歌十五ヶ村、一大村、神歌歌十ヶ村、晩春で、一大人中報の「一大人中報」を表して、「一大人中報」を表して、「一大人中報」を表して、「一大人中報」を表して、「一大人中報」を表して、「一大人中報」を表して、「一大人中報」を表して、「一大人中報」を表して、「一大人中報」を表して、「一大人中では、「一大人神に、「一大人中では、「一大人神、「一大人神では、「一大人神では、「一大人神は、「一大人神、「一大人神では、「一大人神では、「一大人神、「一大人神、「一大人神、「一大人神、「一大人神では、「一大人神、「一大人神、

た歌歌三笠丸は二十一日観六時十二十二十二日観門地方に鑑恕ないが上海よしを平野し猛烈を纏めたが上海より二十一日観響にいるであっている。

は今年中に全部完成するので に変勢に後興工事中の孔子堂 のである。

艦の全東洋を駆けて之な記念 - 熟的な東方學術大勝漢金な訳明を製行する事になり同文同から確認百餘名を探信して動明を四月を期も盛大に臨時祭 する為め朝鮮楽潮浦洲國支部

船の被害

漂流二隻

なるの部隊で協力距離を追続中で なる験に発験工価を遺棄して密定をなる 刊(第三面)に連載す を捲き起して宛然左膳時 我社夕刊連載の林不忘氏 世に傳ふべき氏の代表作者を関してゐる。宗教なきを期してゐる。宗教なきを期してゐる。宗教なきを期してゐる。宗教なきを期してゐる。宗教なきを明してゐる。宗教なきを明し、惱み多きと

つき、

してゐる

米田惠 米田惠

外地選士(朝鮮)(六段)间 野幹雄、古澤勘兵、(五段)山口 順勇、岡本金次平、上野 「原勇、岡本金次平、上野 脚に認識さるここを漫きに戯虚し 一般に認識さるここを漫きに戯虚し 一般に認識さるここを漫きに戯虚し

法要に例年の通り來る二十三日へ金州北門外三階山の三紀七大追取 三崎山烈士追用 浦 常深隆二

駐在近の事務所

故大連着日町大遊司松村住職は旅 金十圓也 大連演弓町岸幸彦金十圓也 大連演弓町市本不三二年金六圓七十二錢也 大連下藤小學 校兒童 金五圓也 未逐慢等婦人會 校兒童 大速慢等婦人會

日職)執行すべく故烈士鐘崎氏縁

東または来週早々郷遊部製売表員 しての下調査も終了したので本週 の批用記憶館事供に配する本部さ の配用記憶館事供に配する本部さ 野島ら送局 繁二の沙沙 を取ったりおよび第二次(野島) 草原行を期するこさになつてある が近月豊中澤司法は 野島の送局 「大場子のたりである」 でいても密診工場語制度の吹 醜事實を爼上に 鐵道部の懲戒委員會

量視を清めて机に向つてゐる。 金五十圓也 安東市民 一福昌公司有志一同 大連櫻町 金五十圓也 大連櫻町 金

林鮮銀行大連支店韓

金二十圓也 大連瓜谷 大連星ケ 東計二千六百五十七圓 工廠寅、同鄉殿臣 小計百八十二圓也 〇六錢也

安下駄を恋歌歌寄せて覧へまいか」さ配も大観な形文の その態度が繰り無心なので「そ へ城内の下財産

東代書館で共に首康被人野島新縣、 田が起さなつて経動取職へ中のさ ころ一度落を告げたので十九日一 であるとなって経動取職へ中のさ ち、安くて献欠力のある下駄をある。その理由は支那靴の愚朧 進出の一覧様に」で駐在員がい捨てたれ、安康なニッポン酸品 「よく消人が態來の習俗をはき of the Taste Joy

、同澤田芳子、同波邊ハツ郷子、同杉浦フヂ、同田口総七宛、朝鮮銀行大連支店 秋冬 海と空!! 3-小间物類裝身具一切 灵

見よ!祖國愛に火となれる我等が女軍艦隊は 今や出動準備全くなつて ●●地に待機! 響! イト艦隊ダンス戦* ★ 22(主) 23(目) 24(泵) ★

流行新柄第一回

町磐城町角 電三四三五 荷着 屋

見舞金 愛媛縣視察團 柔道選士決定 二十三日午前九時から

ち三原山に送られて行くことにな ちの声み次繁便艦をまつて機測が 髪の声み次繁便艦をまつて機測が 髪の声み次繁便艦をまつて機測が とは述れて来た人の語、協

?に小間物屋を開製したさうだが たので験配件すつかり酵び人並み たので験配件すつかり酵び人並み

小中學生が

要行されるが外地側指 を関えるが外地側指 を表するが外地側指 感よ神宮外苑で擧行 軟式野球大會 日の成績

8Yクラブ對HOM 合せは (午後四時半聖德小學校) 查 對 光 丘 五 對 光 丘

硬式庭球大會 大連豫選決勝

◇ ダッ・ ググ・ルン・ リス・

4.5 大連山縣通 株式會社 寄附者芳名

曹、同生方正、同山本式 (郎、同戸口渉、同野口秋 (郎、同戸口渉、同野口秋 (郎、同戸口渉、同野口秋 (郎、同戸口渉、同野口秋

老年の蟇

あ

四五通縣山市連大 榮

日々新聞記に代表なが持数して演 田俊が果まつたのでニ十一日率天 個際が果まつたのでニ十一日率天 を記して表現が果まったのでニ十一日率 日々新聞記に代表なが持数を 日々新聞記に代表なが持数と 日本新聞記に代表なが持数と 日本新聞記に代表なが 日本記述に代表なが 日本新聞記に代表なが 日本記述に代表なが 日本新聞記述に代表なが 日本記述に代表なが 日本述に代表なが 日本記述に代表なが 日本記述に代表なが 日本記述に代表なが 日本記述に代表なが 日本記述に代表なが 日本記述に代述に代表なが 日本記述に代表なが 金です納めて下さい」と差出した一日々新聞社に代表者が持登し「滿畑小中等繁生の心からの河見郷 選出は去る十五機場において関係を加いて関係を加いて関係を加いて関係を加いて関係を加いた。

大連を出着した三種編纂の水上機 は午後一時十分新京上空に姿を現 は午後一時十分新京上空に姿を現 を水空に織がせつゝ市街上 であー馬し市時に破念を表も一路。 上 かれるた、内外地選士の商験れた 一名は未定で外地選士の商験れた が本選士さなる等でう 新郷技術を活問した上宮城を追拝 は十八日午前九時首橋宮城に尚田 は十八日午前九時首橋宮城に尚田 打揃って明治神

◇シング・ 館志 が・田田 67 太田 68 16

村上氏表彰金

野球大會二十日の戦後左の如しシネマ3A―1版友のラブシネマ3A―1版友のラブシネマ3A―1版友ののし

小林政治商店

加藤洋行大速支店廳

谷區谷中 異島町青木

殿日歌中、沙河口大法寺殿住職との行志も多敷祭列の等、なほ法要のの行志も多敷祭列の等、なほ法要のの行志も多敷祭列の等、なほ法要のの行志も多敷祭列の等、なほ法要のの行志も多敷祭列の等、なほ法要のの行志も多敷祭列の等、なほ法要のの行法を表した。 御聖徳謹慕會 大連山吹

九月二十一日夕迄の分) 一万七十八圓五十二銭也 一万七十八圓五十二銭也 明治天皇

味覺の 様より直接皆様に提 はなアテネから輸 るばるアテネから輸

信波町(酒の安兵衛姓の

施育』セロシン(聖路心) 日本橋薬号 然して我等艦隊のヘルプに努められよ! 來踏! 皇國の興廢此一踏! 奮て! 日本各地名産・ 海國勇士諸賢! 数

彼岸團子賣出し 四

世界各國酒類

大山通

宛家

日

女給 甘歳以上の青至急敷名人 中歳以上の青至急敷名人 中歳以上の青至急敷名人

由

雪

(38)

悟道軒

圓玉

演

回回度回金金金金

整音器 販賣 修繕 廣瀬電氣商會 二二五〇一番六 日番六

効力本位

与

電話と金融と

路

る処権股のお手の内、自分如き者がしも正響は有力されたりまといる職者とによる

本が如く、斯うなるさ、館に魂が 大きの正響の館と思熱の館が結 す。その正響の館と思熱の館が結 す。その正響の館と思熱の館が結 か合ひ、さながら長蛇が死生を輩 めたが、

野ら正雪に合任せたい 三一人が断

髪田は節じて背き入れな

常盤橋河島ミシン電話六六八四

率住第一の精神にもえて新らる~

營 養 至 立 本 日 金 金

等別、內營、信服の要行 一個(全額拂込濟)

最上のおちょのおちょのおちょ

まる へと肥らします

育兒上手の

出本 張 京 店

白帆

不用 品親切本位質之 大連市磐城町五八 南海堂町駅所 上打粉有り 上打粉有り 各種即問

大系町一四八電話二九四七〇番 新日舎々主 井 芹 馨 子・

看護婦派遣 等宿完備 内 大連市下鉄町十五番地崎所書 大連西部看護婦會主 大連西部看護婦會主 株 フクチャー 大連市下鉄町十五番地崎所書 ト

金 壹 億 圓 全額拂込齊

金銀行大連



一第外内・共行資・質品

かお住ではなり、そして門人に数いた場のは数に来て、網の選場は自っな場に来て、網の選場は自っな場に来で、網の選場は自っな場合にはいいません。 野文 タイピスト養成 ・ 大連市大山道 小林父七支店 ・ 大連市大山道 小林父七支店 ・ 大連市大山道 小林父七支店

| 辞初の小松家の|| まむし」 | 辞初の小松家の|| まむし」

区院·治療·名薬 A

本がイインプテイ 一番人社に海飯町第一同主流 小林・香取・薔取・薔取・薔藤・共演

博多屋斯質店

大連市恵比須町メナル

三河市

實印の御用は

 兜画 寫內

迎歡口大

理化學用器一般實施

新ない、思いの状が、思いい、というでは、 というでは、 といういうでは、 というでは、 といういいは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というい 三郎兵衛は居を撃め、鬼儒め、正 此の事を聞いて忠徽の友入柴田 やうな者に近づくさ身を危地に経動の気に愚弄されなつたか、彼の 申したが、柴田は正 右
大連市吉野町六電六三一番
に
場所四軒目
・大韓強は名古尾旅館
・大韓強は名古尾旅館
・大韓強は名古尾旅館
・大韓強は名古尾旅館 三級 御下宿並に原宿 (一宿 下宿 京城的に待遇了

信儀町電停大連機番向前小路人の大連市流速町五丁目二百一番地大連市流速町五丁目二百一番地大連市流速町五丁目二百一番地大連市流速町五丁目二百一番地大

政 婦

いし新 品粧化 し新藥 留品 6 トハニー、ハニーローション、ニキビトリ洗粉、アイビュー・ニキビトリ洗粉、アイビュー・ 蒸髄、アストリンゼントロー

神 靈 湯、バスペツブ、中山胃癌薬、ダウンチリ、中山胃癌薬、ダウンチリ、

14 ・小児 科解毒散酸素 と、オートゲン、ネオスA メン、テーリン、ドラシン メン、テーリン、ドラシン

沿線の御方は振替大連京売番市内の御方は電話六六〇六番 大連市但馬町六番地

治・千番万十 DRY MILK 京天

ネオ・アヴアンチユール 新興探寄派劇黨 二十六日 二十五日 和

廿二日(土曜)廿三日(日曜)午後六時より 吉野光枝 滿角鮮滿與且以為 會 部社會

築地小削場 元日活スター オペラの王者 五.月美佐夫 寺田靖夫 茂木信夫 宮部靜子 池邊愛子 岩林

新興舞蹈名手

秋子

社會劇 鳴

哮

蹄跡

二幕二場

短縞文學研究會推撰 法政大學教授關口存男氏願案與色 人(熊) 奏。主題歌 岡田忠一氏譯 秋 幕二場

劇文旗の熱血風雲兒 小生夢坊演出指揮化滿皇軍鐵道從業員慰問演劇團 午後三時。倦怠 陸軍近衛兵大尉田中車吉氏原作指導福井野紅氏脚色裝造つはもの叢書「血の叫び」の姉妹編皇軍社銭(【皇教】所教 . 活用の時

はパツで飛び患る。その抗正雪。を変かかけたは正雪。その時加

事を問うたが、正常の答へは明瞭 重察又就術或は弓術又確術なぞの 動態した。
地橋は此の際上にて、
女事 て、善美を滅るた料理が出してこれから其日は忠願を別室に招

明治堂藥局 書生入用勉學ノ餘暇アリ 明治堂業局 電四六四九 川治堂業局 電四六四九 八里保護人を宴ず 入用保護人を要す 入用保護人を要す スカーの五

全職 信用貨動人の方極極低利

電話 病質並に金融月賦板養名 一二八女子市業前度漫電二二三六一 一二八女子市業前度漫電二二三六一

電話の一大の変化の では、 一大の変化の では、 一大の変化のでは、 一大の変化のでは、 一大の変化のでは、 一大のでは、 一大

所所共パンホールの設備かり ・ 電話ニニー三番 ・ では、一番 ・ では、一 ・ では、 ・ では、

コチロパー サロパー

1

東五四三七さかい

●たむし

しいんき

女中 和服 東西 並に金融一般市人商品に 利用談に應す 簡單 佐藤(電八五九六) 佐藤(電八五九六) 佐藤(電八五九六)

貸衣 選 軽機用 をかめや著 釉 大連劇場隣根本樂局電七八六二 土産は速東百貨店へ 支那のやげ部へ 大変ののでは 新京大電話

中書 大々的資出勉強名負共に 一次連市大山通 小林文タイプライターの四年 お文タイプライターの四年 お文タイプライターの田本 チャインティターの田本タイプライターの田本タイプライターの田本タイプライターの田本タイプライターの田本タイプライターの田本タイプライターの田本ターの田本ターの田本の中では、「一大連市大山通 小林文七支店 本す 両公園町一四三中停近 丘堂 大連家 畜醫院 大連家 畜醫院 大連家 畜醫院 大連家 畜醫院

特設祭尾術スーク四七番 貸出勉強·保管確實

度量

演

0

大氣堂

大連條則追贈記22922 交易さ 古い

服から新しい洋服で経濟に御利用下

取交換

洋服下

知二四九番 堂

大連市学町二(悪比須町電停車) 満洲餐質元 高級事務用品 版

らん香水 0 カユミ 止 料 Įζ

唐澤醫院 泌尿器科 いまで 第一番 学 X 整 光 線 科

AL

盛んにする仁丹 胃腸の活動を いても

戴

ーと推奨された 世果弗·

